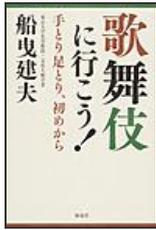


## 2017年5月分新聞書評



### 歌舞伎に行こう!〜手とり足とり、初めから〜

船曳 建夫 著  
海竜社

「歌舞伎を一度は見なくちゃ!」と思っている人へ、歌舞伎見物の仕方を手とり足とり初めから指南する本。「劇場に行くにはどうしたらよいのか」から、「劇場をあとにしてからどう考える」まで解説します。

2017:1./ 229p  
978-4-7593-1520-2

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/05/06



### 社会を変えたい人のためのソーシャルビジネス入門(PHP新書 1022)

駒崎 弘樹 著  
PHP研究所

2004年に病児保育を行う認定NPO法人「フローレンス」を設立した著者が、起業当初から現在に至るまでの挫折と奮闘の軌跡を具体的に明かす。ボーナス記事が読めるURL付き。『読売オンライン』連載を加筆・修正。

2016:1./ 252p

978-4-569-82408-6

本体 ¥820+税



産経新聞 2017/05/07



### 敵の名は、宮本武蔵

木下 昌輝 著  
KADOKAWA

数々の剣客を斃した宮本武蔵。剣聖と呼ばれた男と戦った者たちは、武蔵の剣に、なにを見たのか。7人の敗者たちから宮本武蔵の真の姿を描く。『本の旅人』『小説 野性時代』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

2017:2./ 293p

978-4-04-105080-4

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/05/07



### 天秀尼の生涯〜豊臣家最後の姫〜

三池 純正 著  
潮出版社

慶長20年5月、大坂城落城。豊臣家は滅亡したかに思われたが、実は7歳の泰姫が落ち延びていた…。東慶寺で寺法を守り抜き、女性の人権を守った先駆者・天秀尼(泰姫)の知られざる数奇な生涯を描く。

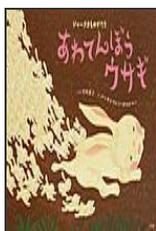
2017:3./ 235p

978-4-267-02079-7

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/05/07



### あわてんぼうウサギ〜ジャータカものがたり〜

中川 素子、バーサンスレン・ボロルマー 著  
小学館

あわてんぼうのウサギが、大きな音を聞きつけて、「世界が壊れた」と思い込みます。森の動物たちは、大騒ぎ。そこにライオンが現れ…。子どもたちに生きるための知恵を伝える、おしゃかさまの前世の物語「ジャータカ」の絵本。

2017:3./ 1冊(ページ付なし)

978-4-09-726707-2

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2017/05/07

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2017年6月時点での税抜価格です。



**役に立たない読書(インターナショナル新書 009)**

林 望 著  
集英社インターナショナル

書誌学が専門のリンボウ先生が「自分が読みたい本を読むべき。読書に貴賤なし」と、読書の楽しみ方を惜しみなく披露。古典の魅力から蔵書整理法まで、書物に触れる真の歓びに満ちた著者初の読書論!

2017:4./ 205p  
978-4-7976-8009-6  
本体 ¥720+税



産経新聞 2017/05/07



**異才、発見!〜枠を飛び出す子どもたち〜(岩波新書 新赤版 1659)**

伊藤 史織 著  
岩波書店

指示通りにできない、空気が読めない。公教育の枠組からはみ出した子どもたちの学びを立ち上げる<異才発掘プロジェクト>。異質なものを歓迎する教育の理念と実践を描写し、変わった子どもを受け入れる社会のあり方を問う。

2017:4./ 8p,195p  
978-4-00-431659-6  
本体 ¥780+税



産経新聞 2017/05/07



**共産主義の誤謬〜保守政党人からの警鐘〜**

福富 健一 著  
中央公論新社

共産主義とは何か。民社党、民主党、自民党に関わった著者が、日本共産党の歴史や綱領のポイントをわかりやすく解説。また、諸外国の政党と比較し、共産主義を批判的に検証する。

2017:3./ 230p  
978-4-12-004970-5  
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2017/05/07



**おかんメール<Final>**

『おかんメール』制作委員会 編  
扶桑社

母の愛と破壊力に満ちた“爆笑”メッセージ集第7弾。娘や息子に宛てた心温まるメール、面白いメールなどを紹介。おばあちゃんたちの「おかんのおかんメール」コーナー、「おかんメール」シリーズベストセレクションも収録。

2017:4./ 127p  
978-4-594-07726-6  
本体 ¥1,000+税



産経新聞 2017/05/07



**尖閣だけではない沖縄が危ない!(WAC BUNKO B-254)**

惠 隆之介 著  
ワック

今や、沖縄は外国人勢力も跋扈し、反日反米勢力の集会場と化し、まさに日本国から分離されようとしている。沖縄出身の元海上自衛隊員が、沖縄を覆う驚愕の真実を明かす。

2017:4./ 237p  
978-4-89831-754-9  
本体 ¥920+税



産経新聞 2017/05/07



**夜の谷に行く**

桐野 夏生 著  
文藝春秋

連合赤軍がひき起こした「あさま山荘」事件から 40 年余。メンバー同士でのリンチ殺人「総括」から脱走した西田啓子は、服役を経て静かに暮らしていたが…。女たちの連合赤軍の真実を描く。『月刊文藝春秋』連載を単行本化。

2017:3./ 299p  
978-4-16-390611-9  
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2017/05/07、朝日新聞 2017/05/14



**先生は教えてくれない大学のトリセツ(ちくまプリマー新書 277)**

田中 研之輔 著

筑摩書房

大学 4 年間どうやって過ごします?漠然と講義を受けるだけではもったいない。卒業後の目標のもと大学を有効利用する方法を教えます。

2017:4./ 204p

978-4-480-68982-5

本体 ¥820+税



産経新聞 2017/05/07、朝日新聞 2017/05/30



**犬ぼんぼん〜毛糸を巻いてつくる表情ゆたかな動物〜**

trikotri 著

誠文堂新光社

毛糸のぼんぼんでつくるかわいい犬たち。柴犬、ポメラニアン、ウェルシュ・コーギー、秋田犬、ブル・テリアなど、ふかふかの手触りが楽しめる犬ぼんぼんのつくり方を紹介する。コピーして使う型紙付き。

2017:3./ 95p

978-4-416-51735-2

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2017/05/13



**「大丈夫」がわかると、人生は必ずうまくいく!(サンマーク文庫 さ-1-7)**

斎藤 一人 著

サンマーク出版

累計納税額日本一の実業家が、これまで著書や講演で伝えてきた「いつだって“大丈夫”と思える生き方」について詳しく解説。自分を認めて前向きに生きるヒントが満載。付録テキスト「しあわせを呼ぶ「振動数」の話」も収録。

2017:4./ 173p

978-4-7631-6085-0

本体 ¥600+税



産経新聞 2017/05/13



**日本まんじゅう紀行**

弟子 吉治郎 著

青弓社

絶品まんじゅう、田舎まんじゅう、地域限定まんじゅう、日本文化とまんじゅう…。まんじゅう屋に生まれ、子どもの頃から作業を手伝ってきた著者が、全国各地のまんじゅうをカラー写真を添えて紹介する。

2017:1./ 202p

978-4-7872-2068-4

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2017/05/14



**漱石先生、探偵ぞなもし(PHP 文庫 は 9-23)**

半藤 一利 著

PHP研究所

漱石を語って読者に人気の著者が綴る、漱石先生をテーマにした随筆集の決定版! 知られざる文豪の素顔が明かされる漱石ファン必読の書。

2016:11./ 284p

978-4-569-76659-1

本体 ¥600+税



産経新聞 2017/05/14



**美しいものを〜花森安治のちいさな絵と言葉集〜**

暮らしの手帖社

慈愛に満ちた観察眼で、身近なものに「美しさ」を見出した花森安治。『スタイルブック』『暮らしの手帖』等の誌面を彩った花森の挿画 500 点余りと、暮らしの美学に触れる言葉を収録する。

2017:3./ 143p

978-4-7660-0202-7

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/05/14



**競馬感性の法則(小学館新書 296)**

角居 勝彦 著

小学館

競馬ファンが最も注目する実力派調教師が語り尽くす、競馬の真髄。レースそれぞれが持つ意味や戦い方から、愛馬の秘話、調教の工夫、競馬場でのパドックや返し馬の見方まで、目から鱗が落ちる理論とエピソードが満載。

2017:4./ 250p

978-4-09-825296-1

本体 ¥800+税



産経新聞 2017/05/14



**救急病院**

石原 慎太郎 著

幻冬舎

千代田区溜池にある中央救急病院に、地下鉄の人身事故で瀕死の重傷を負った女性が運び込まれた。駆けつけた患者の父親によると、彼女はほどなく結婚する予定だという。担当チームは左脚の裂傷の高度な縫合手術に挑む…。

2017:2./ 163p

978-4-344-03069-5

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2017/05/14



**ひとりになったライオン(日本傑作絵本シリーズ)**

夏目 義一 著

福音館書店

家族を離れて、ひとりでくらすことになった若いライオン。シマウマの子どもを見つけ、つかまえようとするが…!? 親離れした若いライオンが、失敗しながら成長していく姿をリアルに描いた絵本。

2017:4./ 31p

978-4-8340-8331-6

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2017/05/14



**諦めない女**

桂 望実 著

光文社

小学1年の娘が忽然と姿を消し狂乱する母。そして数年が経ち、離婚した彼女は今日もひとり、わが子の帰りを待ちながら情報を集めてピラを撒く。失われた時間、果たせなかった親子の絆を求めて…。サスペンス長編。

2017:4./ 306p

978-4-334-91158-4

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2017/05/14



**満洲文化物語～ユートピアを目指した日本人～**

喜多 由浩 著

集広舎

日本人が満洲で花開かせた独自の文化・芸術、祖国を守るために命を投げ打った若者たちや辛酸を舐めた人々の物語、日本の満洲経営の中核だった一大コンツェルン・満鉄に関わるエピソードをまとめる。『産経新聞』連載を再編成。

2017:4./ 270p

978-4-904213-48-3

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2017/05/14



**開高健～生きた、書いた、ぶつかった!～**

小玉 武 著

筑摩書房

行動的な作家だった開高健は企業文化のプロデューサーとしても活躍し、多くの業績を遺した。長年の交流をもとにその素顔に迫る。

2017:3./ 407p,22p

978-4-480-81844-7

本体 ¥2,500+税



産経新聞 2017/05/14、読売新聞 2017/05/28



### レンズの下の聖徳太子(銀河叢書)

赤瀬川 原平 著  
幻戯書房

1960年代の「千円札裁判」体験を基にした表題作を含む、尾辻克彦名で発表した、メタ私小説の超傑作10編を収録。

産経新聞 2017/05/21

2017:3./ 315p  
978-4-86488-116-6  
本体 ¥3,200+税



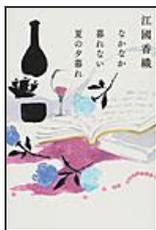
### 野菜

細川 亜衣 著  
リトル・モア

たけのこ、トマト、水なす、れんこん…。旬の野菜50種、それぞれがもつ特別な味を、最高の美味しさで味わう和・洋・中・エスニックのレシピを紹介。レシピにまつわるエッセイや、作り方のコツも充実。

産経新聞 2017/05/21

2017:2./ 255p  
978-4-89815-452-6  
本体 ¥2,000+税



### なかなか暮れない夏の夕暮れ

江國 香織 著  
角川春樹事務所

本ばかり読んでいた稔、姉の雀、元恋人の渚、娘の波十、友だちの大竹と淳子…。切実で愛しい小さな冒険の日々と、頁をめくる官能を描く長篇小説。『ランティエ』連載に加筆・訂正して単行本化。

産経新聞 2017/05/21

2017:2./ 334p  
978-4-7584-1300-8  
本体 ¥1,600+税



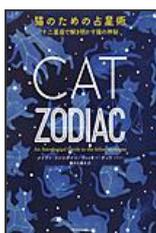
### 赤いゾンビ、青いゾンビ。(東京日記 5)

川上 弘美 著  
平凡社

たんとんと、時にシュールに、そして深くリアルに……。2013年～現在までを綴ったライフワーク日記シリーズ、第5弾!

産経新聞 2017/05/21

2017:4./ 175p  
978-4-582-83755-1  
本体 ¥1,300+税



### 猫のための占星術～十二星座で解き明かす猫の神秘～

メイヴァ・コンシンダイン、ヴィッキー・チュウ、藪中 久美子 著  
エクスナレッジ

ミステリアスで神秘的な猫。その心の中では、何が起きているのでしょうか。十二星座占いで、愛猫の性格やライフスタイル、飼い主やほかの猫たちとの相性を解き明かします。

産経新聞 2017/05/21

2017:3./ 110p  
978-4-7678-2300-3  
本体 ¥1,400+税



### 飛躍への挑戦～東海道新幹線から超電導リニアへ～

葛西 敬之 著  
ワック

JR東海の代表取締役役名譽会長が、自身が関わった東海道新幹線の進歩と飛躍を中心に、国鉄分割民営化、三正面作戦の到達点、超電導リニアへの挑戦など、JR東海発展の歩みを振り返る。

産経新聞 2017/05/21

2017:3./ 379p  
978-4-89831-454-8  
本体 ¥1,800+税





**路面電車の謎～思わず乗ってみたいくなる「名・珍路線」大全～(イースト新書 Q Q028)**

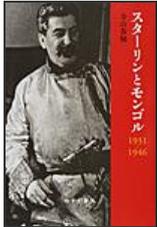
小川 裕夫 著  
イースト・プレス

21 世紀に入ってから、バリアフリー対応の最新鋭車両の導入などの積極策が見られた路面電車。その歴史から、線路・車両・運行の謎、全国 21 事業者の魅力、今後の計画まで、鉄道と地方自治の第一人者がわかりやすく解説する。

2017:5./ 207p  
978-4-7816-8028-6  
本体 ¥880+税



産経新聞 2017/05/21



**スターリンとモンゴル～1931-1946～(東北アジア研究専書)**

寺山 恭輔 著  
みすず書房

中露 2 大国の間に横たわるモンゴル。地政学上重要なこの隣国にスターリンが及ぼした影響とは何か。満洲事変後その戦略はどう変化したのか。20 年近くに及ぶスターリンの対モンゴル政策をまとめる。

2017:4./ 453p,122p  
978-4-622-08598-0  
本体 ¥8,000+税



産経新聞 2017/05/21、日本経済新聞 2017/05/27



**「ひとり」の哲学(新潮選書)**

山折 哲雄 著  
新潮社

人はひとりで生まれ、ひとりで死ぬ。「孤独」と向き合うことで、より豊かな生を得ることができる。親鸞、道元、日蓮ら、先達の生き様を振り返り、「ひとりの覚悟」に光を当てる。『新潮 45』連載を改題、加筆修正し書籍化。

2016:10./ 237p  
978-4-10-603793-1  
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2017/05/27



**まちのゲストハウス考**

真野 洋介、片岡 八重子、明石 健治、飯室 織絵、井筒 もめ、加納 亮介、蛇谷 りえ、武田 昌大、田中 惇敏、豊田 雅子、西村 祐子、森岡 咲子 著  
学芸出版社

まちに根を下ろし小さな宿を営む運営者達のエッセイ 9 編から探る、空き家活用や小さな経済圏・社会資本の創出拠点としての可能性。

2017:3./ 207p  
978-4-7615-2640-5  
本体 ¥2,000+税



産経新聞 2017/05/28



**BAR 物語～止まり木で訊いたもてなしの心得～**

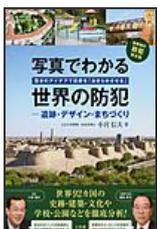
川畑 弘 著  
集英社インターナショナル

サントリーPR 誌の編集長として著者が出会った心に残るバーの思い出を綴ったエッセイ。名店のバーテンダーのこだわりやバーでの粋な作法なども分かり、いつもの一杯がより美味しく味わえる。

2017:4./ 182p  
978-4-7976-7340-1  
本体 ¥1,200+税



産経新聞 2017/05/28



**写真でわかる世界の防犯～驚きのアイデアで犯罪を「あきらめさせる」～**

小宮 信夫 著  
小学館

心理的・物理的に犯罪を行い難い環境を作り、犯罪の機会を滅殺することに力点を置く「犯罪機会論」を、世界 92 カ国の史跡・建築・学校・公園などの写真とともにわかりやすく解説する。

2017:4./ 128p  
978-4-09-840178-9  
本体 ¥1,800+税



産経新聞 2017/05/28



**楽園**

夜釣 十六 著  
筑摩書房

南国の植物が茂る廃村で突如始まる圭太と「祖父」との奇妙な共同生活。夜毎語られる太平洋戦争の記憶。老人が残したかったものとは?第 32 回太宰治賞受賞作。

産経新聞 2017/05/28

2017:4./ 149p  
978-4-480-80466-2  
本体 ¥1,200+税



**子ども超訳一生大切にしたい 70 の名言**

根本 浩 著  
SBクリエイティブ

ガンジーや福沢諭吉といった偉人から、テレビでお馴染みの有名人、インディアンなどの部族まで、古今東西の名言を集め、子どもでも一瞬で理解できる「子ども超訳」で紹介。名言誕生のエピソードや、豆知識も収録。

産経新聞 2017/05/28

2017:4./ 181p  
978-4-7973-9099-5  
本体 ¥1,200+税



**あの頃～単行本未収録エッセイ集～**

武田 百合子、武田 花 編  
武田 百合子 著  
中央公論新社

没後 25 年を前に明らかになる、たぐいまれなる文章家・武田百合子の全貌。中央公論社刊「武田百合子全作品」全 7 巻に未収録の 100 余りのエッセイを収めた作品集。略年譜、作品リストも収録。

産経新聞 2017/05/28

2017:3./ 533p  
978-4-12-004968-2  
本体 ¥2,800+税



**反戦後論**

浜崎 洋介 著  
文藝春秋

郊外、大東亜戦争、象徴天皇、三島由紀夫、小林秀雄、福田恆存、柄谷行人、坂口安吾...。「政治と文学」というテーマで、常に語られてきた戦後思想。気鋭の批評家が、戦後思想に新たな問題を提起する論考集。

産経新聞 2017/05/28

2017:5./ 285p  
978-4-16-390648-5  
本体 ¥1,800+税



**恋するディズニー 別れるディズニー (新潮文庫 ほ-20-6)**

堀井 憲一郎 著  
新潮社

「ディズニーランドでデートすると別れる」という、若者の間でささやかれている噂は本当なのか。長期間にわたる某大某サークル内カップルの観察結果、すいている時期や曜日、乗りものやショーの仲よくなるまわり方等を大公開。

産経新聞 2017/05/28、読売新聞 2017/05/28

2017:4./ 206p  
978-4-10-134676-2  
本体 ¥460+税



**完訳東方見聞録<1> (平凡社ライブラリー)**

マルコ・ポーロ、愛宕 松男 著  
平凡社

弱冠 15 歳で故郷ヴェネチアを出発し、四半世紀を東方で過ごしたマルコ・ポーロによる旅行記。1 巻では、シルクロードから雲南への使節行、元朝の宮廷事情までを収録。70 年刊を底本とした完訳版。(ソフトカバー)

朝日新聞 2017/05/07

2000:2./ 476p  
978-4-582-76326-3  
本体 ¥1,300+税





### 完訳東方見聞録<2>(平凡社ライブラリー)

マルコ・ポーロ、愛宕 松男 著

平凡社

広大な地域に渡って、産業や宗教、習慣、迷信などを見聞していくマルコ・ポーロ。2巻はスパイスコースで帰路につき、26年という長い旅の終わりを迎えるまでを収録。71年刊を底本とした完訳版。(ソフトカバー)

2000:2./ 472p

978-4-582-76327-0

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2017/05/07



### 南方熊楠英文論考<<ネイチャー>>誌篇>

南方 熊楠、飯倉 照平、松居 竜五、田村 義也、中西 須美 著

集英社

26歳の処女論文「東洋の星座」からオランダ人東洋学者との「ロスマ」大論争まで、『ネイチャー』誌に掲載された英文論文とその関連論文、全63篇を収録。近代西洋諸科学に東洋の学を拮抗させた、若き熊楠の挑戦。

2005:12./ 421p

978-4-08-781332-6

本体 ¥5,600+税



朝日新聞 2017/05/07



### 南方熊楠～地球志向の比較学～(講談社学術文庫)

鶴見和子 著

講談社

南方熊楠は、柳田国男とともに、日本の民俗学の草創者である。日本の学問のこれからの創造可能性を考えるために、この二つの巨峰を、わたしたちはおのれの力倆において、登り比べてみることは役に立つであろう。

1981:1./ 318p

978-4-06-158528-7

本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2017/05/07



### 山海経～中国古代の神話世界～(平凡社ライブラリー 34)

高馬三良 著

平凡社

中国古代の地理書「山海経」。各地の山脈や国々、そこの草木、鳥獣をはじめ鬼神や怪物の記述など、中国の古代神話を知るうえで貴重な書である。語り継がれてきた古代の人々の見方、考え方がよくわかる。

1994:1./ 203p

978-4-582-76034-7

本体 ¥854+税



朝日新聞 2017/05/07



### 十二支考<下>(岩波文庫 青 139-2)

南方 熊楠 著

岩波書店

犬と猫はなぜ仲が悪いのか。人や他の動物の寿命はどのように決まったか。猪と蝮の関係は?.....それからそれへと興味つきない話の数々。下巻には羊、猴、鶏、犬、猪、鼠の各篇を収録。

1994:1./ 405p

978-4-00-331392-3

本体 ¥960+税



朝日新聞 2017/05/07



### 十二支考<上>(岩波文庫 青 139-1)

南方 熊楠 著

岩波書店

十二支の動物はいずれも人間と深い関わりを持ち、人類の歴史とともに成長して、説話となって私たちの生活と結びついている。上巻には虎、兎、竜、蛇、馬の各篇を収めた。

1994:1./ 457p

978-4-00-331391-6

本体 ¥1,060+税



朝日新聞 2017/05/07



**南方熊楠珍事評論**  
 南方熊楠長谷川興蔵 著  
 平凡社  
 朝日新聞 2017/05/07

1995:5./ 278p  
 978-4-582-48116-7  
 本体 ¥2,913+税



\* 9 7 8 4 5 8 2 4 8 1 1 6 7 \*



**東京ローズ(文春文庫)**  
 マサヨ・ドウズ 著  
 文藝春秋  
 日系二世ゆえに太平洋戦争中の日本軍対敵宣伝放送のヒロインに仕立てられ、  
 祖国アメリカから反逆者の烙印を押された一女性の真実。

1982:11./ 340p  
 978-4-16-729501-1  
 本体 ¥380+税



\* 9 7 8 4 1 6 7 2 9 5 0 1 1 \*

朝日新聞 2017/05/07



**猫楠～南方熊楠の生涯～(角川文庫)**  
 水木しげる 著  
 角川書店  
 博物学・民俗学・語学・性愛学・粘菌学・エコロジー……広範囲な才能で世界を驚愕させた南方熊楠。そんな日本史上最もバイタリティーに富んだ大怪人の生きざまを天才・水木しげるが描く。

1996:10./ 427p  
 978-4-04-192907-0  
 本体 ¥680+税



\* 9 7 8 4 0 4 1 9 2 9 0 7 0 \*

朝日新聞 2017/05/07



**蛇衆(集英社文庫 や 45-1)**  
 矢野 隆 著  
 集英社  
 室町末期、自らの力だけを頼りに、各地を転戦する傭兵集団「蛇衆」。だが、その頭目・朽縄が九州の地方領主・鷲尾家の家督争いに巻き込まれて…。第 21 回小説すばる新人賞受賞、大型時代アクション!

2011:12./ 398p  
 978-4-08-746777-2  
 本体 ¥648+税



\* 9 7 8 4 0 8 7 4 6 7 7 7 2 \*

朝日新聞 2017/05/07



**七人の敵がいる(集英社文庫 か 33-4)**  
 加納 朋子 著  
 集英社  
 編集者としてバリバリ仕事をこなす山田陽子。一人息子が小学校に入学し、少しは楽になるかと思ったら、PTA、学童保育所父母会、自治会役員など次々と降りかかる「お勤め」に振り回される毎日が始まった…。

2012:3./ 366p  
 978-4-08-746805-2  
 本体 ¥620+税



\* 9 7 8 4 0 8 7 4 6 8 0 5 2 \*

朝日新聞 2017/05/07



**南方マンダラ 新装版(河出文庫 み 2-1)**  
 中沢 新一 編  
 南方 熊楠 著  
 河出書房新社  
 20 代後半のロンドン時代、30 代後半の那智時代の南方熊楠が、明治期の僧侶・土宜法竜に宛てた書簡を中心に構成。熊楠の中心思想=南方マンダラを解き明かす。中沢新一の解題も収録。

2015:4./ 390p  
 978-4-309-42061-5  
 本体 ¥1,200+税



\* 9 7 8 4 3 0 9 4 2 0 6 1 5 \*

朝日新聞 2017/05/07



**破天の剣(ハルキ文庫 あ 27-1)**

天野 純希 著

角川春樹事務所

薩摩の戦国大名・島津貴久の四男として生まれた家久は「軍法戦術に妙を得たり」と評価されるほどの戦巧者だった。家久は島津の九州統一の夢に奔命するが、豊臣秀吉と弟秀長が率いる大軍がその前に立ち塞がり…。

2015:10./ 444p

978-4-7584-3949-7

本体 ¥780+税



朝日新聞 2017/05/07



**我ら荒野の七重奏(セプテット)**

加納 朋子 著

集英社

少年少女の青春の舞台裏には、親たちの奮闘が!?息子の吹奏楽部の活動に巻き込まれたワーキングマザー。やることはどっさり、人間関係も大変!それでも頑張る、笑いど涙の痛快エンターテインメント。

2016:11./ 294p

978-4-08-771014-4

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/05/07



**南方熊楠~複眼の学問構想~**

松居 竜五 著

慶應義塾大学出版会

東洋と西洋を往還する体験から、自然と人間、文明と未開、性的な規範といった既存の知的枠組みを相対化する独創的な知を紡いだ学者・南方熊楠。その多様性と集束力の織り成すダイナミズムを精緻に描く。

2016:12./ 539p,79p

978-4-7664-2362-4

本体 ¥4,500+税



朝日新聞 2017/05/07



**存在感のある人~アーサー・ミラー短篇小説集~**

アーサー・ミラー、上岡 伸雄 著

早川書房

世界的に名高いピュリッツァー賞作家、アーサー・ミラーの短篇小説集。海岸で奇妙なカップルを目撃した男の脳裏に、若かりし日々が蘇る表題作をはじめ、「ビーバー」「裸の原稿」など晩年に発表した6篇を収録。

2017:1./ 255p

978-4-15-209665-4

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2017/05/07



**うつヌケ~うつトンネルを抜けた人たち~**

田中 圭一 著

KADOKAWA

著者自身のうつ病脱出体験をベースに、うつ病からの脱出に成功した人たちをレポート。うつ病について実体験から知識を学べ、かつ悩みを分かち合い勇気付けられるドキュメンタリーコミック。

2017:1./ 173p

978-4-04-103708-9

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2017/05/07



**復興ストレス~失われゆく被災の言葉~**

伊藤 浩志 著

彩流社

安全性は科学の問題で、安心感は心の問題だとする二項対立によって排除され、不可視化されてしまう「原発事故に対する国と東電の過失責任がきちんと問われない」という社会の病を顕在化させる。『みすず』掲載をもとに書籍化。

2017:2./ 202p

978-4-7791-2300-9

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2017/05/07



**理性の起源～賢すぎる、愚かすぎる、それが人間だ～(河出ブックス 101)**

網谷 祐一 著  
河出書房新社

理性があることは進化で有利か。どのような理性が進化したか。最新の諸科学の成果からヒトらしさの根源に迫る知的エンタテインメント。

朝日新聞 2017/05/07

2017:2./ 232p  
978-4-309-62501-0  
本体 ¥1,700+税



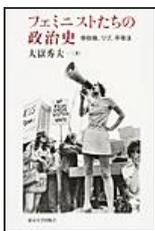
**燕雀の夢**

天野 純希 著  
KADOKAWA

織田信長、豊臣秀吉-。戦国時代を戦い抜いた英傑たちと、その父の姿を、圧迫的な筆致で描く歴史小説全 6 篇を収録。歴史に埋もれてしまった真の父子の姿を明かす。『小説野性時代』本の旅人』掲載に加筆・修正して書籍化。

朝日新聞 2017/05/07

2017:2./ 285p  
978-4-04-104771-2  
本体 ¥1,600+税



**フェミニストたちの政治史～参政権,リブ,平等法～**

大嶽 秀夫 著  
東京大学出版会

そもそもフェミニズムとは日本を含む先進諸国の政治においていったいなんだったのか。19 世紀から、1960 年代アメリカの「リブ」、日本におけるバックラッシュまで、フェミニズムの展開を政治史のなかに位置づける。

朝日新聞 2017/05/07

2017:2./ 8p,276p,8p  
978-4-13-033106-7  
本体 ¥3,200+税



**モラルの起源～実験社会科学からの問い～(岩波新書 新赤版 1654)**

亀田 達也 著  
岩波書店

「群れ」や「仲間」を大きく超えて人々がつながる現代、私たちが対立を乗り越え、平和で安定した社会を築くにはどうしたらよいか。「実験社会科学」という新たなアプローチで、メタモラルの可能性を文理横断的に探る。

朝日新聞 2017/05/07

2017:3./ 13p,172p,2p  
978-4-00-431654-1  
本体 ¥760+税



**誰が日本の労働力を支えるのか?**

寺田 知太、上田 恵陶奈、岸 浩稔、森井 愛子 著  
東洋経済新報社

労働人口が激減する日本の未来。この危機を打開する切り札は、人工知能か、それとも移民か、近未来予測とナビゲーション!

朝日新聞 2017/05/07

2017:4./ 209p,18p  
978-4-492-76231-8  
本体 ¥1,600+税



**パーフェクトヒューマン<1>(芳文社コミックス)**

高橋 一仁 著  
芳文社

世良優人、18 歳。帝都大学首席合格の頭脳にして、天才プロボクサー。容姿も性格も完璧で、世間から注目を集める彼の恐ろしい秘密—それは 5 人の同じ顔の男が一人の人間を演じているという事実だった。

朝日新聞 2017/05/07

2017:4./ 176p  
978-4-8322-3544-1  
本体 ¥590+税





### 大航海時代の地球見聞録通解『職方外紀』

ジュリオ・アレーニ、楊 廷? 著  
原書房

巨人の闊歩する国、紫色の顔、海には無数の怪物……。17世紀、中国に渡ったイエズス会宣教師が語った「世界」は、不思議で謎と奇跡に満ちていた。江戸時代の「国際派」も携えた奇本を、わかりやすい現代語と詳細な注釈で紹介。

朝日新聞 2017/05/07

2017:3./ 309p  
978-4-562-05389-6

本体 ¥3,000+税



\* 9 7 8 4 5 6 2 0 5 3 8 9 6 \*



### 男らしさの歴史<2> 男らしさの勝利

A.コルバン 編  
藤原書店

西ヨーロッパを中心に、「男らしさ」とその変容を描いた歴史書。2は、「男らしさ」の美德が最大限に影響力をふるった、民主化と産業化と近代性の時代である19世紀を扱う。カラー口絵も豊富に収録。

朝日新聞 2017/05/07

2017:4./ 658p

978-4-86578-120-5

本体 ¥8,800+税



\* 9 7 8 4 8 6 5 7 8 1 2 0 5 \*



### ハンドブック戦後日本外交史〜対日講和から密約問題まで〜(Minerva KEY-WORDS 3)

宮下 明聡 著  
ミネルヴァ書房

戦後日本は、賠償問題、通商摩擦、ODA、安全保障といった課題にどう向き合ったか。敗戦から冷戦後までの70年間における82の事例について、それぞれの背景、展開、意義を詳述し、戦後日本外交史の全貌を明らかにする。

朝日新聞 2017/05/07

2017:3./ 12p,318p,14p

978-4-623-07861-5

本体 ¥3,500+税



\* 9 7 8 4 6 2 3 0 7 8 6 1 5 \*



### 鬼神

矢野 隆 著  
中央公論新社

源頼光に従い都へ上った坂田公時は、ある日、鬼の噂を耳にする。一方、神の棲まう大江山では、民の糧の獣たちが姿を消した。都と山、人と鬼、陰謀と希望。交わるはずのない思いが交錯する時、歴史を揺るがす戦が巻き起こる!

朝日新聞 2017/05/07

2017:3./ 355p

978-4-12-004951-4

本体 ¥1,700+税



\* 9 7 8 4 1 2 0 0 4 9 5 1 4 \*



### 宝を探す女〜ブスカ・デ・テソロス〜(角川文庫 お 78-2)

逢坂 剛 著  
KADOKAWA

岡坂神策は、ある晩ひたたくりにあった女を助ける。が、なぜかその女は、東京御茶ノ水に埋まっているという幕末埋蔵金探しをもちかけてきて…。表題作ほか、「暗い森の死」「転落のロンド」など全5編を収録する。

朝日新聞 2017/05/07

2017:3./ 332p

978-4-04-104743-9

本体 ¥680+税



\* 9 7 8 4 0 4 1 0 4 7 4 3 9 \*



### 創作あーちすとNON

のん 著  
太田出版

女優、創作あーちすと「のん」の特大スケールの世界観が丸ごと楽しめる一冊。アクションペインティング、オリジナルドレス制作、憧れの桃井かおり、清水ミチコらとの対談、故郷への撮影旅行などを収録。

朝日新聞 2017/05/07

2017:3./ 118p

978-4-7783-1568-9

本体 ¥1,800+税



\* 9 7 8 4 7 7 8 3 1 5 6 8 9 \*



**日本の時代をつくった本～幕末から現代までの社会と文学をビジュアルで読み解く～**

WAVE出版

幕末から現代まで、150年のあいだに刊行された書籍や雑誌を、カラーの書影や著者の解説とともに紹介し、それらが社会に与えた影響と社会がそれらに与えた影響を考察。日本の出版社や出版人も取り上げる。

2017:4./ 318p  
978-4-86621-040-7  
本体 ¥9,000+税



朝日新聞 2017/05/07



**アーサー・ミラー<4> 転落の後に/ヴィシーでの出来事(ハヤカワ演劇文庫 38)**

アーサー・ミラー 著

早川書房

M・モンローとの結婚生活を題材にした「転落の後に」、親ナチス政権下の留置場が舞台の「ヴィシーでの出来事」。傑作二篇を収録。

2017:4./ 364p  
978-4-15-140038-4  
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/05/07



**ナオミとカナコ(幻冬舎文庫 お-13-3)**

奥田 英朗 著

幻冬舎

望まない職場で憂鬱な日々を送る直美。夫の暴力に耐える加奈子。追いつめられた2人が下した選択とは。復讐か、サバイバルか、自己実現か。前代未聞の殺人劇が、今、動き始める...

2017:4./ 558p  
978-4-344-42589-7  
本体 ¥770+税



朝日新聞 2017/05/07



**場面設定類語辞典**

アンジェラ・アッカーマン、ベッカ・パグリッシ、滝本 杏奈 著

フィルムアート社

物語の舞台・世界観をつくりあげる「場面設定」のノウハウを、全225場面を通して解説。「見えるもの」「聴こえるもの」「味」「匂い」「質感」等の要素、設定の注意点とヒント、例文などを収録する。書き込みページあり。

2017:4./ 583p  
978-4-8459-1623-8  
本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2017/05/07



**遊戯の起源～遊びと遊戯具はどのようにして生まれたか～**

増川 宏一 著

平凡社

遊戯史研究の第一人者が、考古学・人類学などの研究成果をも駆使し、人間社会を潤す「遊び」の起源に迫る、「遊びの世界人類史」。

2017:3./ 292p,11p  
978-4-582-46821-2  
本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2017/05/07、日本経済新聞 2017/05/13、東京・中日新聞 2017/05/14



**かわうそ堀怪談見習い**

柴崎 友香 著

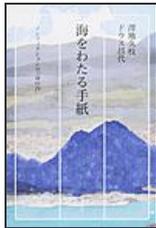
KADOKAWA

中学時代の同級生たまみと再会してから、私の日常は少しずつ歪みはじめる。行方不明になった読みかけの本、暗闇から見つめる蜘蛛...。怖いものを詰め込んだ怪談集。『Mei(冥)』『小説野性時代』掲載に書き下ろしを追加。

2017:2./ 202p  
978-4-04-104831-3  
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/05/07、毎日新聞 2017/05/14



**海をわたる手紙～ノンフィクションの「身の内」～**

澤地 久枝、ドウス 昌代 著

岩波書店

書き手として踏み出すまでのこと、取材と執筆を続けてきたなかでの悩み、苦しみ、そして幾つもの出会い…。長年にわたり互いを支え合ってきたふたりのノンフィクション作家が交わした往復書簡。『世界』連載に加筆し単行本化。

2017:2./ 7p,211p

978-4-00-022234-1

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2017/05/07、毎日新聞 2017/05/21



**プロテスタンティズム～宗教改革から現代政治まで～(中公新書 2423)**

深井 智朗 著

中央公論新社

宗教改革からはじまったプロテスタンティズムは世界に広まる中で、政治や文化にも大きな強い影響を及ぼしている。プロテスタンティズムについて歴史的背景とともに解説し、その内実を明らかにする。

2017:3./ 9p,221p

978-4-12-102423-7

本体 ¥800+税



朝日新聞 2017/05/07、毎日新聞 2017/05/21



**劇場**

又吉 直樹 著

新潮社

一番会いたい人に会いに行く。こんな当たり前のことが、なんでできへんかったんやろな。かけがえのない大切な誰かを想う、切なくも胸にせまる恋愛小説。『新潮』掲載を単行本化。

2017:5./ 207p

978-4-10-350951-6

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2017/05/12、読売新聞 2017/05/14



**切腹の話～日本人はなぜハラを切るか～(講談社現代新書)**

千葉徳爾 著

講談社

朝日新聞 2017/05/14

1983:11./ 218p

978-4-06-115687-6

本体 ¥420+税



**狩猟伝承研究<総括編>**

千葉 徳爾 著

風間書房

著者四半世紀の山村採訪を軸に、信ずべき先学の報告記事を渉猟しつつ考察を加え、信仰や芸能の発生をも探り、猟師の古老たちからの聞書や狩の巻物の内容によって民族心意の深奥に迫る。

1986:5./ 486p

978-4-7599-0656-1

本体 ¥12,000+税



朝日新聞 2017/05/14



**革命について(ちくま学芸文庫)**

ハナ・アーレント 著

筑摩書房

《自由の創設》をキイ概念としてアメリカとヨーロッパの二つの革命を比較・考察し、その最良の精神を20世紀の惨状から救い出す。

1995:6./ 478p

978-4-480-08214-5

本体 ¥1,450+税



朝日新聞 2017/05/14

**柳田国男全集<1> 産業組合**柳田 国男 著  
筑摩書房

碩学の思考を跡づけるために、初刊本を底本として刊行順に編纂、改版等で付加された文章を網羅する、はじめての画期的全集。

1999:7./ 807p  
978-4-480-75061-7  
本体 ¥9,700+税

朝日新聞 2017/05/14

**ケルゼン研究<3>(慈学社叢書)**長尾 龍一 著  
慈学社出版

ケルゼンを中心とした西洋思想研究小品集。3 は、ケルゼンについて考えたこと、調べたことをまとめた小論のほか、シュミットやシュトラウス、ウェーバー、ホッブズに関する小論を収録。

2013:4./ 11p,456p  
978-4-903425-79-5  
本体 ¥4,000+税

朝日新聞 2017/05/14

**たそがれたかこ<1>(KCDX 3564)**入江 喜和 著  
講談社

たかこは、母と暮らすバツイチ 45 歳。このところ、夜にやられて隅田川のほとりで一人、酒を飲む。ところが、だれもいないと思ったそこで、声をかけてきた男がいて—!?ふんばりざかりをふんばる人に、届けたい物語。

2014:4./ 159p  
978-4-06-376964-7  
本体 ¥580+税

朝日新聞 2017/05/14

**江戸しぐさの正体～教育をむしばむ偽りの伝統～(星海社新書 52)**原田 実 著  
星海社

「江戸しぐさ」とは、現実逃避から生まれた架空の伝統であり、実際の江戸時代の風俗からかけ離れたものである。教育現場で道徳教育の教材として用いられるまでになった「江戸しぐさ」を徹底検証し、その正体を見極める。

2014:8./ 222p  
978-4-06-138555-9  
本体 ¥820+税

朝日新聞 2017/05/14

**東日本大震災と被災・避難の生活記録**吉原 直樹、仁平 義明、松本 行真 著  
六花出版

被災直後から現在に至るまでの被災者の様相をまとめた調査報告集。復興の過程やボランティア活動、コミュニティの実際、メディアの情報発信のありようを、社会学・防災学・心理学など多様な研究分野から分析・検証する。

2015:3./ 4p,770p  
978-4-905421-80-1  
本体 ¥8,000+税

朝日新聞 2017/05/14

**せいめいのれきし～地球上にせいめいがうまれたときからいままでのおはなし～  
改訂版**

岩波書店

地球が生まれてから今この瞬間までの壮大な命のリレーを、劇場仕立てで物語る名作絵本が半世紀ぶりに生まれ変わりました。現在の知見を元に本文をアップデート。監修は恐竜研究の第一人者・真鍋真氏。

2015:7./ 76p  
978-4-00-111250-4  
本体 ¥1,700+税

朝日新聞 2017/05/14



**住友銀行秘史**

國重 惇史 著

講談社

保身に走る上司とぶつかり、裏社会の勢力と闘ったのは、銀行を愛してやまないひとりのバンカーだった。戦後最大の経済事件「イトマン事件」の内部告発を行った元住友銀行取締役が、すべてを綴った手記を公開する。

朝日新聞 2017/05/14

2016:10./ 469p

978-4-06-220130-8

本体 ¥1,800+税



**みんなの道徳解体新書(ちくまプリマー新書 266)**

パオロ・マッツァリーノ 著

筑摩書房

義務教育化されるこの機会に道徳って何なのか、誰のために必要なのか考えるために副読本を読んでみた。するとつっこみどころ満載!?

朝日新聞 2017/05/14

2016:11./ 179p

978-4-480-68969-6

本体 ¥780+税



**バブル～日本迷走の原点～**

永野 健二 著

新潮社

超低金利を背景にリスク感覚が欠如した狂乱の時代。日本人の価値観が壊れ、社会が壊れ、そして政・官・財が一体となった日本独自の「戦後システム」が壊れた...。「失われた 20 年」を経て見えてくるバブルの真実に迫る。

朝日新聞 2017/05/14

2016:11./ 287p

978-4-10-350521-1

本体 ¥1,700+税



**野村証券第2事業法人部**

横尾 宣政 著

講談社

もともと活気があった 1980 年代の野村証券。「コミッション(手数料)亡者」と言われながらトップセールスマンとして走り続け、「オリンパス巨額粉飾事件」で逮捕された著者が、黄金時代と事件の真相を綴った実名手記。

朝日新聞 2017/05/14

2017:2./ 407p

978-4-06-220462-0

本体 ¥1,800+税



**「おもてなし」という残酷社会～過剰・感情労働とどう向き合うか～(平凡社新書 839)**

榎本 博明 著

平凡社

行き過ぎた「おもてなし」(接客)の精神が現代に働く私たちの多くを追い詰めている。その社会的背景や実例を示し、対処法を考える。

朝日新聞 2017/05/14

2017:3./ 207p

978-4-582-85839-6

本体 ¥780+税



**ナビラとマララ～「対テロ戦争」に巻き込まれた二人の少女～**

宮田 律 著

講談社

パキスタンの少女、マララとナビラの運命を分けたものは? 現代イスラムの研究者が、「対テロ戦争」に巻き込まれた 2 人の少女の身の上になにが起きたのかを紹介しながら、「対テロ戦争」が終わらない理由を解き明かす。

朝日新聞 2017/05/14

2017:3./ 170p

978-4-06-220484-2

本体 ¥1,200+税





**忘れられた人類学者(ジャパノロジスト)~エンブリー夫妻が見た<日本の村>~**

田中 一彦 著  
忘羊社

1935年(昭和10)、アメリカから来た若き俊英とその妻が感動と共に記録した開戦前の日本。戦前唯一の日本農村研究書を著し、ベネディクトの「菊と刀」やGHQの戦後改革にも多大な影響を及ぼした人類学者を描く評伝。

朝日新聞 2017/05/14

2017:2./ 319p  
978-4-907902-16-2  
本体 ¥2,000+税



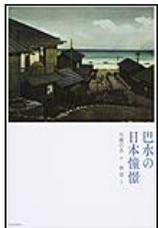
**希望の鎮魂歌(レクイエム)~ホロコースト第二世代が訪れた広島、長崎、福島~**

エヴァ・ホフマン、早川 敦子 著  
岩波書店

ホロコーストを生き延びた両親のもと、ポーランドで生まれた著者が、広島、長崎、福島を訪れた。被爆者との交流、詩人若松丈太郎らとの詩作、被爆二世の作家大島ミチルとの対話などをまとめる。動画を収録したDVD付き。

朝日新聞 2017/05/14

2017:3./ 10p,163p  
978-4-00-061189-3  
本体 ¥3,700+税



**巴水の日本憧憬**

川瀬 巴水、林 望 著  
河出書房新社

林望が選んだ川瀬巴水作品40点を春夏秋冬に分け、抒情あふれる言葉で解説した画文集。巴水の詩的で静寂な世界へと誘う。

朝日新聞 2017/05/14

2017:3./ 125p  
978-4-309-27824-7  
本体 ¥3,200+税



**ビートたけしと北野武(講談社現代新書 2417)**

近藤 正高 著  
講談社

差別・暴力・宗教…。なぜ、ビートたけしは昭和の事件当事者を演じるのか。出演ドラマ・映画作品を軸に、現代社会の「欺瞞」と彼の「二面性」に迫る。講談社ウェブサイト『現代ビジネス』連載に加筆修正。

朝日新聞 2017/05/14

2017:3./ 225p  
978-4-06-288417-4  
本体 ¥800+税



**双蛇密室(講談社ノベルス ハG-05)**

早坂 吝 著  
講談社

「援交探偵」上木らいちの「お客様」藍川刑事は「二匹の蛇」の夢を物心付いたときから見続けていた。蛇にまつわる二つの密室事件が「蛇の夢」と?がるのか。らいちも怯む(!?)驚天動地の真相とは? らいちシリーズ第4弾。

朝日新聞 2017/05/14

2017:4./ 173p  
978-4-06-299094-3  
本体 ¥800+税



**東日本大震災と<復興>の生活記録**

吉原 直樹、似田貝 香門、松本 行真 著  
六花出版

東日本大震災における復興のありようを、とくに人びと(被災者)の生活世界に照準を合わせて明らかにしようとする多数の記録を集成。「復興組織における組織間関係の変遷」「被災地釜石の住民運動」などを収録。

朝日新聞 2017/05/14

2017:3./ 4p,774p  
978-4-86617-027-5  
本体 ¥8,000+税





**殺生と戦争の民俗学～柳田國男と千葉徳爾～(角川選書 582)**

大塚 英志 著  
KADOKAWA

「聖セバスチャン殉教図」に「殺生の快樂」を見いだした師・柳田國男。己の「殺生の快樂」への欲望を起点に「戦争の民俗学」へと分け入った弟子・千葉徳爾。千葉の教え子が師の研究に対峙し、現代の民俗学の在り方までを問う。

2017:3./ 390p  
978-4-04-703607-9  
本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2017/05/14



**ファイリグリー街の時計師(ハーバーBOOKS F・フ1・1)**

ナターシャ・プーリー 著  
ハーバーコリンズ・ジャパン

1883年ロンドン。内務省に勤めるサニエルは、下宿部屋に見覚えのない懐中時計が置かれていることに気づく。半年後、爆破テロから間一髪、彼を救ったのは、奇妙なその時計だった…。奇想ミステリー。

2017:4./ 494p  
978-4-596-55055-2  
本体 ¥972+税



朝日新聞 2017/05/14



**ニューヨークの妖精物語～フェアリーテイル～(創元推理文庫 Fス5-8)**

シャンナ・スウェンドソン 著  
東京創元社

俳優を夢見て NY にきたエミリー。念願の舞台で脚光を浴びたその晩、姿を消してしまった。だが、姉のソフィーにはわかっていた。妖精たちが、かつて自分に踊りを教えた対価に妹をさらったと。ソフィーは妹を捜し始める。

2017:4./ 435p  
978-4-488-50309-3  
本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2017/05/14



**殺人事件(講談社文庫 は110-1)**

早坂 吝 著  
講談社

ブログで知り合った沖らは、仮面の男・黒沼が所有する孤島で毎年オフ会を行っていた。孤島に着いた翌朝、参加者が失踪し、殺人事件が! さらに意図不明の密室が連続し…。果たして犯人は? そしてこの作品のタイトルとは?

2017:4./ 326p  
978-4-06-293627-9  
本体 ¥660+税



朝日新聞 2017/05/14



**日本手話とろう教育～日本語能力主義をこえて～**

クァク ジョンナン 著  
生活書院

ろう文化宣言から龍の子学園、そして明晴学園へ。日本手話と日本語の読み書きによるバイリンガルろう教育の展開を、その前史から現在まで詳述。言語権を議論の軸にすえ、多言語社会日本のありかた自体を問い直す。

2017:3./ 189p  
978-4-86500-065-8  
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/05/14



**ヒトラーの描いた薔薇(ハヤカワ文庫 SF 2122)**

ハーラン・エリスン 著  
早川書房

地獄の扉が開き、希代の犯罪者たちが逃亡した時、ヒトラーは……表題作ほか、SF界のレジェンドによる本邦初訳を含む全13篇を収録

2017:4./ 381p  
978-4-15-012122-8  
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2017/05/14



**文部省の研究～「理想の日本人像」を求めた百五十年～(文春新書 1129)**

辻田 真佐憲 著

文藝春秋

独立独歩で生きていく個人、天皇に奉仕する臣民、平和と民主主義の担い手、熱心に働く企業戦士…。「理想の日本人像」を追い求めてきた文部省 150 年の歴史を検証する。

2017:4./ 267p

978-4-16-661129-4

本体 ¥920+税



朝日新聞 2017/05/14



**Artiste<1>(パンチコミックス)**

さもえど 太郎 著

新潮社

パリのレストランで働く気弱な青年・ジルベール。雑用係として、毎日皿を洗い続ける平凡な日々を送る彼だったが、陽気な新人・マルコとの出会いによって、世界は変わり始める。

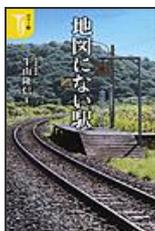
2017:4./ 208p

978-4-10-771966-9

本体 ¥640+税



朝日新聞 2017/05/14



**地図にない駅～カラー版～(宝島社新書 474)**

宝島社

全国各地の鉄道路線に設置された新旧の信号場、臨時駅、仮乗降場を大公開。非正規の乗降施設の魅力と楽しみ方を、現況のカラー写真や配線図などの資料とともに紹介する。ユーザー目線の紀行ガイドや各種施設のトリビアも掲載。

2017:4./ 191p

978-4-8002-6410-7

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2017/05/14



**今日の人生**

益田 ミリ 著

ミシマ社

わたしの人生に降りかかってくる面倒なできごと。すべて作品に昇華してみせる、と改めて思った今日の人生-。益田ミリが日々思ったことを漫画で描く。『みんなのミシマガジン』連載を再構成し、書き下ろしを加える。

2017:4./ 237p

978-4-903908-94-6

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/05/14



**あの会社はこうして潰れた(日経プレミアシリーズ 337)**

藤森 徹 著

日本経済新聞出版社

老舗菓子店、名医が経営する病院…あの企業はなぜ破綻したのか。無謀な投資、跡継ぎの背任、不正取引など、ウラでおきていたことをつぶさに見てきた信用調査マンが、中小企業倒産の裏側を明かす。『日経電子版』連載を書籍化。

2017:4./ 234p

978-4-532-26337-9

本体 ¥850+税



朝日新聞 2017/05/14、日本経済新聞 2017/05/27



**保育園問題～待機児童、保育士不足、建設反対運動～(中公新書 2429)**

前田 正子 著

中央公論新社

少子化の進む日本で、保育園が増えてもなぜ待機児童は減らないのか。なぜ保育士のなり手が少ないのか。母親として、横浜副市長として、研究者として、この課題に取り組んできた著者が、広い視野から丁寧に解き明かす。

2017:4./ 230p

978-4-12-102429-9

本体 ¥800+税



朝日新聞 2017/05/14、日本経済新聞 2017/05/27



**深読み!絵本『せいめいのれきし』(岩波科学ライブラリー 260)**

真鍋 真 著  
岩波書店

半世紀以上にわたって読み継がれてきた絵本「せいめいのれきし」の改訂版を監修した恐竜博士が、絵本の中には盛り込めなかった知識や、最新の研究成果などを解説する。『科学』掲載を書籍化。

2017:4./ 12p,114p  
978-4-00-029660-1  
本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/05/14、毎日新聞 2017/05/14



**モーツァルトの人生～天才の自筆楽譜と手紙～**

ジル・カンタグレル、博多 かおる 著  
西村書店

モーツァルトが残した楽曲の自筆譜の数々や、妻に書いたユーモアと愛情に溢れた手紙などを盛り込み、作品と人物像に迫ります。

2017:5./ 222p  
978-4-89013-768-8  
本体 ¥4,800+税



朝日新聞 2017/05/14、毎日新聞 2017/05/28



**蕩児の家系～日本現代詩の歩み～(思潮ライブラリー)**

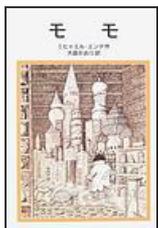
大岡 信 著  
思潮社

短歌、俳句、あるいは文語定型詩という旧家からとびだした放蕩息子である口語自由詩の足跡を、追跡し、再構成した評論集。1969年初版の復刻新版。

2004:7./ 300p  
978-4-7837-2330-1  
本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2017/05/21



**モモ(岩波少年文庫)**

ミヒヤエル・エンデ 著  
岩波書店

時間どろぼうと、ぬすまれた時間を人間にとりかえしてくれた女の子モモのふしぎな物語。人間本来の生き方を忘れてしまっている現代の人々に(時間)の真の意味を問う、エンデの名作。

2005:6./ 409p  
978-4-00-114127-6  
本体 ¥800+税



朝日新聞 2017/05/21



**詩人・菅原道真～うつしの美学～(岩波現代文庫 文芸 136)**

大岡 信 著  
岩波書店

平安朝最高の漢詩人であった菅原道真。「写す・映す・移す」という意味を含む「うつし」という概念によって道真の軌跡と作品を考察し、「モダニスト」としての道真像を浮き彫りにして、現代文化のあり方をも問う力作。

2008:6./ 206p  
978-4-00-602136-8  
本体 ¥900+税



朝日新聞 2017/05/21



**大岡信詩集(現代詩文庫)**

大岡信 著  
思潮社

朝日新聞 2017/05/21

1969:7./ 160p  
978-4-7837-0723-3  
本体 ¥1,165+税





**ハムレット(白水 U ブックス)**  
 ウィリアム・シェークスピア 著  
 白水社  
 朝日新聞 2017/05/21

1983:10./ 258p  
 978-4-560-07023-9  
 本体 ¥900+税

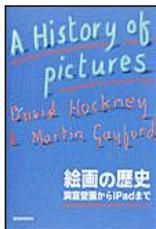



**うたげと孤心 大和歌篇(同時代ライブラリー 31)**  
 大岡信 著  
 岩波書店  
 詞華集の編纂、歌合、連歌といった古典詩歌の創造の場としての「うたげ」、それ  
 に対峙する「孤心」の営為一日本詩歌史上の傑作の検討を通して、わが国の文芸  
 の独自性を問い、日本的美意識の構造をみごとに捉えた名著。

1990:8./ 339p  
 978-4-00-260031-4  
 本体 ¥922+税



朝日新聞 2017/05/21

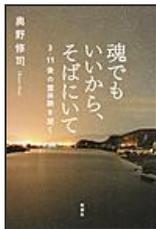


**絵画の歴史～洞窟壁画から iPad まで～**  
 デイヴィッド・ホックニー、マーティン・ゲイフォード、木下 哲夫 著  
 青幻舎  
 一大センセーションを巻き起こした前著『秘密の知識』から約 10 年。思索を深め  
 続ける現代美術界の巨匠デイヴィッド・ホックニーが、美術批評家マーティン・ゲイ  
 フォードとの対談を通して、絵画芸術の本質に迫る衝撃の一書。

2017:3./ 360p  
 978-4-86152-587-2  
 本体 ¥5,500+税



朝日新聞 2017/05/21



**魂でもいいから、そばにいて～3・11 後の霊体験を聞く～**  
 奥野 修司 著  
 新潮社  
 「誰にも話せませんでした。死んだ家族と“再会”したなんて-」 未曾有の大震災で  
 愛する者を喪った人びとの奇跡の体験と再生の記録。『新潮』『G2』掲載を改稿し  
 て書籍化。

2017:2./ 254p  
 978-4-10-404902-8  
 本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/05/21



**ヒトラーの裁判官フライスラー**  
 ヘルムート・オルトナー、須藤 正美 著  
 白水社  
 白バラ抵抗運動被告ほか、死刑判決を多数下した人民法廷長官の生涯と、司法  
 界の闇を暴く戦慄の書。死刑判決文・図版多数収録。

2017:3./ 319p,52p  
 978-4-560-09539-3  
 本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2017/05/21

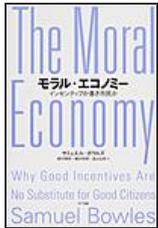


**世界で一番美しいフクロウの図鑑**  
 マイク・アンウィン、五十嵐 友子、デヴィッド・ティプリング 著  
 エクスナレッジ  
 神秘的で謎に満ちたフクロウ。小さなサボテンフクロウから、ほとんどのワシタカ類  
 より大きなシマフクロウまで、50 種を超えるフクロウそれぞれの知られざる生態や、  
 人間との関わりなどについて、美しい写真とともに紹介する。

2017:2./ 287p  
 978-4-7678-2233-4  
 本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2017/05/21



**モラル・エコミー～インセンティブか善き市民か～**

サミュエル・ボウルズ、植村 博恭、磯谷 明德、遠山 弘徳 著  
NTT出版

インセンティブと「法」だけでは、繁栄は築けない。善き「徳」に導かれた人々が不可欠である。思想史の系譜と実証研究、マイクロ・モデルをふまえた、きわめてアクチュアルな経済思想を展開する。ボウルズの到達点を示した一冊。

2017:3./ 11p,276p  
978-4-7571-2358-8

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2017/05/21



**日本全国合成地名の事典**

浅井 建爾 著  
東京堂出版

合併や土地区画整理などで行政区分が再編成された際に、複数の地名から文字の一部を取り、組み合わせて作った合成地名が多く生まれた。日本全国の合成地名の由来や変遷を、地域ごとに紹介する。

2017:3./ 284p

978-4-490-10889-7

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2017/05/21



**図説鉄道の博物誌～ものづくり技術遺産(鉄道の革新)～**

石田 正治、山田 俊明、池森 寛 著  
秀和システム

近代化の原動力・鉄道をめぐる機械技術の歴史をまとめた鉄道の博物誌。鉄道関係の技術遺産をトリビアやコラムと共に紹介する。全国鉄道博物館ガイドも掲載。2018年4月30日まで有効の電子書籍サービス付き。

2017:4./ 412p

978-4-7980-4875-8

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2017/05/21



**下山の時代を生きる(平凡社新書 841)**

鈴木 孝夫、平田 オリザ 著  
平凡社

「下山の時代」にあつて、日本人はいかに生きるべきか。言語学の泰斗と多方面で活躍する劇作家が今の時代に求められる思想を説く。

2017:4./ 205p

978-4-582-85841-9

本体 ¥740+税



朝日新聞 2017/05/21



**文化遺産はだれのものか～トルコ・アナトリア諸文明の遺物をめぐる所有と保護～**

田中 英資 著  
春風社

過去の痕跡はいかにして「文化遺産」となるのか。様々な遺跡が重層的に残るトルコの遺物をめぐる言説から、文化遺産概念を問い直す。

2017:4./ 317p

978-4-86110-548-7

本体 ¥3,700+税



朝日新聞 2017/05/21



**演奏史譚 1954/55～クラシック音楽の黄金の日々～**

山崎 浩太郎 著  
アルファベータブックス

ステレオ・レコード黄金時代前夜の1954年?55年。冷戦下の欧米や共産圏を旅した音楽評論家の吉田秀和、山根銀二は何をみて、きいたのか。音楽界が最も熱かった激動の2年間を描く。ディスク・ガイドも掲載。

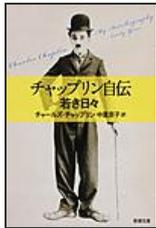
2017:3./ 422p

978-4-86598-029-5

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2017/05/21



**チャップリン自伝～若き日々～(新潮文庫 チ-2-1)**

チャップリン 著  
新潮社

ロンドンの薄汚れた劇場から栄光のハリウッドへ。度重なる苦難に襲われながら、少年はいかにして大スターまでの階段を登りつめていったか? 「喜劇王」の前半生を自らふりかえって描く。

2017:4./ 413p  
978-4-10-218503-2  
本体 ¥710+税



朝日新聞 2017/05/21



**父と私(B&T ブックス)**

田中 眞紀子 著  
日刊工業新聞社

娘から見た、政治家・田中角榮とは? 田中眞紀子が、父とともに歩んだ 47 年間の濃密な日々を、研ぎ澄まされた感性とクリアな視点でユーモアを交えて活写する。

2017:3./ 305p  
978-4-526-07676-3  
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/05/21



**写真民俗学～東西の神々～**

芳賀 日出男 著  
KADOKAWA

人と神の多様な交わりを、東西の祭礼を通して眺めると、その類似と違いの面白さがわかる。世界各地の習俗を捉え続けてきた芳賀日出男、95 歳。400 点超の写真と貴重な記録が織りなす、「写真民俗学」の集大成。

2017:3./ 311p  
978-4-04-400215-2  
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/05/21



**スノーデン日本への警告(集英社新書 0876)**

エドワード・スノーデン、青木 理、井桁 大介、金 昌浩、ベン・ワイズナー、マリコ・ヒロセ、宮下 紘 著  
集英社

米国政府が行っていた大量監視の実態とメディアの役割等をあのスノーデンが明快に解説。後半はスノーデンの顧問弁護士や公安事件に詳しいジャーナリストら日米の精鋭が、監視問題の議論を深める。

2017:4./ 200p,2p  
978-4-08-720876-4  
本体 ¥720+税



朝日新聞 2017/05/21



**スマホ廃人(文春新書 1126)**

石川 結貴 著  
文藝春秋

ネットやゲーム、しつけや子守まで、単なる端末の域を超え活用の幅が広がるスマホ。一方、中毒性が指摘され、長時間の使用は身体への影響が懸念されている。この先に待っているものは...? 豊富な取材をもとに最前線を追う。

2017:4./ 223p  
978-4-16-661126-3  
本体 ¥740+税



朝日新聞 2017/05/21



**電卓四兄弟～カシオ「創造」の60年～**

樫尾 幸雄、佐々木 達也 著  
中央公論新社

計算機開発の試行錯誤、ゴルフ三昧による経営危機、そして、電卓を家庭に普及させた大ヒット...。カシオの基礎を築いた樫尾家の4人の兄弟の波乱万丈の歩みを、四男である著者が振り返る。『読売新聞』連載に加筆し単行本化。

2017:3./ 187p  
978-4-12-004969-9  
本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2017/05/21



**SPRINT 最速仕事術～あらゆる仕事うまくいく最も合理的な方法～**  
 ジェイク・ナップ、ジョン・ゼラツキー、ブレイデン・コウィッツ、櫻井 祐子 著  
 ダイヤモンド社  
 アイデアの発案から問題点の発見、解決、検証まで、すべてを全力疾走(スプリント)で行い、たった 5 日ですごいものを生み出す-google式仕事術を紹介する。スプリントに必要な項目を網羅したチェックリスト、FAQ も収録。

2017:4./ 358p  
 978-4-478-06699-7  
 本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/05/21



**アンと教授の歴史時計<2>(プリンセス・コミックス)**  
 もと なおこ 著  
 秋田書店  
 朝日新聞 2017/05/21

2017:4./ 192p  
 978-4-253-27287-2  
 本体 ¥429+税



**「白い恋人」奇跡の復活物語**  
 石水 創 著  
 宝島社  
 賞味期限偽装、社長の辞任、倒産の危機。どん底から日本一人気のお土産菓子に-。「白い恋人」奇跡の復活物語。2007 年、現場では何が起き、どのように信頼回復に努めてきたのかを、石屋製菓の代表取締役社長自らが語る。

2017:4./ 223p  
 978-4-8002-6477-0  
 本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2017/05/21



**チャップリン～作品とその生涯～(中公文庫 お 90-1)**  
 大野 裕之 著  
 中央公論新社  
 チャップリンの NG フィルムを全て閲覧した著者が、初期の短編、「街の灯」「独裁者」等の名作から幻の遺作「フリーク」まで、喜劇王が作品に込めたメッセージを読み解き、新たな実像を提示する。

2017:4./ 365p  
 978-4-12-206401-0  
 本体 ¥920+税



朝日新聞 2017/05/21



**血縁**  
 長岡 弘樹 著  
 集英社  
 出頭という言葉を知ると、芹沢はあの出来事を思い出す。刑務官が押さなければならない、死刑執行の 3 つのボタン-「ラストストロー」。家族にまつわる七編の短編を通して、人生の機微をうかがう。

2017:3./ 273p  
 978-4-08-771068-7  
 本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/05/26



**ライオン・ブルー**  
 呉 勝浩 著  
 KADOKAWA  
 田舎町の交番に異動した澤登は、失踪した同期・長原の真相を探っていく。やがて町のゴミ屋敷が放火され、家主・毛利の遺体が見つかる。澤登は長原が失踪直前に毛利に会っていたことを?むが…。交番警察ミステリ。

2017:4./ 333p  
 978-4-04-104774-3  
 本体 ¥1,550+税



朝日新聞 2017/05/26



**謎〜キニャール物語集〜(パスカル・キニャール・コレクション)**

パスカル・キニャール 著  
水声社

伝承をもとに書きおこされた物語の蒐集家を自認する作家の核となる文学観が表れた物語集。愛する者を手に入れるため、悪魔と結んだ契約に苦しむ娘と愛された男の苦闘を描いた「舌の先まで出かかった名前」など全6編を収録。

2017:5./ 214p  
978-4-8010-0224-1  
本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2017/05/26



**ひよこさん(0.1.2.えほん)**

征矢 清 著  
福音館書店

ひよこさんがひとりでお出かけ。だんだん暗くなり、歩けなくなってしまいました。葉っぱの布団で寝ていたら、だれかがやってきました。なんだか、とってもあったかくなって....

2017:3./ 20p  
978-4-8340-8314-9  
本体 ¥800+税



朝日新聞 2017/05/27



**河童のユウタの冒険<下>(福音館創作童話シリーズ)**

斎藤 惇夫 著  
福音館書店

旅の仲間となったキツネの娘アカネと天狗のハヤテ。旅の目的を問いながら水源にむかうユウタら3人の前に現れたものたちとは...。「ガンバの冒険」シリーズの著者がおくる長編ファンタジー。

2017:4./ 405p  
978-4-8340-8335-4  
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/05/27



**河童のユウタの冒険<上>(福音館創作童話シリーズ)**

斎藤 惇夫、金井田 英津子 著  
福音館書店

北国の湖に棲む河童のユウタは不思議なキツネとの出会いから、目的もわからぬまま“龍川”の水源をめざし、故郷を旅立ちます。「ガンバの冒険」シリーズの著者がおくる長編ファンタジー。

2017:4./ 403p  
978-4-8340-8334-7  
本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/05/27



**明日のひこうき雲(teens' best selections 44)**

八束 澄子 著  
ポプラ社

家族の問題に直面し、晴れない心を抱える遊。ある日、遊の目にとびこんできた、ひとりの少年。おもむろにふりかえった鋭いまなざしを見た、そのとき-遊は恋に落ちた。14歳の等身大の、恋、友情、葛藤を描く青春小説。

2017:4./ 286p  
978-4-591-15429-8  
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2017/05/27



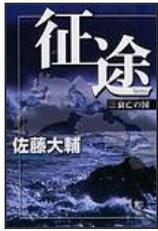
**死をポケットに入れて(河出文庫)**

チャールズ・ブコフスキー 著  
河出書房新社

朝日新聞 2017/05/30

2002:1./ 234p  
978-4-309-46218-9  
本体 ¥680+税

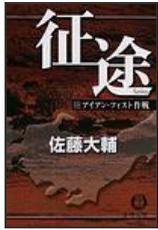




**征途<上> 衰亡の国(徳間文庫)**

佐藤 大輔 著  
徳間書店  
朝日新聞 2017/05/30

2003:9./ 349p  
978-4-19-891938-2  
本体 ¥571+税



**征途<中> アイアン・フィスト作戦(徳間文庫)**

佐藤 大輔 著  
徳間書店  
朝日新聞 2017/05/30

2003:10./ 349p  
978-4-19-891957-3  
本体 ¥571+税



**征途<下> ヴィクトリー・ロード(徳間文庫)**

佐藤 大輔 著  
徳間書店  
朝日新聞 2017/05/30

2003:11./ 461p  
978-4-19-891969-6  
本体 ¥686+税



**見えない人間<1>**

ラルフ・エリスン 著  
英潮社フェニックス  
アメリカの黒人であるがゆえに、歴史に埋もれ、見えない人間になった名もなき青年。社会の周縁に押しやられ、組織から疎んぜられた行き場のない黒人の状況を、叙情的に描写し現代の「人間の条件」に迫る。40余年ぶりの新訳。

2004:9./ 409p  
978-4-88896-335-0  
本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2017/05/30



**見えない人間<2>**

ラルフ・エリスン 著  
英潮社フェニックス  
複雑で流動的で、混沌としたアメリカ社会を陰で操る黒幕は、果たして誰なのか! 作者は、1920・30年代のアメリカ社会を浮き彫りにすると同時に、その社会が持つ諸問題を鋭く抉り出す。7年間を費やして書き上げた労作。

2004:9./ 430p  
978-4-88896-336-7  
本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2017/05/30



**麻雀放浪記<1> 青春篇(文春文庫)**

阿佐田 哲也 著  
文芸春秋  
戦後まもなくの上野ドヤ街を舞台に、坊や哲、ドサ健、上州虎、出目徳ら博打打ちが、人生を博打に賭けてイカサマの限りを尽くして闘う「阿佐田哲也麻雀小説」の最高傑作。

2007:10./ 369p  
978-4-16-732304-2  
本体 ¥670+税



朝日新聞 2017/05/30



**麻雀放浪記<2> 風雲篇(文春文庫)**

阿佐田 哲也 著

文芸春秋

イカサマ麻雀がばれた私こと坊や哲は関西へ逃げた。だが、そこには東京より過激な「ブウ麻雀」のプロ達が待っており、京都の坊主達と博打寺での死闘が繰り広げられた。

2007:10./ 367p

978-4-16-732305-9

本体 ¥710+税



朝日新聞 2017/05/30



**麻雀放浪記<3> 激闘篇(文春文庫)**

阿佐田 哲也 著

文芸春秋

右腕を痛めイカサマができなくなった私こと坊や哲は新聞社に勤めたが□。戦後の混乱期を乗り越えたイカサマ博打打ちたちの運命は。ピカレスクロマン第三弾!

2007:11./ 350p

978-4-16-732306-6

本体 ¥670+税



朝日新聞 2017/05/30



**麻雀放浪記<4> 番外篇(文春文庫)**

阿佐田 哲也 著

文芸春秋

黒手袋をはずすと親指以外すべてがツメられている博打打ち、李奥春との出会いと、ドサ健との再会を機に堅気の生活から足を洗った私……。麻雀小説の傑作、感動の最終巻!

2007:11./ 369p

978-4-16-732307-3

本体 ¥710+税



朝日新聞 2017/05/30



**ボクラ少国民(講談社文庫)**

山中恒 著

講談社

朝日新聞 2017/05/30

1989:8./ 446p

978-4-06-184511-4

本体 ¥602+税



**サラブレッドの誕生(朝日選書)**

山野浩一 著

朝日新聞出版

朝日新聞 2017/05/30

1990:7./ 199p

978-4-02-259506-5

本体 ¥1,100+税



**閉鎖病棟(新潮文庫)**

帚木 蓬生 著

新潮社

朝日新聞 2017/05/30

1997:5./ 361p

978-4-10-128807-9

本体 ¥670+税



**学園黙示録 HIGHSCHOOL OF THE DEAD~FULL COLOR EDITION~<1>**

角川グループパブリッシング

朝日新聞 2017/05/30

2011:2./ 1冊(ページ付なし)

978-4-04-926269-8

本体 ¥1,900+税





**騎手の一分～競馬界の真実～(講談社現代新書 2210)**

藤田 伸二 著

講談社

騎手として大切なこととは何か。上手い騎手は何が違うのか。「強い馬」とは何か。なぜ武豊は勝てなくなったのか。G1 制覇の騎手が明かす「競馬界の真実」。

朝日新聞 2017/05/30

2013:5./ 171p

978-4-06-288210-1

本体 ¥740+税



\* 9 7 8 4 0 6 2 8 8 2 1 0 1 \*



**おれがあいつであいつがおれで(子どもの文学・青い海シリーズ 23)**

山中 恒 著

童話館出版

斉藤一夫のクラスにやってきた転校生は、幼稚園時代の同級生・斉藤一美だった。恥ずかしい過去をばらす一美に腹を立てた一夫が地藏堂の前で一美に体当たりすると、なんと2人の体が入れ替わってしまっ...

朝日新聞 2017/05/30

2013:7./ 228p

978-4-88750-141-6

本体 ¥1,500+税



\* 9 7 8 4 8 8 7 5 0 1 4 1 6 \*



**極道記者(文芸社文庫 し3-1)**

塩崎 利雄 著

文芸社

スポーツ新聞の競馬担当記者、松崎。新聞記者とは言いながら、実際は、ホンビキ、麻雀、チンチロリンと身を焦がす勝負にささくられては3人の女の間を泊まり歩く博奕三昧の日々で...

朝日新聞 2017/05/30

2016:4./ 461p

978-4-286-17507-2

本体 ¥920+税



\* 9 7 8 4 2 8 6 1 7 5 0 7 2 \*



**吾輩は猫である(宝島社文庫 Cな-13-1)**

夏目 漱石 著

宝島社

夏目漱石の処女作。英語教師の苦沙弥先生と、その家に入りする美学者や教え子、書生といった人間たちをじっと見ている「吾輩」の痛烈な言葉の数々。猫から見た人間の、かくも不思議で滑稽な姿を描く。

朝日新聞 2017/05/30

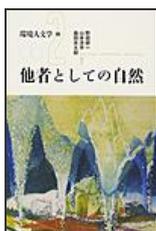
2016:6./ 558p

978-4-8002-5679-9

本体 ¥660+税



\* 9 7 8 4 8 0 0 2 5 6 7 9 9 \*



**環境人文学<2> 他者としての自然**

野田 研一、山本 洋平、森田 系太郎 著

勉誠出版

動物、森、死者、サイボーグ...。「他者」をどのように捉え、描くのか。文学から歴史学、人類学、教育学、言語学を横断し、環境人文学における「他者」をめぐる最新の議論と、今後考えるべき問題を提示する。

朝日新聞 2017/05/30

2017:4./ 10p,341p

978-4-585-29129-9

本体 ¥3,000+税



\* 9 7 8 4 5 8 5 2 9 1 2 9 9 \*



**環境人文学<1> 文化のなかの自然**

野田 研一、山本 洋平、森田 系太郎 著

勉誠出版

文学、哲学、音楽など、多分野の学問を横断し、これからの人文学が「環境」をどのように考えていくことができるのかを探る。石牟礼道子、大城立裕など日本を代表するネイチャーライターのインタビュー、鼎談、講演録も所収。

朝日新聞 2017/05/30

2016:9./ 10p,371p

978-4-585-29128-2

本体 ¥3,000+税



\* 9 7 8 4 5 8 5 2 9 1 2 8 2 \*



**ご本、出しときますね?~文筆系トークバラエティ~**

若林 正恭 編  
ポプラ社

西加奈子、朝井リョウ、長嶋有...。小説家は普段何を考え、どうやって作品を生み出しているのか。無類の本好き芸人・オードリー若林正恭と作家たちが“自分のルール”を語りつくす。BS ジャパンの同名番組を書籍化。

2017:4./ 344p  
978-4-591-15276-8

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/05/30



**植民地の腹話術師たち~朝鮮の近代小説を読む~**

金 哲 著  
平凡社

日本の植民地時代に日本語とハングルと格闘して書いた文学者—腹話術師たちに光を当てる、ユニークな試み!

2017:3./ 213p

978-4-582-83754-4

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2017/05/30



**イノセント・デイズ(新潮文庫 は-68-1)**

早見 和真 著  
新潮社

放火によって奪われたのは、元恋人の妻とまだ 1 歳の双子の命。確定死刑囚・田中幸乃の人生に関わった人々の追想から浮かび上がるあまりにも哀しい真実。幼なじみの弁護士たちが再審を求めて奔走するが...

2017:3./ 467p

978-4-10-120691-2

本体 ¥710+税



朝日新聞 2017/05/30



**鳥の会議(河出文庫 や 36-1)**

山下 澄人 著  
河出書房新社

ぼくの左目はまさしにどつかれて腫れていた。親友の神永たちは仕返しに向かったのだが.....新芥川賞作家が描く最高の青春小説!

2017:3./ 200p

978-4-309-41522-2

本体 ¥640+税



朝日新聞 2017/05/30



**砂漠ダンス(河出文庫 や 36-2)**

山下 澄人 著  
河出書房新社

北国に住むわたしは、ある日、アメリカの小さな街へ砂漠を見に向かったのだが.....新芥川賞作家の飛躍作!

2017:3./ 191p

978-4-309-41523-9

本体 ¥640+税



朝日新聞 2017/05/30



**リアルゆくえ~高橋由一、岸田劉生、そして現代につなぐもの~**

土方 明司、江尻 潔、木本 文平 著  
生活の友社

近年ブームの写実絵画。高橋由一、岸田劉生から現代作家まで、作品と言葉で日本の写実絵画の流れを追う。

2017:4./ 317p

978-4-908429-11-8

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2017/05/30



**昭和解体～国鉄分割・民営化 30 年目の真実～**

牧 久 著

講談社

国鉄解体は「昭和」の解体をも意味していた。国鉄が崩壊、消滅に向けて突き進んだ 20 年余りの歴史を、重大証言と発掘資料で再検証し、「借金 1000 兆円をかかえた国家の未来」を予言する。

2017:3./ 517p

978-4-06-220524-5

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2017/05/30



**なぜ日本企業は勝てなくなったのか～個を活かす「分化」の組織論～(新潮選書)**

太田 肇 著

新潮社

さらば、集団主義! 企業を再生させる新しい働き方とは? 必要なのは、まず組織から集団や個人を「引き離すこと」。働き方をドラスティックに変え、個の力を充分に活かすための新しい提案。

2017:3./ 219p

978-4-10-603798-6

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2017/05/30



**あこのころ、早稲田で**

中野 翠 著

文藝春秋

早大闘争、吉本隆明、『ガロ』、GS、喫茶店、ゴダール、アングラ演劇…。バリケードとデモ、アジ演説がキャンパスを占拠した、あこのころ。思想とサブカルチャーの狭間で揺れ動いた 60 年代後半を描いた回想記。

2017:4./ 207p

978-4-16-390630-0

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2017/05/30



**ネガティブ・ケイパビリティ～答えの出ない事態に耐える力～(朝日選書 958)**

帯木 蓬生 著

朝日新聞出版

ネガティブ・ケイパビリティとは、どうにも答えの出ない、どうにも対処しようのない事態に耐える能力のこと。小説家であり、臨床 40 年の精神科医である帯木蓬生が、この「負の力」を多角的に分析する。

2017:4./ 254p

978-4-02-263058-2

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2017/05/30



**帝国宇宙軍<1> 領宙侵犯(ハヤカワ文庫 JA 1273)**

佐藤 大輔 著

早川書房

高次元間隙により別星系へ迷い込んだ人類が、否応なく銀河帝国を構築してから 726 年、ある英雄的行動が周辺各国との戦端を開く! 架空戦史の雄による新シリーズ、初巻にして最終巻。

2017:4./ 236p

978-4-15-031273-2

本体 ¥620+税



朝日新聞 2017/05/30



**紙の動物園(ハヤカワ文庫 SF 2121)**

古沢 嘉通 編

ケン・リュウ 著

早川書房

第一短篇集である単行本『紙の動物園』から、母と息子の絆を描いて史上初の SF 賞 3 冠に輝いた表題作など、7 篇を収録した短篇集

2017:4./ 263p

978-4-15-012121-1

本体 ¥680+税



朝日新聞 2017/05/30



**エルフと戦車と僕の毎日<上> 我が祖国の名は(カドカワ BOOKS M-さ-1-2-1)**

佐藤 大輔 著  
KADOKAWA

突然異世界に放り込まれ、エルフ軍の指揮を執ることになったミリオタ高校生ユタカ。軍備もろくにないまま帝国軍との戦争に突入するが、ユタカ達は辛くも勝利する。だが彼は、自分の元を離れたナイラのピンチを知らず...

2017:5./ 231p  
978-4-04-072255-9

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/05/30



**エルフと戦車と僕の毎日<下> 我が祖国の名は(カドカワ BOOKS M-さ-1-2-2)**

佐藤 大輔 著  
KADOKAWA

敵軍が捨てていった武器や弾薬で補給作業を指示し次の戦闘に備えるユタカ。だが、要の戦車も未だ砲台がつかない状況。そんな不安要素を抱えるユタカのもとへ、エルフ軍がエスカナ正規軍と戦闘に入ったとの知らせが届き...

2017:5./ 226p  
978-4-04-072254-2

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2017/05/30



**宇宙軍陸戦隊～地球連邦の興亡～(中公文庫 さ60-14)**

佐藤 大輔 著  
中央公論新社

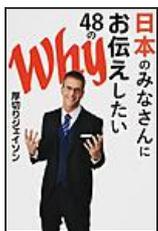
救難任務を負った地球連邦宇宙軍陸戦隊が植民惑星に降り立つと、そこには想像を絶する“人類”の姿が。後の連邦首相・国場大尉の血塗られた歴史とは!?「救難任務/泥森の罠」を長篇化した表題作に、「攻撃目標 G」を併録。

2017:5./ 245p  
978-4-12-206406-5

本体 ¥600+税



朝日新聞 2017/05/30



**日本のみなさんにお伝えしたい 48 の Why**

厚切りジェイソン 著  
ぴあ

仕事ができる人に必要な力とは?どうすれば勉強に集中できる?世界平和には何が大事?努力は必ず報われる?芸人×IT 企業役員の厚切りジェイソンが、SNS に寄せられた質問に解説付きで回答する。

2015:11./ 191p  
978-4-8356-2850-9

本体 ¥1,200+税



東京・中日新聞 2017/05/07



**挑発する写真史**

金村 修、タカザワ ケンジ 著  
平凡社

写真や写真家の歴史とその意義、そして現代写真のこれからについて、最前線で活躍する写真家と批評家が余すところなく語り尽くす。

2017:2./ 365p  
978-4-582-23127-4

本体 ¥2,300+税



東京・中日新聞 2017/05/07



**寺山修司論～バロックの大世界劇場～**

守安 敏久 著  
国書刊行会

寺山修司によるラジオ・テレビ・映画・演劇に、誇張・過剰・不規則の「バロック常数」を見出しながら、作品創造の秘儀を解説した寺山修司研究の集大成。著者自身による寺山修司インタビューも収録する。

2017:3./ 563p,14p  
978-4-336-06135-5

本体 ¥5,400+税



東京・中日新聞 2017/05/07



### 日本犬の誕生～純血と選別の日本近代史～

志村 真幸 著  
勉誠出版

近代化、国民国家形成、動物保護、戦争…。博物学者・南方熊楠と「日本犬保存会」を設立した平岩米吉との対話を起点に、時代に翻弄され、淵源と純血を求められ続けた犬たちをめぐる言説を辿り、日本近代史の裏側を照らし出す。

東京・中日新聞 2017/05/07

2017:3./ 5p,230p,7p  
978-4-585-22172-2

本体 ¥2,400+税



### 人はこうして「食べる」を学ぶ

ビー・ウィルソン 著  
原書房

「好き」「おいしい」を子供はいかに判断するのか?困った食習慣は変えられない?味覚の最新研究を平易に紹介しつつ、3人の子を育てた母としてわかった「食べる技術」「食べさせる知恵」の数々。日本食にも1章を割く。

東京・中日新聞 2017/05/07、朝日新聞 2017/05/07、日本経済新聞 2017/05/20

2017:3./ 419p

978-4-562-05383-4

本体 ¥2,800+税



### 作家的覚書(岩波新書 新赤版 1656)

高村 薫 著  
岩波書店

今というこの時代、日本というこの国に生きることへの本能的な危機意識が、生来の観察者を発言者に変える。一生活者の視点から、ものを言い、日々の雑感を綴った時評集。『図書』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2017/05/07、毎日新聞 2017/05/21

2017:4./ 4p,214p

978-4-00-431656-5

本体 ¥780+税



### 「働く青年」と教養の戦後史～「人生雑誌」と読者のゆくえ～(筑摩選書 0141)

福岡 良明 著  
筑摩書房

経済的な理由で進学を断念し仕事に就いた若者たち。知的世界への憧れと反発。そんな彼らを支えた「人生雑誌」。その盛衰を描き出す!

東京・中日新聞 2017/05/14

2017:2./ 347p

978-4-480-01648-5

本体 ¥1,800+税



### スウィングしなけりや意味がない

佐藤 亜紀 著  
KADOKAWA

1939年ナチス政権下のドイツ、ハンブルク。15歳のエディと仲間たちが熱狂しているのは頹廢音楽と呼ばれる”スウィング”だ。だが音楽と恋に彩られた彼らの青春にも、徐々に戦争が色濃く影を落としはじめる。

東京・中日新聞 2017/05/14

2017:3./ 337p

978-4-04-105076-7

本体 ¥1,800+税



### ポピュリズム～世界を覆い尽くす「魔物」の正体～(新潮新書 709)

薬師院 仁志 著  
新潮社

これは「民主主義の自爆」である。エリートとインテリを敵視する「思想」が、なぜ世界を席卷するに至ったのか。橋下徹氏と対決した経験も持つ社会学者が、起源にまでさかのぼって本質をえぐり出す。

東京・中日新聞 2017/05/14

2017:3./ 235p

978-4-10-610709-2

本体 ¥780+税





**徹底検証日本の右傾化(筑摩選書 0142)**

塚田 穂高 著

筑摩書房

日本会議、ヘイトスピーチ、改憲潮流……。現代日本の「右傾化」を、ジャーナリストから研究者まで第一級の著者が多角的に検証!

東京・中日新聞 2017/05/21

2017:3./ 387p,9p

978-4-480-01649-2

本体 ¥1,800+税



\* 9 7 8 4 4 8 0 0 1 6 4 9 2 \*



**美酒と黄昏**

小玉 武 著

幻戯書房

四季折々、酒場で出会った作家・文人について、思いを馳せた作品について、綴った28の断章。サントリーPR誌連載を中心とした随筆。

東京・中日新聞 2017/05/21

2017:3./ 229p

978-4-86488-117-3

本体 ¥2,200+税



\* 9 7 8 4 8 6 4 8 8 1 1 7 3 \*



**子どもたちの階級闘争〜ブローケン・ブリテンの無料託児所から〜**

ブレイディみかこ 著

みすず書房

地べたのポリティクスとは生きることであり、暮らすことだ。在英20年余の保育士ライターが、移民問題をはじめ、英国とEU圏が抱える重層的な課題を背景に、保育の現場から格差と分断の情景をミクロスコピックに描き出す。

東京・中日新聞 2017/05/21

2017:4./ 285p

978-4-622-08603-1

本体 ¥2,400+税



\* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 6 0 3 1 \*



**グローバル資本主義と<放逐>の論理〜不可視化されゆく人々と空間〜**

サスキア・サッセン、伊藤 茂 著

明石書店

進行する不平等、難民、環境破壊の世界的な規模拡大は、もはや既存の尺度ではとらえきれない。グローバリゼーション研究の第一人者が、新たな段階に入った高度資本主義の支配的論理を実証的・概念的に可視化する。

東京・中日新聞 2017/05/21

2017:4./ 333p

978-4-7503-4502-4

本体 ¥3,800+税



\* 9 7 8 4 7 5 0 3 4 5 0 2 4 \*



**服従(河出文庫 ウ6-3)**

ミシェル・ウエルベック 著

河出書房新社

2022年仏大統領選で同時多発テロ。極右マリーヌ・ルペンと穏健イスラーム党首が決選に。世界の激動を予言した書。解説=佐藤優

東京・中日新聞 2017/05/21、朝日新聞 2017/05/21

2017:4./ 324p

978-4-309-46440-4

本体 ¥920+税



\* 9 7 8 4 3 0 9 4 6 4 4 0 4 \*



**氏神さまと鎮守さま〜神社の民俗史〜(講談社選書メチエ 645)**

新谷 尚紀 著

講談社

神社も「日本」もなかった時代から現代まで、受け継がれてきた日本人の神観念。村や町の一面に祭られる氏神や鎮守をとおして、くらしとともにあった神々や祭礼を精緻に追い、神と神社の変容のさまを描き出す。

東京・中日新聞 2017/05/28

2017:3./ 261p

978-4-06-258648-1

本体 ¥1,650+税



\* 9 7 8 4 0 6 2 5 8 6 4 8 1 \*



### うき世と浮世絵

内藤 正人 著  
東京大学出版会

「うき世の絵」とは、何を示す語であったのか。「うき世」の語の意味、絵師たちの意識など、素通りされてきた問いから、現代のサブカルチャーにも通じるジャンルの生命力の核に迫る。

東京・中日新聞 2017/05/28

2017:4./ 5p,206p,4p

978-4-13-083071-3

本体 ¥3,200+税



\* 9 7 8 4 1 3 0 8 3 0 7 1 3 \*



### 現代子ども文化考〜「子ども」に寄り添って〜

山中 恒 著  
勁草書房

大戦中に少年期を迎え、戦中戦後の価値観の変転を目の当りにした著者が、その体験と酷似する現況下で改めて「子ども文化」を解説する。

東京・中日新聞 2017/05/28、朝日新聞 2017/05/30

2017:3./ 249p

978-4-326-95053-9

本体 ¥2,200+税



\* 9 7 8 4 3 2 6 9 5 0 5 3 9 \*



### 逝きし世の面影(平凡社ライブラリー)

渡辺 京二 著  
平凡社

昭和を問うなら開国を問え。そのためには開国以前の文明を問え……。幕末から明治に日本を訪れた、異邦人による訪日記を読破。日本近代が失ったものの意味を根本から問い直した超大作。

読売新聞 2017/05/07

2005:9./ 604p

978-4-582-76552-6

本体 ¥1,900+税



\* 9 7 8 4 5 8 2 7 6 5 5 2 6 \*



### 水戸黄門漫遊記(よみがえる講談の世界)

三代目旭堂小南陵、島田 大助 著  
国書刊行会

ご存じ、助さん、角さんをお供に連れ、黄門さまの世直し旅。テレビシリーズとは違った、水戸黄門漫遊記の決定版。講談の歴史、作品解説も収録。3 代目旭堂小南陵による、完全新録音の CD つき。

読売新聞 2017/05/07

2006:4./ 220p

978-4-336-04763-2

本体 ¥2,400+税



\* 9 7 8 4 3 3 6 0 4 7 6 3 2 \*



### 九月の空(角川文庫)

高橋 三千綱 著  
角川書店

読売新聞 2017/05/07

1990:1./ 271p

978-4-04-145802-0

本体 ¥460+税



\* 9 7 8 4 0 4 1 4 5 8 0 2 0 \*



### 発想法〜創造性開発のために〜(中公新書)

川喜田 二郎 著  
中央公論新社

ここで語られる「発想法」つまりアイデアを創り出す方法は、発想法一般ではなく、著者が長年野外研究をつづけた体験から編みだした独創的なものである。

読売新聞 2017/05/07

2000:7./ 220p

978-4-12-100136-8

本体 ¥660+税



\* 9 7 8 4 1 2 1 0 0 1 3 6 8 \*

**黒い家(角川ホラー文庫)**

貴志 祐介 著  
角川書店

顧客の家に呼ばれ、子供の首吊り死体の発見者になってしまった保険会社社員・若槻は、顧客の不審な態度から独自の調査を始める。それが悪夢の始まりだった。第4回日本ホラー小説大賞受賞。

1998:12./ 392p  
978-4-04-197902-0  
本体 ¥680+税



読売新聞 2017/05/07

**新世界より<上>(講談社文庫)**

貴志祐介 著  
講談社

ここは病的に美しい日本(ユートピア)。手を触れず、意のままにものを動かせる夢のような力。その力があまりにも強力だったため、人間はある枷を嵌められた。社会を統べる装置として。

2011:1./ 482p  
978-4-06-276853-5  
本体 ¥730+税



読売新聞 2017/05/07

**新世界より<中>(講談社文庫)**

貴志祐介 著  
講談社

外界で繁栄するグロテスクな生物の正体と、空恐ろしい伝説の真意が明らかにされる時、「神の力」が孕(はら)む底なしの暗黒が暴れ狂いだそうとしていた。

2011:1./ 442p  
978-4-06-276854-2  
本体 ¥700+税



読売新聞 2017/05/07

**新世界より<下>(講談社文庫)**

貴志祐介 著  
講談社

夏祭りの夜に起きた大殺戮。悲鳴と嗚咽に包まれた町を後にして、選ばれし者は目的の地へと急ぐ。それが何よりも残酷であろうとも、真実に近付くために。構想30年、想像力の限りを尽くして描かれた五感と魂を揺さぶる記念碑的傑作!

2011:1./ 551p  
978-4-06-276855-9  
本体 ¥800+税



読売新聞 2017/05/07

**谷干城~憂国の明治人~(中公新書 2103)**

小林 和幸 著  
中央公論新社

日本初の内閣で入閣するも、西欧見聞後、藩閥政府を批判して下野。以後、貴族院を舞台に日清・日露戦争で非戦論を貫くなど、国家存立のため国民重視を訴え続けた谷干城。天皇と国民を深く愛した一明治人の生涯を紹介する。

2011:3./ 4p,242p  
978-4-12-102103-8  
本体 ¥800+税



読売新聞 2017/05/07

**坊っちゃん(小学館文庫 な14-2)**

夏目 漱石 著  
小学館

曲がったことが大嫌いな坊っちゃんは、幼いころから喧嘩やいたずらを繰り返し、家族にずっととまれてきた。心配してくれるのは下女の清だけだ。坊っちゃんは物理学校を卒業し、四国の中学に数学教師の職を得るが...

2013:1./ 218p  
978-4-09-408787-1  
本体 ¥438+税



読売新聞 2017/05/07



**貴族探偵(集英社文庫 ま 20-2)**

麻耶 雄嵩 著

集英社

密室状態の部屋で会社社長の遺体が発見された。自称「貴族」、趣味「探偵」の謎の青年が、生真面目な執事、可愛いメイド、巨漢の運転手らとコネを駆使して、難事件を解決する。知的スリルにみちたディテクティブ・ミステリ。

2013:10./ 369p

978-4-08-745126-9

本体 ¥660+税



読売新聞 2017/05/07



**現代ニッポン詩日記**

四元 康祐 著

霽標

ドイツから見た日本の今を映し出す詩的ドキュメンタリー。朝日新聞デジタルに短期集中連載した「声の曲馬団」、山陽新聞に長期連載した「現代ニッポン詩(うた)日記」を中心とする四元時事詩の集大成。未発表作品も多数掲載。

2015:7./ 122p

978-4-86078-305-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/05/07



**自然がつくる不思議なパターン~なぜ銀河系とカタツムリは同じかたちなのか~ (NATIONAL GEOGRAPHIC)**

フィリップ・ボール、桃井 緑美子 著

日経ナショナルジオグラフィック社

ハチの巣の六角形、貝殻のらせん形、葉脈の枝分かれ...。生物にも無生物にも、微小世界にも大宇宙にも共通する、特徴的な形やパターン。美しい大判写真とともに、自然界の秩序を数学と科学で掘り下げる。

2016:10./ 288p

978-4-86313-359-4

本体 ¥4,800+税



読売新聞 2017/05/07



**世界一美しい数学塗り絵~宇宙の紋様~**

Alex Bellos, Edmund Harriss, 秋山 仁 著

化学同人

本書は数学の美の世界を冒険したいという人たちのためのガイドブックであると同時に、色を塗るという作業に没頭することによって洞察力と想像力が培われるようにつくられた塗り絵コレクションです。

2016:11./ 6p,150p

978-4-7598-1922-9

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/05/07



**世界の美しい地下鉄マップ~166都市の路線図を愉しむ~**

マーク・オープンデン、鈴木 和博 著

日経ナショナルジオグラフィック社

現地の香りたどよう路線図を、世界中から集めた地下鉄マップ。歴史的路線図や鉄道網の発展、地域ごとの特色、デザインの進化など、多様な視点で路線図に迫る。巻末に660都市・地域の路線データ付き。

2016:10./ 176p

978-4-86313-360-0

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2017/05/07



**ひなた弁当(小学館文庫 や 2-14)**

山本 甲士 著

小学館

27年間勤めた会社をリストラされ、妻や娘からも愛想をつかされた芦溝良郎 49歳。自信も誇りも居場所もない彼は絶望の毎日を通すが、ある日、拾ったドンブリを食べてみようと思いつき立ち...。男に明日はあるのか?

2017:2./ 317p

978-4-09-406331-8

本体 ¥620+税



読売新聞 2017/05/07



**「国民主義」の時代～明治日本を支えた人々～(角川選書 581)**

小林 和幸 著

KADOKAWA

明治時代、国民の困難を見ず専制的な政治にかたよる藩閥政府に対峙し、民権派や政党の利己的な行動を非難する政治勢力があった。彼らの変遷を辿り、あまり語られることがなかった近代国家形成期における日本の多様な姿を示す。

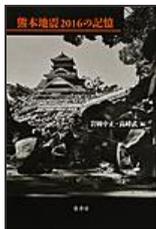
2017:2./ 263p

978-4-04-703573-7

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/05/07



**熊本地震 2016 の記憶**

岩岡 中正、高峰 武 編

弦書房

熊本地震とは何だったのか。地震の衝撃から復興へ、その間私たちはどんな気持ちで何を思い考え、どう行動してきたか。熊本地震をふり返り、あらためて地震からのさまざまな衝撃と被害を記録する。

2017:3./ 167p

978-4-86329-149-2

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/05/07



**さすらいの皇帝ペンギン**

高橋 三千綱 著

集英社

番組のレポーターとして南極に向かった作家椿三十郎は、経由地で少女から皇帝ペンギンの雛を南極に帰してほしいという依頼を受ける。悪戦苦闘の旅の果てに。軽妙な筆致で命の尊厳を描いた感動作。

2017:3./ 225p

978-4-08-771107-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/05/07



**自己責任社会の歩き方～生きるに値する世界のために～**

雨宮 処凛 著

七つ森書館

弱いもの、貧困者、障害者が徹底的に踏みにじられ、すべて「自己責任」で片付けられてしまう社会。相模原事件、電通過労死事件、秋葉原事件犯人の弟の自殺などを通して現代の病巣を描く。『マガジン9』連載を書籍化。

2017:3./ 223p

978-4-8228-1771-8

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/05/07



**京都のおねだん(講談社現代新書 2419)**

大野 裕之 著

講談社

「抹茶パフェ」のおねだん 1080 円、お地藏さんのお貸出のおねだん 3000 円から、花街で遊ぶと...? 京都の「おねだん」設定から、京都人の思考や人生観を解説する。

2017:3./ 222p

978-4-06-288419-8

本体 ¥800+税



読売新聞 2017/05/07



**超一極集中社会アメリカの暴走**

小林 由美 著

新潮社

0.1%の超富裕層が全ての富を収奪する! シリコンバレーで暮らす著者が、身近な変化や社会が受けている影響、すでに起きつつある問題やその原因などを伝え、トランプ政権を生んだアメリカの現状と絶望的未来を読み解く。

2017:3./ 239p

978-4-10-350871-7

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/05/07



**織田信長の家臣団～派閥と人間関係～(中公新書 2421)**

和田 裕弘 著  
中央公論新社

一万を超す大軍勢を任された柴田勝家・羽柴秀吉・明智光秀ら軍団長と、配下の武将たちの人間関係を、地縁・血縁などから詳細に検証。織田信長の家臣団の「派閥」の構造に迫り、各軍団の特性を明らかにする。

2017:2./ 4p,318p  
978-4-12-102421-3  
本体 ¥900+税



読売新聞 2017/05/07



**日本のレトロびん～明治初期から平成までのレアコレクション～**

平成ボトル倶楽部 著  
グラフィック社

昔の国産びんならではの、職人芸と稚拙な成形技術が産んだレトロびんの魅力を紹介。飲料、薬品、化粧品、文房具などに使われた、日本のびんの歴史がわかる332点をオールカラーで収録する。

2017:3./ 143p  
978-4-7661-3003-4  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/05/07



**紳士と獵犬(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 448-1)**

M.J.カーター 著  
早川書房

インドで消息を絶った英国の詩人を探すため、軍人エイヴリーは謎の「探偵」とともに盗賊の跋扈する奥地と向かう。MWA 長篇賞候補

2017:3./ 559p  
978-4-15-182601-6  
本体 ¥1,200+税



読売新聞 2017/05/07



**午前三時のサヨナラゲーム**

深水 黎一郎 著  
ポプラ社

野球が残酷なんじゃない。もし残酷に見えるとしたら、それは人生が残酷なんだ。「野球ファン」を切り口に描かれた、たくらみと技巧と愛に満ちた“連作球情小説”。『asta\*』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2017:4./ 227p  
978-4-591-15455-7  
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/05/07



**マーヤの自分改造計画～1950年代のマニュアルで人気者になれる?～**

マーヤ・ヴァン・ワーグネン、代田 亜香子 著  
紀伊國屋書店出版部

スクールカーストで最下層にいる中学生のマーヤは、ある日出合った60年以上前的人气者になるための指南書をきっかけに、実験をはじめることにした。現代のティーンが、自分磨きに奮闘した1年を綴ったノンフィクション。

2017:3./ 317p  
978-4-314-01146-4  
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2017/05/07



**ねんてん先生の文学のある日々**

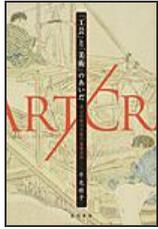
坪内 稔典 著  
新日本出版社

ねんてん流文学の読み方、楽しみ方を綴った文学エッセー。夏目漱石から又吉直樹まで、暮らしを彩り、人生を励ます文学作品の数々を笑いとユーモアを交えて紹介する。『しんぶん赤旗』連載を単行本化。

2017:4./ 174p  
978-4-406-06137-7  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/05/07



### 「工芸」と「美術」のあいだ～明治中期の京都の産業美術～

平光 睦子 著  
晃洋書房

明治中期の京都の産業美術において「工芸」という分野と「美術」という分野のあいだにあった諸問題を再検討し、当時成立しつつあった「美術工芸」という分野において、その外延をかたちづかったものを明らかにする。

2017:3./ 5p,208p  
978-4-7710-2856-2  
本体 ¥3,300+税



読売新聞 2017/05/07



### 単調にぼたぼたと、がさつで粗暴に

四元 康祐 著  
思潮社

失われた日々は思い出すたびに刹那の輝きを増す 取り返しのつかぬ出来事だけが美しい 断続的な変化は痛すぎる(「ミス・桜」より) 詩集。「小説」も同時刊行。

2017:5./ 155p  
978-4-7837-3565-6  
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2017/05/07



### 小説

四元 康祐 著  
思潮社

詩人さん、お馬鹿さん 一瞬のあとは 永遠だって思いこんでる 本当はその中間こそ肝腎なのに そこでしかあたしたち生きられないのに(「蟻の歌」より) 詩集。「単調にぼたぼたと、がさつで粗暴に」も同時刊行。

2017:5./ 157p  
978-4-7837-3566-3  
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2017/05/07



### 中動態の世界～意志と責任の考古学～(シリーズケアをひらく)

國分 功一郎 著  
医学書院

中動態とは何か。若き哲学者がバンヴェニスト、アレントに学び、デリダ、ハイデッガー、ドゥルーズを訪ね直し、アガンベンに教えられ、そして新たなスピノザと出会うことで中動態の世界に迫る。『精神看護』連載を書籍化。

2017:3./ 335p  
978-4-260-03157-8  
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2017/05/07、朝日新聞 2017/05/21、毎日新聞 2017/05/28



### 学校へ行けなかった私が「あの花」「ここさけ」を書くまで

岡田 麿里 著  
文藝春秋

人気アニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」「心が叫びたがってるんだ。」の脚本家は、小学校高学年から高校時代まで、学校に行けなかった。母親との長い時間から外の世界へ出ていくまで、自身の半生を綴る。

2017:4./ 253p  
978-4-16-390632-4  
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/05/07、日本経済新聞 2017/05/07



### 極悪鳥になる夢を見る(文春文庫 き35-3)

貴志 祐介 著  
文藝春秋

スッポンに詫びつつ鍋を調理し、読む者を不安にする早口言葉をひねり出し、阪神タイガースには常に無償の愛を注ぐ…。知性派作家の機知と刺激溢れるエッセイ集。講演「文学におけるヒューマニズムと悪について」も収録。

2017:4./ 261p  
978-4-16-790840-9  
本体 ¥670+税



読売新聞 2017/05/07、日本経済新聞 2017/05/20



**詭弁論理学 改版(中公新書 448)**

野崎 昭弘 著  
中央公論新社

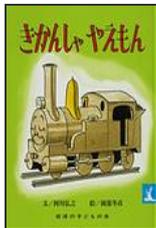
人食いワニのパラドックス、死刑囚のパラドックス…。論理パズルの名品を題材に、論理のあそびをじっくり味わおう。ギリシャの哲人からルイス・キャロルまでが登場する、愉快的論理学の本。「鏡と左右」問題も収録。

2017:4./ 2p,225p  
978-4-12-180448-8

本体 ¥720+税



読売新聞 2017/05/07、毎日新聞 2017/05/21



**きかんしゃやえもん 改版(岩波の子どもの本)**

阿川 弘之 著  
岩波書店

長いあいだ働いて年をとってしまった機関車のやえもん。くず鉄にされる運命が待っていたのですが、ある日、交通博物館の人がゆずってほしいと申しこんできました。のりものずきの子に最適な絵本。

2001:9./ 46p

978-4-00-115122-0

本体 ¥640+税



読売新聞 2017/05/14



**神曲<地獄篇>(河出文庫)**

ダンテ 著  
河出書房新社

1300年春、人生の道の半ば、35歳のダンテは古代ローマの大詩人ウェルギリウスの導きを受けて、地獄・煉獄・天国をめぐる旅に出る……。絢爛たるイメージに満ちた、世界文学の最高傑作を最高の名訳で贈る。第1部地獄篇。

2008:11./ 509p

978-4-309-46311-7

本体 ¥950+税



読売新聞 2017/05/14



**神曲<煉獄篇>(河出文庫)**

ダンテ 著  
河出書房新社

地獄を抜けたダンテとウェルギリウスは地上楽園を目指し、煉獄山を登る。ベアトリーチェとの再会も近い。清新な名訳の『神曲』第2部。

2009:1./ 509p

978-4-309-46314-8

本体 ¥950+税



読売新聞 2017/05/14



**神曲<天国篇>(河出文庫)**

ダンテ 著  
河出書房新社

ダンテはベアトリーチェと共に天に上る。光明を放つ魂たちに出会いながら天国を上昇し、至高天でダンテは神を見る。第3部天国篇。巻末に「詩篇」収録。ドレ挿画・口絵付『神曲』全3巻完結。

2009:4./ 525p

978-4-309-46317-9

本体 ¥950+税



読売新聞 2017/05/14



**堀文子の言葉 ひとりで生きる(生きる言葉シリーズ)**

堀 文子 著  
求竜堂

自由であるために、真剣に孤独と向き合う姿、凛々しくも洒脱味溢れる言葉が、私たちの心の奥に眠っている勇気の種に火をつける。自然の命を描き続ける日本画家・堀文子の言葉を紹介する。

2010:2./ 197p

978-4-7630-1009-4

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2017/05/14



**プリンシピア～自然哲学の数学的原理～**

サー・アイザック・ニュートン 著  
講談社  
読売新聞 2017/05/14

1977:9./ 898p  
978-4-06-122139-0  
本体 ¥6,796+税  
  
\* 9 7 8 4 0 6 1 2 2 1 3 9 0 \*



**光学(岩波文庫 青 904-1)**

ニュートン 著  
岩波書店  
ニュートンは光学の研究に前人未踏の分野をきりひらいた。本書はその集大成であり、太陽の白色光が屈折率を異にする色光の複合から成ることを発見した実験をはじめ光の干渉・回折などを臨場感いっぱい記述する。

1983:11./ 406p  
978-4-00-339041-2  
本体 ¥960+税  
  
\* 9 7 8 4 0 0 3 3 9 0 4 1 2 \*

読売新聞 2017/05/14



**伝奇集(岩波文庫 赤 792-1)**

ホルヘ・ルイス・ボルヘス、鼓直 著  
岩波書店  
われわれ人間の生とは、他者の夢見ている幻に過ぎないのではないかと疑う「円環の廃墟」、宇宙の隠喩である図書館の物語「バベルの図書館」など、東西古今の神話や哲学を題材として精緻に織りなされた魅惑の短篇集。

1993:11./ 282p  
978-4-00-327921-2  
本体 ¥780+税  
  
\* 9 7 8 4 0 0 3 2 7 9 2 1 2 \*

読売新聞 2017/05/14



**天野貞祐全集 全9冊 復刻**

天野貞祐 著  
日本図書センター  
読売新聞 2017/05/14

1999:10./ 9冊  
978-4-8205-2474-8  
本体 ¥126,000+税  
  
\* 9 7 8 4 8 2 0 5 2 4 7 4 8 \*



**昆虫食入門(平凡社新書 635)**

内山 昭一 著  
平凡社  
人類にとって究極の伝統食材、それは昆虫。世界の昆虫食の現状を紹介するほか、嫌いな人の心理や食料としての可能性、食育など、昆虫食のあらゆることを深く楽しく追究する。

2012:4./ 254p  
978-4-582-85635-4  
本体 ¥840+税  
  
\* 9 7 8 4 5 8 2 8 5 6 3 5 4 \*

読売新聞 2017/05/14



**川瀬敏郎一日一花**

川瀬 敏郎 著  
新潮社  
3月11日。希望を抱いて生きていってほしい。当代随一の花人による、1年366日分の花と言葉を収録。山野草425種の索引・解説付き。新潮社とんぼの本ホームページ連載を加筆修正・再構成して書籍化。

2012:12./ 397p  
978-4-10-452802-8  
本体 ¥3,500+税  
  
\* 9 7 8 4 1 0 4 5 2 8 0 2 8 \*

読売新聞 2017/05/14



**犬の伊勢参り(平凡社新書 675)**

仁科 邦男 著  
平凡社

江戸後期、およそ 100 年間に伊勢参りする犬がしばしば現れた。本当にあった人と犬の不思議な話。

読売新聞 2017/05/14

2013:3./ 255p  
978-4-582-85675-0  
本体 ¥800+税



**失われた名前～サルとともに生きた少女の真実の物語～**

マリーナ・チャップマン、宝木 多万紀 著  
駒草出版

コロンビアのジャングルにひとり置き去りにされた 5 歳の少女。人間のエゴによって社会に引き戻されるが、そこで待っていたのは純然たる人間として生きられる環境ではなかった…。彼女がたどった数奇な運命を綴る。

読売新聞 2017/05/14

2013:12./ 311p  
978-4-905447-22-1  
本体 ¥1,800+税



**純粋理性批判<上>**

イマヌエル・カント、石川 文康 著  
筑摩書房

哲学史に聳える最高峰、カント「純粋理性批判」の全面新訳。国際派カント研究の第一人者が、主要な基本用語をラテン語の原義にたちかえり、現代にふさわしい平明な訳語にあらためる。上は、超越論的分析論などを収録。

読売新聞 2017/05/14

2014:3./ 20p,373p  
978-4-480-84741-6  
本体 ¥3,600+税



**純粋理性批判<下>**

イマヌエル・カント、石川 文康 著  
筑摩書房

哲学史に聳える最高峰、カント「純粋理性批判」の全面新訳。国際派カント研究の第一人者が、主要な基本用語をラテン語の原義にたちかえり、現代にふさわしい平明な訳語にあらためる。下は、超越論的弁証論などを収録。

読売新聞 2017/05/14

2014:3./ 562p  
978-4-480-84742-3  
本体 ¥4,500+税



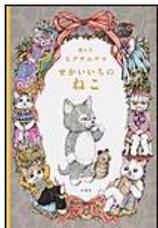
**憎むのでもなく、許すのでもなく～ユダヤ人一斉検挙の夜～**

ボリス・シリュルニク、林 昌宏 著  
吉田書店

1944 年 1 月、ユダヤ人一斉検挙の犠牲となった 6 歳の著者は、収容所に送られる直前に脱出した…。沈黙し続けてきた自らの壮絶な物語を静かに紡ぐほか、精神科医の立場で、トラウマから逃れる方法も多角的に分析し記す。

読売新聞 2017/05/14

2014:3./ 341p  
978-4-905497-19-6  
本体 ¥2,300+税



**せかいいちのねこ(MOE のえほん)**

ヒグチ ユウコ 著  
白泉社

男の子に永遠に愛されるために、本物の猫になりたいと願うぬいぐるみのニャンコと、旅先で出会うさまざまな猫たちとの心温まる絵物語。2015 年 11 月刊。

読売新聞 2017/05/14

2015:11./ 101p  
978-4-592-76189-1  
本体 ¥1,400+税





**アレフ(岩波文庫 32-792-8)**

J.L.ボルヘス 著  
岩波書店

途方もない博識と巧緻をきわめたプロット、極度に凝縮された文体ゆえに<知の工匠><迷宮の作家>と呼ばれるボルヘスの代表作。表題作をはじめ、「不死の人」「神の書跡」「アヴェロエスの探求」などを収録。

2017:2./ 250p  
978-4-00-327928-1  
本体 ¥720+税



読売新聞 2017/05/14



**どんどん橋、落ちた 新装改訂版(講談社文庫 あ 52-28)**

綾辻 行人 著  
講談社

崩落した<どんどん橋>の向こう側で、燃える<ぼうぼう森>の中で、明るく平和だったはずのあの一家で...勃発する難事件の犯人は誰か。超難問ぞろい、驚愕必至の犯人当て傑作集。表題作をはじめ全5話を収録。

2017:2./ 483p  
978-4-06-293551-7  
本体 ¥780+税



読売新聞 2017/05/14



**世界と僕のあいだに**

タナハシ・コーツ 著  
慶應義塾大学出版会

黒人の肉体は自らの所有物ではなく、白人によって築かれた祖国アメリカの歴史を支えてきた資源にすぎない。冷徹な現実認識をもって、現代アメリカ社会の矛盾を描き、黒人が生き抜く術を教える、父から息子への長い長い手紙。

2017:2./ 189p  
978-4-7664-2391-4  
本体 ¥2,400+税



読売新聞 2017/05/14



**近代日本の洋風建築<開化篇>**

藤森 照信 著  
筑摩書房

文献学だった近代建築史に建物調査や関係者取材を加えたフジモリ流建築史。そのエッセンスを全2冊に。本書は西洋建築との出会い篇。

2017:2./ 396p  
978-4-480-87389-7  
本体 ¥3,800+税



読売新聞 2017/05/14



**近代日本の洋風建築<栄華篇>**

藤森 照信 著  
筑摩書房

主に文献学だった近代建築史に建物の調査や関係者取材を取り入れたフジモリ流建築史のエッセンスを全2冊に。新たなモダニズムの台頭篇。

2017:3./ 443p  
978-4-480-87390-3  
本体 ¥4,000+税



読売新聞 2017/05/14



**地中の記憶(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 1917)**

ローリー・ロイ 著  
早川書房

15歳のアニーは、隣家ベイン家の荒れた畑のなかで死体を見つけてしまう。その死体は、町の忌まわしい過去を呼びさまし、アニーと家族の日々までも揺るがすことに...。20世紀半ばのアメリカ南部を舞台にしたミステリ。

2017:3./ 370p  
978-4-15-001917-4  
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/05/14



**火山で読み解く古事記の謎(文春新書 1122)**

蒲池 明弘 著  
文藝春秋

なぜ、古事記神話は日向(九州南部)と出雲(島根県)を主な舞台としているのか。もし、7300年前の巨大噴火を縄文人が記憶していたら…。地質学データ、足で集めた情報をもとに古事記神話の謎を解く。

2017:3./ 252p  
978-4-16-661122-5  
本体 ¥920+税



読売新聞 2017/05/14



**日本の色のルーツを探して**

城 一夫 著  
パイインターナショナル

「日本の伝統色」といわれる色彩はどこからきて、どのように混じり合い、変化していったのか。古代から近世までの日本の色彩文化を分析し、14色相に分けてその系譜を探る。日本流行色協会機関誌『流行色』掲載を書籍化。

2017:3./ 255p  
978-4-7562-4700-1  
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/05/14



**そもそも〜つながりに気付くと未来が見える〜**

西 きょうじ 著  
新潮社

すべてのことや、すべての生きものはつながっている。読むだけで「最先端の教養+雑談力」が身につく、カリスマ講師のエッセイ集。『小説新潮』連載を大幅に加筆訂正し単行本化。

2017:4./ 188p  
978-4-10-350891-5  
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2017/05/14



**ダ・ヴィンチ絵画の謎〜カラー版〜(中公新書 2425)**

斎藤 泰弘 著  
中央公論新社

鏡文字で書かれたダ・ヴィンチの手稿を研究し、彼の抱く世界観を知悉する著者が、俗説を退けながら、現存する主要な絵画のテーマや来歴について、ダ・ヴィンチ自身のものの見方に立って解説する。カラー図版も豊富に掲載。

2017:3./ 4p,195p  
978-4-12-102425-1  
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2017/05/14



**イートン校の2羽のフクロウ**

ジョナサン・フランクリン、清水 玲奈 著  
エクスマレッジ

動物好きの少年ジョナサンはひよんなことから2羽のフクロウを保護し、イートン校の寄宿舎でともに生活をはじめ。フクロウたちは学校の人気者になっていき…。1960年の出版以来、英国民に愛され続けるノンフィクション。

2017:3./ 200p  
978-4-7678-2303-4  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/05/14



**野村克也野球論集成**

野村 克也、サンケイスポーツ 編  
野村 克也 著  
徳間書店

稀代の名将・野村克也による実践向け野球書。自身の経験・知識・理論を収めた門外不出の野球ノートを初公開し、基本技術、原理原則、醍醐味など、そのすべてを教える。『サンケイスポーツ』連載を改題し加筆修正。

2017:4./ 419p  
978-4-19-864387-4  
本体 ¥1,850+税



読売新聞 2017/05/14



**天野貞祐～道理を信じ、道理に生きる～(ミネルヴァ日本評伝選)**

貝塚 茂樹 著  
ミネルヴァ書房

カント研究者として活躍した天野貞祐。京大での「筆禍事件」の後、文部大臣に就任し、道徳教育問題で大論争を引き起こす。道理を説きながらも、「徹底的惨敗者」として時代と格闘し続けた生涯に迫る。

2017:4./ 24p,429p,11p  
978-4-623-08030-4

本体 ¥4,000+税



読売新聞 2017/05/14



**乗りもの紳士録(中公文庫 あ13-7)**

阿川 弘之 著  
中央公論新社

突如自動車学校に通いはじめた吉行淳之介、著者の運転に御機嫌の志賀直哉、交通巡査にいつも親切にされる芦田伸介…。乗りもの全般に並々ならぬ好奇心を燃やす阿川弘之が、乗りものを介しての「紳士たち」との交友を綴る。

2017:4./ 222p

978-4-12-206396-9

本体 ¥620+税



読売新聞 2017/05/14



**滝田樗陰～『中央公論』名編集者の生涯～(中公文庫 す4-3)**

杉森 久英 著  
中央公論新社

明治末～大正に『中央公論』主幹を務めた滝田樗陰。低迷する雑誌に文芸欄を設け文壇の登竜門にまで押し上げ、吉野作造を起用して大正デモクラシーの時代を招来した、名編集者とその時代を描く。谷崎潤一郎らの追憶記も収録。

2017:4./ 264p

978-4-12-206398-3

本体 ¥900+税



読売新聞 2017/05/14



**出版の境界に生きる～私の歩んだ戦後と出版の七〇年史～(出版人・知的所有権叢書 01)**

宮田 昇 著  
太田出版

編集者、児童文学作家、翻訳権エージェント、著作権コンサルタントとして歩んだ著者による、個人史としての出版史。日本ユニ著作権センター会誌『JUCC 通信』掲載をもとに書籍化。

2017:4./ 256p

978-4-7783-1569-6

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2017/05/14



**著作権の誕生～フランス著作権史～(出版人・知的所有権叢書 02)**

宮澤 溥明 著  
太田出版

著作権の真の誕生はフランス革命だった!フランスの著作権の発展の歴史の一面を描く。パリとその近郊にある著作権ゆかりの地も案内。日本ユニ著作権センター会報「JUCC 通信」連載に加筆・修正して書籍化。

2017:4./ 335p,10p

978-4-7783-1570-2

本体 ¥3,800+税



読売新聞 2017/05/14



**カタログでたどる日本の小型商用車～1904-1966～**

小関 和夫 著  
三樹書房

街の商店や物流などで活躍した四輪の小型商用車は、日本の高度成長を支える大きな役割を果たした。ユニークで独自性に満ちあふれていた日本の小型商用車の変遷を、多数のカラー図版とともに詳細に解説する。

2017:5./ 183p

978-4-89522-668-4

本体 ¥3,800+税



読売新聞 2017/05/14



**長夜の眠り〜釈迦空の一首鑑賞〜**

秋山 佐和子 著  
KADOKAWA

万葉の地を岡野弘彦と歩き、遙かなる逍空の声を体に刻み込んできた作者。頭ではなく心で感じた逍空の歌の深さを、やさしく解き明かす必読の一書。奇蹟の歌人、釈迦空が身近に！！小論・エッセイも同時収録。

2017:4./ 221p  
978-4-04-876436-0  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/05/16



**晩年 改版(角川文庫)**

太宰 治 著  
角川書店

読売新聞 2017/05/21

2009:5./ 369p  
978-4-04-109916-2  
本体 ¥514+税



**時の輝き(講談社文庫)**

折原 ひと 著  
講談社

看護実習生・由花は実習先の病院で初恋の相手・シュンチと再会する。が、お互いの想いを確認して間もなく、2人は彼の本当の病名を知ること。限られた「時間」を共に過ごす決意をした由花に、シュンチが遺したものは.....。

2009:10./ 202p  
978-4-06-276497-1  
本体 ¥476+税



読売新聞 2017/05/21



**国家は破綻する〜金融危機の800年〜**

カーメン・M.ラインハート、ケネス・S.ロゴフ 著  
日経BP社

債務が膨れ上がった国は、悲劇に向かっている！バブルとその崩壊、銀行危機、通貨危機、インフレ危機を経由して、対外債務・対内債務のデフォルトを引き起こす金融800年の世界史を描く。

2011:3./ 16p,588p  
978-4-8222-4842-0  
本体 ¥4,000+税



読売新聞 2017/05/21



**アエネーイス**

ウェルギリウス 著  
新評論

トローヤ人でありながら遍歴を重ね、ついにはローマ人の祖となるアエネーアースを歌った、ラテン文学最高の叙事詩「アエネーイス」を、散文形式による新訳で収録。関連名画、解題、神名・民族名・人名・地名索引も掲載する。

2013:12./ 10p,469p  
978-4-7948-0955-1  
本体 ¥5,500+税



読売新聞 2017/05/21



**青春クロスピア**

唯川 恵 著  
集英社

読売新聞 2017/05/21

1985:1.  
978-4-08-610724-2  
本体 ¥301+税





### オリュポスの神々の歴史

バルバラ・グラツィオージ、西村 賀子、西塔 由貴子 著  
白水社

「ギリシア神話の神々」は、どこから来てどこへ行くのか。ホメロス以前の姿からルネサンス、さらにベルリン・オリンピックまでの受容史。

2017:2./ 287p,32p  
978-4-560-09517-1  
本体 ¥3,700+税



読売新聞 2017/05/21



### ともえ(文春文庫 も 18-13)

諸田 玲子 著  
文藝春秋

近江義仲寺で運命的な出会いをした松尾芭蕉と智月尼。最晩年の芭蕉のプラトニックな関係と、巴御前との魂の交感を描く歴史時代小説。

2017:3./ 317p  
978-4-16-790805-8  
本体 ¥740+税



読売新聞 2017/05/21



### 「イタコ」の誕生～マスメディアと宗教文化～

大道 晴香 著  
弘文堂

イタコ文化はいかにして伝説となったか。丹念なフィールドワークと質問調査などから浮かび上がらせた貴重な論考。

2017:2./ 416p  
978-4-335-16086-8  
本体 ¥4,500+税



読売新聞 2017/05/21



### 誰も書けなかった「笑芸論」～森繁久彌からビートたけしまで～(講談社文庫 た 58-4)

高田 文夫 著  
講談社

森繁久彌の隣家で育ち、寄席で見た林家三平。小学校の卒業文集に「青島幸男になりたい」と書き、森田芳光と飲み歩いた大学時代。そしてビートたけしと出会い…。<笑い>を生きた男、高田文夫がすべて書いた自伝的「笑芸論」。

2017:3./ 249p  
978-4-06-293567-8  
本体 ¥600+税



読売新聞 2017/05/21



### 永井荷風

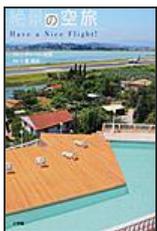
多田 蔵人 著  
東京大学出版会

江戸文化へのまなざしを通して、近代へ鋭い批判をくわえたとされる永井荷風。彼ににとって江戸文化は耽溺するものではなく、新しい意味での芸術としての小説を創出する場だった。「小説家」荷風の物語技法を明らかにする。

2017:3./ 5p,224p,4p  
978-4-13-086051-2  
本体 ¥4,200+税



読売新聞 2017/05/21



### 絶景の空旅～Have a Nice Flight!～

チャーリー古庄、星 裕水 著  
小学館

サンゴ礁の海をバックに離陸する新石垣空港。フルフラットシートになるエコノミークラス。深遠なる飛行機グッズの世界…。世界で最も多くの航空会社に乗った航空写真家が、空の旅と飛行機の楽しみ方を紹介します。

2017:3./ 159p  
978-4-09-388537-9  
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/05/21



**幸福のパズル**

折原 ひと 著  
講談社

純粋でひたむきな女の子みちるは、高3の夏、老舗ホテルの御曹司・優斗と恋に落ちるが、行き違いから悲しい別れを迎える。5年後、再会した2人は急速に惹かれ合う。人生で初めて幸せに身を委ねたみちるだったが...

2017:4./ 587p  
978-4-06-219706-9  
本体 ¥1,850+税



読売新聞 2017/05/21



**池上彰の「経済学」講義<1> 歴史編(角川文庫 い96-1)**

池上 彰 著  
KADOKAWA

東西冷戦、日本の戦後の歩みなど、歴史に学ぶことで未来が見える。池上彰が、戦後社会の歴史と仕組みを経済の視点から読み解く。テレビ放送でも話題になった、愛知学院大学2014年「経済学」講義を再録。

2017:3./ 421p  
978-4-04-104892-4  
本体 ¥880+税



読売新聞 2017/05/21



**天下人の父・織田信秀〜信長は何を学び、受け継いだのか〜(祥伝社新書 501)**

谷口 克広 著  
祥伝社

織田信長の独創的とされてきた戦闘方法、外交・経済政策、家臣統制の多くは、父・信秀の模倣だった!信長研究の第一人者が、一次史料を含む多くの史料を読み解き、信秀、信長二代にわたる事績を明らかにする。

2017:4./ 254p  
978-4-396-11501-2  
本体 ¥820+税



読売新聞 2017/05/21



**亀井俊介オール・ヒストリー〜戦後日本における一文学研究者の軌跡〜**

亀井 俊介 著  
研究社

岐阜生まれの軍国少年はいかにして戦後日本の代表的なアメリカ文学者・比較文学者となったのか。語りとインタビューという形式で、自らの学問史を自在に語る。平石貴樹による講演「亀井俊介研究序説」、著作目録・年譜も収録。

2017:4./ 7p,340p  
978-4-327-48165-0  
本体 ¥3,000+税



読売新聞 2017/05/21



**プロ野球・二軍の謎(幻冬舎新書 た-21-1)**

田口 壮 著  
幻冬舎

一軍を支え、一軍を目指すプロ野球の二軍選手は、どんな日々を送っているのか。「二軍のリアル」を元メジャーリーガーの現役監督が解説。監督ならではの苦労や裏話も満載。『日経新聞』電子版連載に書き下ろしを追加。

2017:3./ 234p  
978-4-344-98452-3  
本体 ¥800+税



読売新聞 2017/05/21



**蜜柑・尾生の信〜他十八篇〜(岩波文庫 31-070-15)**

芥川 竜之介 著  
岩波書店

素朴な娘の愛情の表現に憂鬱な感情を忘れる「蜜柑」、中国古典に拠った夢と詩情を描いた掌篇「尾生の信」など、多彩な短編小説を織りなした芥川竜之介の佳作全20篇を収録。

2017:5./ 221p  
978-4-00-360027-6  
本体 ¥600+税



読売新聞 2017/05/21



### 巨神計画<下>(創元 SF 文庫 SF 又 1-2)

シルヴァン・ヌーヴェル 著

東京創元社

インタビューとローズたちの極秘計画が進む中、新たな疑問が生じる。どうやってロボットを操縦するのか? 人類に利用する能力は、資格はあるのか? ロボットが秘める力の全貌は? プロジェクトは急展開を迎え...

2017:5./ 267p

978-4-488-76702-0

本体 ¥960+税



読売新聞 2017/05/21



### 巨神計画<上>(創元 SF 文庫 SF 又 1-1)

シルヴァン・ヌーヴェル 著

東京創元社

ローズが偶然発見したイリジウム合金製の巨大な“手”は、6000 年前に何者かが地球に残っていた人型巨大ロボットの一部分と判明する。謎の人物インタビューの指揮のもと、パーツの極秘回収作戦がはじまった...

2017:5./ 329p

978-4-488-76701-3

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2017/05/21



### 痛みと感情のイギリス史

後藤 はる美 編

東京外国語大学出版会

痛みは普遍的なのか。神経医学の発達、貧者の救済、聖職者の処刑、宗教改革期の病、魔女裁判、夫婦間の虐待訴訟、動物の生体解剖などを題材に、生と痛みが絡まり合う感情の諸相を、イギリス史を舞台に描き出す。

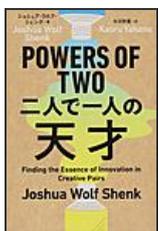
2017:3./ 363p

978-4-904575-59-8

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2017/05/21



### POWERS OF TWO 二人で一人の天才

ジョシュア・ウルフ・シェンク 著

英治出版

ビジネス、科学、音楽...。あらゆる分野の革新は、刺激しあい、補完し合う「クリエイティブ・ペア」が生み出してきた。一人では何もできないが、二人なら何でもできる。どうすれば、そういう人間関係を築けるかを解き明かす。

2017:4./ 382p

978-4-86276-205-4

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2017/05/21



### ミステリ国の人々

有栖川 有栖 著

日本経済新聞出版社

あの名探偵から、つい見逃してしまう存在まで、古今東西のミステリ小説に登場する 52 人を通して、作家・有栖川有栖がミステリの知られざる魅力と奥深さを綴る。『日本経済新聞』連載を単行本化。

2017:5./ 287p

978-4-532-17617-4

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2017/05/21



### 成功者 K

羽田 圭介 著

河出書房新社

ある朝目覚めると K は有名人になっていた。K は寄ってくる女性たちと次々に... これは実話かフィクションか!? 芥川賞作家の超話題作。

2017:3./ 324p

978-4-309-02551-3

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/05/21、朝日新聞 2017/05/30



**蜜蜂と遠雷**

恩田 陸 著  
幻冬舎

養蜂家の父とともに各地を転々とし自宅にピアノを持たない少年、かつての天才少女、サラリーマン…。ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、音楽を描いた青春群像小説。『星星峡』『ボンツーン』連載を単行本化。

2016:9./ 507p  
978-4-344-03003-9  
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/05/21、読売新聞 2017/05/28



**千里眼 The Start(角川文庫)**

松岡 圭祐 著  
角川書店

読売新聞 2017/05/28

2007:1./ 284p  
978-4-04-383602-4  
本体 ¥514+税



**催眠 完全版(角川文庫)**

松岡 圭祐 著  
角川書店

読売新聞 2017/05/28

2008:1./ 425p  
978-4-04-383617-8  
本体 ¥640+税



**日日雑記(中公文庫)**

武田 百合子 著  
中央公論社

読売新聞 2017/05/28

1997:2./ 267p  
978-4-12-202796-1  
本体 ¥590+税



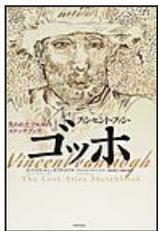
**万能鑑定士 Q の事件簿<1>(角川コミックス・エース KCA451-1)**

角川書店

これは、面白くて知恵がつく、人の死なないミステリ。

読売新聞 2017/05/28

2013:7./ 174p  
978-4-04-120783-3  
本体 ¥560+税



**フィンセント・ファン・ゴッホ～失われたアルルのスケッチブック～**

ボゴミラ・ウエルシュエ=オフチャロフ 著

河出書房新社

世紀の発見!ゴッホの未発表スケッチ 65 枚が 126 年ぶりに姿を現した。会計帳簿に描かれた最盛期の貴重な作品を初公開。

読売新聞 2017/05/28

2017:4./ 279p  
978-4-309-27799-8  
本体 ¥10,000+税



**菜食への疑問に答える 13章～生き方が変わる、生き方を変える～**

シェリー・F.コーブ 著

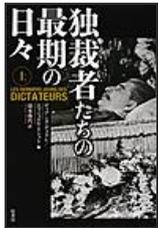
新評論

お乳や卵はいいんじゃない? 動物も他の動物を食べるけど? 菜食への質問を取り上げ、人の自然な感覚や良心にもとづく回答を示すことで、菜食への理解を促すと同時に、それを出発点とした倫理的な生のあり方を考察する。

読売新聞 2017/05/28

2017:4./ 325p  
978-4-7948-1058-8  
本体 ¥2,500+税





### 独裁者たちの最期の日々<上>

エマニュエル・エシュト 編

清水 珠代 著

原書房

世界に惨禍をまきおこしたおもな独裁者たちの最期の日々に焦点をあて、信頼できる資料をもとに史実を追いながら、その今日的意味を問う。上は、ムッソリーニ、ヒトラー、スターリン、毛沢東、ポル・ポトら 12 人を取り上げる。

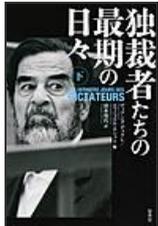
2017:3./ 4p,216p

978-4-562-05377-3

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2017/05/28



### 独裁者たちの最期の日々<下>

エマニュエル・エシュト 編

清水 珠代 著

原書房

世界に惨禍をまきおこしたおもな独裁者たちの最期の日々に焦点をあて、信頼できる資料をもとに史実を追いながら、その今日的意味を問う。下は、アミン、チャウシェク、サダム・フセイン、金正日ら 12 人を取り上げる。

2017:3./ 4p,197p

978-4-562-05378-0

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2017/05/28



### ポスト多文化主義教育が描く宗教〜イギリス<共同体の結束>政策の功罪〜

藤原 聖子 著

岩波書店

宗教に揺れるイギリスの教育界。宗教と教育の「コミュニティ的転回」は、どのような問題をはらんでいるか。歴史的背景を論じるとともに、その実態と問題性を教科書等の資料に基づき、授業例・課題例を示しながら検証する。

2017:3./ 8p,280p,12p

978-4-00-024795-5

本体 ¥4,500+税



読売新聞 2017/05/28



### 親愛なるミスタ崔〜隣の国の友への手紙〜(日韓同時代人の対話シリーズ 02)

佐野 洋子、崔 禎鎬 著

クオン

佐野洋子が哲学者の崔禎鎬と 40 年近くにわたり交わした、57 通の手紙。ベルリン・ミラノ・ソウル・東京を往復した未公開書簡集。二人の出会いにも触れた崔のエッセイや谷川俊太郎の詩も収録。

2017:3./ 183p

978-4-904855-67-6

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2017/05/28



### 日本古代女帝論

義江 明子 著

塙書房

古代女帝の事蹟と意義、古代社会のジェンダー的特質と歴史の変容を考察し、中継ぎ論や巫女論とは異なる八代 6 人の女帝の実像を解明する。

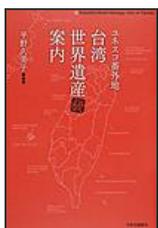
2017:3./ 9p,369p,9p

978-4-8273-1290-4

本体 ¥11,000+税



読売新聞 2017/05/28



### 台湾世界遺産級案内〜ユネスコ番外地〜

平野 久美子 著

中央公論新社

政治の事情で、台湾には世界遺産が一つもない。玉山国家公園、台鉄旧山線…。訪れるべき価値のある 18 か所の世界遺産候補地を、台湾を愛し、台湾事情に精通する日本の執筆陣が熱烈案内する。データ:2017 年 1 月現在。

2017:3./ 125p

978-4-12-004959-0

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/05/28



### 近代皇族妃のファッション

青木 淳子 著  
中央公論新社

海外から国賓を迎えて催される宮中晩餐会で、皇族女性たちの正装はなぜ洋装なのか。日本人の洋装化、生活文化の近代化をリードした梨本宮伊都子妃、朝香宮允子妃の例を詳細に検討し、その問いに答える。

2017:2./ 414p  
978-4-12-004957-6  
本体 ¥4,000+税



読売新聞 2017/05/28



### 地蔵千年、花百年

柴田 翔 著  
鳥影社

どんな人生であれ、生きていれば、いつか折り合える。大学紛争、大阪万博。数年の異国暮らしから不本意に帰ってきた直行は、日々変転する世の姿を漠然と眺め、時々々の成り行きに任せて生きていたが…。半世紀の時空を描く。

2017:4./ 378p  
978-4-86265-606-3  
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/05/28



### 鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。

川上 和人 著  
新潮社

出張先は火山にジャングル、無人島。血を吸うカラス、空飛ぶカタツムリ相手に奮闘し…。知られざる理系蛮族「鳥類学者」が抱腹絶倒、命がけの日々を綴る。『新潮 45』連載を書籍化。

2017:4./ 221p  
978-4-10-350911-0  
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2017/05/28



### 行こう、どこにもなかった方法で

寺尾 玄 著  
新潮社

夢の扇風機や感動のトースターを生み出し、人々を魅了し続ける「バルミュード」。ロックスターを目指した若者が、新たな夢を?むまでの興奮と驚きの道のりを綴る。

2017:4./ 253p  
978-4-10-350941-7  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2017/05/28



### 捨てる女(朝日文庫 う22-2)

内澤 旬子 著  
朝日新聞出版

突然、何も無い部屋に住みたくなった。まだまだ使えそうなものもなんもかんも、捨てまくることにした。3年以内に着手できないもの使わないものは、いらん。捨てまくる断捨離エッセイ。「身体(からだ)のいいなり」後日譚。

2017:4./ 263p  
978-4-02-261899-3  
本体 ¥640+税



読売新聞 2017/05/28



### 黄砂の籠城<上>(講談社文庫 ま73-14)

松岡 圭祐 著  
講談社

1900年春、北京では外国人排斥を叫ぶ武装集団・義和団が勢力を増し、外国公使館区域を包囲。足並み揃わぬ列強 11カ国を先導したのは、新任の駐在武官・柴五郎率いる日本だった…。世界から賞賛された日本の姿を描く。

2017:4./ 315p  
978-4-06-293634-7  
本体 ¥640+税



読売新聞 2017/05/28



**黄砂の籠城<下>(講談社文庫 ま 73-15)**

松岡 圭祐 著

講談社

清朝の西太后は宣戦布告を決断し、公使館区域からの 24 時間以内退去を通告する。20 万人の義和団と清国軍の前に、外国人とキリスト教徒の命は風前の灯火となり…。世界から賞賛された日本の姿を描く。

2017:4./ 321p

978-4-06-293677-4

本体 ¥640+税



読売新聞 2017/05/28



**うつくしい日々**

蛭川 実花 著

河出書房新社

父が逝った日の空は綺麗すぎて怖いくらいだったー父蛭川幸雄が死に向かう一年半。驚くほど美しくなつてゆく世界を写す奇跡の写真集。

2017:5./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-309-27840-7

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/05/28



**正義のセ<3> 名誉挽回の大勝負!(角川文庫 あ 75-3)**

阿川 佐和子 著

KADOKAWA

小学校の同級生で親友の明日香に裏切られた凜々子。さらに自分の仕事のミスが妹・温子の破談をまねいていたことを知る。自己嫌悪に陥った凜々子は同期の神蔵守にある決断を伝えるが……!?

2017:4./ 274p

978-4-04-101634-3

本体 ¥640+税



読売新聞 2017/05/28



**ブルベのすべて**

鈴木 裕和 著

スモール出版

自転車で 200km 以上の長距離を制限時間内に自力で完走し、認定を貰うロングライドのイベント「ブルベ」。基本情報からノウハウ、応用術まで、「ブルベ」全般について幅広く、詳細に解説する。

2017:5./ 353p

978-4-905158-43-1

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2017/05/28



**カラダはすごい!~モーツァルトとレクター博士の医学講座~(扶桑社新書 240)**

久坂部 羊 著

扶桑社

脳ミン喰われても痛くないってホント? 健康診断をうけないほうが長生きできる? 医療ミステリーの鬼才が、医学に関する疑問や興味への答え、最新の研究で覆された医学の常識・非常識を紹介する。

2017:5./ 249p

978-4-594-07706-8

本体 ¥820+税



読売新聞 2017/05/28



**現代書道クロニクル~コラム 2011-2016~**

菅原 教夫 著

芸術新聞社

現代の書の景色を一望できる、書家・書道愛好家の必読書。書道界で活躍する個々の作家たちの営みを伝え、折々の創作上の問題を掘り下げる。人名索引付き。『読売新聞』掲載コラムに大幅加筆して書籍化。

2017:4./ 288p

978-4-87586-514-8

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2017/05/28



### モノづくりのころ

常盤 文克 著  
日経BP社

いまこそ「モノづくりの魂」を取り戻せ!いま日本のモノづくりは大きな曲がり角にある。元花王の名経営者が日本の文化や伝統、さらには東洋の英知や思想を踏まえたモノづくりのあり方を綴る。

日本経済新聞 2017/05/07

2004:3./ 215p  
978-4-8222-4389-0  
本体 ¥1,400+税



### 生き方～人間として一番大切なこと～

稲盛 和夫 著  
サンマーク出版

人間として正しい生き方を志し、ひたすら貫きつづける。それが、いま私たちにもっとも求められている。混迷の時代に打ち込む、「生き方」という一本の杭。京セラとKDDIを創業した著者が語りつくす、人生哲学の集大成。

日本経済新聞 2017/05/07

2004:7./ 246p  
978-4-7631-9543-2  
本体 ¥1,700+税



### 清く美しい流れ～日本人の生き方を取り戻す～

田口 佳史 著  
PHPエディターズ・グループ

止まらない「金銭至上主義」、そして倫理を欠いた「偽装個人主義」。私たちはいま、何を軸に生き方を考えるべきなのか?。日本がひとつの岐路に立たされている今、もう一度日本人の原点、源流を見つめ直す。

日本経済新聞 2017/05/07

2007:1./ 215p  
978-4-569-65960-2  
本体 ¥1,400+税



### 青春を山に賭けて(文春文庫)

植村 直己 著  
文芸春秋

大学時代、ドングリとあだ名された著者が、無一文で日本を脱出し、五大陸最高峰に初登頂し、アマゾン筏下りに成功するまでの青春記。

日本経済新聞 2017/05/07

2008:7./ 297p  
978-4-16-717806-2  
本体 ¥590+税



### 東洋からの経営発想

田口 佳史 著  
金融ブックス

企業はどうなるべきか、経営はどうなるべきか?。いまだ見えない夜明けに向けて、転換期の闇を走るリーダーに、老荘や芭蕉・利休などの東洋思想から発想を得たビジネスの在り方を説く。『人材教育』連載に加筆訂正し単行本化。

日本経済新聞 2017/05/07

2009:7./ 174p  
978-4-904192-18-4  
本体 ¥1,524+税



### 国家神道と日本人(岩波新書 新赤版)

島蘭 進 著  
岩波書店

戦前、日本人の精神的支柱として機能した「国家神道」は果たして解体・消滅したのか? その生成から現在までを追い、日本の宗教・精神史理解のベースを提示する。

日本経済新聞 2017/05/07

2010:7./ 237p  
978-4-00-431259-8  
本体 ¥840+税





**中世の秋<上>(中公文庫)**

J・ホイジンガ 著  
中央公論新社

20世紀最高の歴史家が、中世人の意識をいろいろの絶望と歓喜、残虐と敬虔との対極的な激情をとらえ中世文化の熟しきった華麗な全体像を精細に描く。

日本経済新聞 2017/05/07

1999:7./ 389p  
978-4-12-200372-9  
本体 ¥743+税



**孤高の人<上> 改版(新潮文庫 1に-2-3)**

新田 次郎 著  
新潮社

ヒマラヤ征服の夢を秘め、限られた裕福な人々だけのものではあった登山界に、社会人登山家としての道を開拓しながら日本アルプスの山々を、ひとり踏破していった“単独行の加藤文太郎”。その交錯する愛と孤独の青春を描く長編。

日本経済新聞 2017/05/07

2009:8./ 503p  
978-4-10-112203-8  
本体 ¥750+税



**孤高の人<下> 改版(新潮文庫 1に-2-4)**

新田 次郎 著  
新潮社

日本登山界に不滅の足跡を遺した文太郎の生涯を通じ“なぜ山に登るのか”の問いに鋭く迫った山岳小説屈指の力作である。

日本経済新聞 2017/05/07

2009:8./ 488p  
978-4-10-112204-5  
本体 ¥710+税



**ドグラ・マグラ<上>(角川文庫)**

夢野 久作 著  
角川書店

昭和10年1月、書き下ろし自費出版。狂人の書いた推理小説という異常な状況設定の中に著者の思想、知識を集大成し、“日本一幻魔怪奇の本格探偵小説”とうたわれた、歴史的な一大奇書。

日本経済新聞 2017/05/07

1976:10./ 324p  
978-4-04-136603-5  
本体 ¥520+税



**ドグラ・マグラ<下>(角川文庫)**

夢野 久作 著  
角川書店

昭和10年1月、書き下ろし自費出版。狂人の書いた推理小説という異常な状況設定の中に著者の思想、知識を集大成し、“日本一幻魔怪奇の本格探偵小説”とうたわれた、歴史的な一大奇書。

日本経済新聞 2017/05/07

1999:7./ 382p  
978-4-04-136604-2  
本体 ¥640+税



**息子とカヌー〜アマゾンまで 12000 マイル〜<中>**

ドン・スターケル 著  
冬樹社

日本経済新聞 2017/05/07

1990:1./ 244p  
978-4-8092-5321-8  
本体 ¥1,165+税



**息子とカヌー～アマゾンまで 12000 マイル～<下>**

ドン・スターケル 著  
冬樹社  
日本経済新聞 2017/05/07

1990:3./ 272p  
978-4-8092-5322-5  
本体 ¥1,165+税


**白い犬とワルツを(新潮文庫)**

テリー・ケイ 著  
新潮社  
長年連れ添った妻に先立たれ、自らも病に侵された老人サムは、暖かい子供たちの思いやりに感謝しながらも一人で余生を生き抜こうとする。妻の死後、どこからともなく現れた白い犬と寄り添うようにして。あなたには白い犬が見えますか?

1998:3./ 272p  
978-4-10-249702-9  
本体 ¥590+税



日本経済新聞 2017/05/07

**極北に駆ける(文春文庫 う1-7)**

植村 直己 著  
文藝春秋  
南極大陸横断をめざす冒険野郎ウエムラが報告する極北の民との生活。極寒のなかの熱き交情と3000キロ単独犬ぞり行の1年間!

2011:2./ 274p  
978-4-16-717807-9  
本体 ¥552+税



日本経済新聞 2017/05/07

**聖職の碑 新装版(講談社文庫 に4-13)**

新田 次郎 著  
講談社  
大正2年8月26日、中箕輪尋常高等小学校生徒ら37名が修学旅行で伊那駒ヶ岳に向かった。しかし天候が急変、嵐に巻き込まれ11名の死者を出した。悲劇の全体像を真摯に描き出す。

2011:6./ 456p  
978-4-06-276991-4  
本体 ¥730+税



日本経済新聞 2017/05/07

**芙蓉の人 新装版(文春文庫 に1-43)**

新田 次郎 著  
文藝春秋  
天気予報を正確にするには富士山の観測所が必要だと厳冬の山頂に籠もる野中到と命がけで夫と行を共にした妻千代子の夫婦愛を描く。

2014:6./ 283p  
978-4-16-790122-6  
本体 ¥510+税



日本経済新聞 2017/05/07

**見てる、知ってる、考えてる**

中島 芭旺 著  
サンマーク出版  
僕の最大の長所は、1人では何もできないこと。それを知っていること。助けてっていえること。つぶやく言葉があまりに深く、「小さなからだの哲学者」と呼ばれている10歳の著者が、「感じたまま」「ありのまま」をつづる。

2016:8./ 125p  
978-4-7631-3477-6  
本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2017/05/07



**アトミック・ボックス(角川文庫 い 58-7)**

池澤 夏樹 著

KADOKAWA

かつて国産原子爆弾製造に携わった、美汐の父が死んだ。国益を損なう機密資料を託された美汐は、父親殺人の容疑で指名手配されてしまう。張り巡らされた国家権力の監視網をかい潜り、命懸けの逃走劇が始まる。

2017:2./ 475p

978-4-04-103715-7

本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2017/05/07



**楽しく学べる「知財」入門(講談社現代新書 2412)**

稲穂 健市 著

講談社

身近に感じられるユニークな事例をふんだんに盛り込み、「模倣」という切り口から知的財産権についてわかりやすく解説。実践的な知識をはじめ、著作権、特許権等、知的財産権に含まれる各権利の違いなども説明する。

2017:2./ 294p

978-4-06-288412-9

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2017/05/07



**『レ・ミゼラブル』の世界(岩波新書 新赤版 1655)**

西永 良成 著

岩波書店

「レ・ミゼラブル」がしばしば難解なところがあるにもかかわらず、「世界の名作」として読まれ続けている理由とは何か。作品の成立の過程を辿り、歴史的背景を参照しながら、作品に込められたユゴーの思想を読み解く。

2017:3./ 11p,204p,3p

978-4-00-431655-8

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2017/05/07



**ドイツのコンパクトシティはなぜ成功するのか～近距離移動が地方都市を活性化する～**

村上 敦 著

学芸出版社

ドイツの街は、なぜコンパクトで活気があるのか。移動距離の短いまちづくりで交通を便利にし地域経済を活性化するドイツのしくみ。

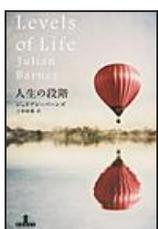
2017:3./ 251p

978-4-7615-2639-9

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2017/05/07



**人生の段階(CREST BOOKS)**

ジュリアン・バーンズ 著

新潮社

最愛の人にして最大の文学的理解者であった妻を突然喪った作家の痛みに満ちた日々。その思索と回想を、勃興期のヨーロッパ気球事情を語る歴史的エピソード、女優と軍人の恋物語を描いたフィクションを導入にして綴る。

2017:3./ 151p

978-4-10-590136-3

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/05/07



**キトラ・ボックス**

池澤 夏樹 著

KADOKAWA

奈良天川村-トルファン-瀬戸内海大三島。それぞれの土地で見つかった禽獣葡萄鏡は同じ鋳型で造られたと大学准教授・三次郎は推理する。博物館研究員の可敦と謎を追うが、何者かの襲撃を受け…。『本の旅人』連載を書籍化。

2017:3./ 318p

978-4-04-103725-6

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2017/05/07



### 日本の電機産業失敗の教訓～強い日本経済を復活させる方法～

佐藤 文昭 著  
朝日新聞出版

日立、東芝、三菱、富士通、NEC、ソニー、パナソニック、シャープ…。第四次産業革命の激変に、どう対処するか？ 電機業界再編の舞台裏から見えてきた、日本経済復活の処方箋を明らかにする。

2017:3./ 255p  
978-4-02-331350-7  
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2017/05/07



### 労基署は見ています。(日経プレミアシリーズ 335)

原 論 著  
日本経済新聞出版社

新入社員の自殺が労災認定された大手広告代理店問題で一躍注目を浴びる労働基準監督署。どんな組織で、どうやって情報収集・調査をするのか？ どういう会社がターゲットになるのか？ 元監督官が、知られざる全貌を明かす。

2017:3./ 217p  
978-4-532-26335-5  
本体 ¥850+税



日本経済新聞 2017/05/07



### 経済指標のウソ～世界を動かす数字のデタラメな真実～

ザカリー・カラベル、北川 知子 著  
ダイヤモンド社

ときに政治家のクビを飛ばすほど重視される GDP や失業率などの「経済指標」。だが、統計が描き出す世界と、私たちが現実に暮らす世界とは乖離するが多い。「経済指標」の歴史、理論、実態に迫る。

2017:3./ 396p  
978-4-478-02835-3  
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2017/05/07



### 俳句の図書室(角川文庫 ほ 23-1)

堀本 裕樹 著  
KADOKAWA

気鋭の俳人が、数ある名句の中から読むべき句をセレクト。俳句の読み方を知る入門書。十七音の組み立て、季語の取り入れ方、情景の写し方。読めば句作が楽しくなる。巻末に又吉直樹との語り下ろし対談収録。

2017:4./ 215p  
978-4-04-104934-1  
本体 ¥640+税



日本経済新聞 2017/05/07



### 着るか着られるか～現代男性の服飾入門～(草思社文庫 ほ 2-1)

穂積 和夫 著  
草思社

日本におけるアイビーの先駆的存在である著者がメンズファッションの極意を説いた伝説的バイブルを復刻。「男はなぜおしゃれをしなければならないか」から、男性服飾の基礎知識、着こなしの実践に至るまでを網羅。

2017:4./ 295p  
978-4-7942-2268-8  
本体 ¥800+税



日本経済新聞 2017/05/07



### ベストセラーコード～「売れる文章」を見きわめる驚異のアルゴリズム～

ジョディ・アーチャー、マシュー・ジョッカーズ 著  
日経BP社

ベストセラーが売れるのは偶然か、それとも黄金の法則が存在するのか？ 約 5000冊の小説から得られたテキストデータを分析し、ベストセラー小説とそうでない小説の違いを明らかにする。

2017:3./ 342p  
978-4-8222-5184-0  
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2017/05/07



**大予言〜「歴史の尺度」が示す未来〜(集英社新書 0880)**

吉見 俊哉 著  
集英社

歴史は 25 年、150 年、500 年単位で変化する。これを「物差し」とすれば、トランプ大統領以後の不安定な世界も予見可能。今後 100 年の政治、経済、社会を、圧倒的な文献をもとに精緻な分析で予測する。

日本経済新聞 2017/05/07

2017:4./ 293p  
978-4-08-720880-1  
本体 ¥840+税



**ジャングルの極限レースを走った犬アーサー**

ミカエル・リンドノード 著  
早川書房

全長 700 キロものジャングルを踏破するレースの世界選手権。過酷なコースに苦しみ、リタイア寸前だったチームをゴールに導いたのは、1 匹の犬だった…。アドベンチャーレースに挑む男と野良犬の運命的な出会いを描く。

日本経済新聞 2017/05/07

2017:4./ 339p  
978-4-15-209682-1  
本体 ¥1,800+税



**陽明丸と 800 人の子供たち〜日露米をつなぐ奇跡の救出作戦〜**

北室 南苑 著  
並木書房

ロシア革命後の混乱期、800 人のロシア難民の子供たちを親元に返すため、貨物船「陽明丸」は米国赤十字社の要請で危険な大航海に出航した。日本人船長と陽明丸の知られざる偉業に迫る。

日本経済新聞 2017/05/07

2017:4./ 267p  
978-4-89063-361-6  
本体 ¥1,500+税



**息子とカヌー〜アマゾンまで 12000 マイル〜<上>**

ドン・スターケル 著  
冬樹社

日本経済新聞 2017/05/07

1989:9./ 259p  
978-4-8092-5320-1  
本体 ¥1,165+税



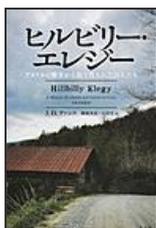
**江戸東京の聖地を歩く(ちくま新書 1244)**

岡本 亮輔 著  
筑摩書房

歴史と文化が聖地を生み出してきた江戸東京。神社仏閣から慰霊碑、墓、塔、スカイツリーまで、気鋭の宗教学者が聖地を自在に訪ね歩く。

日本経済新聞 2017/05/07、読売新聞 2017/05/14

2017:3./ 317p  
978-4-480-06951-1  
本体 ¥940+税



**ヒルビリー・エレジー〜アメリカの繁栄から取り残された白人たち〜**

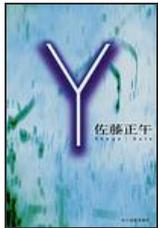
J.D.ヴァンス、関根 光宏、山田 文 著  
光文社

失業、貧困、ドラッグが蔓延するミドルタウンの貧しい家で育ちながら、イエール大学ロースクールを修了し、投資会社の社長を務める著者の回想記。トランプ大統領の支持層である、アメリカの白人労働者階層の実態が分かる書。

日本経済新聞 2017/05/07、読売新聞 2017/05/21、朝日新聞 2017/05/30

2017:3./ 418p  
978-4-334-03979-0  
本体 ¥1,800+税





**Y(ハルキ文庫)**

佐藤 正午 著

角川春樹事務所

貸金庫に預けられていた、一枚のフロッピーディスク。その奇妙な“物語”を読むうちに、私は彼の「人生」に引き込まれていった。これは本当の話なのだろうか?“時間”を超える究極のラブ・ストーリー。

日本経済新聞 2017/05/13

2001:5./ 321p

978-4-89456-858-7

本体 ¥648+税



**マイク・ハマーへ伝言(角川文庫)**

矢作 俊彦 著

角川書店

マッポを殺れ!化け物パトカーに殺された男のために、仲間のリョウや克哉たち 5人が復讐を計画する。あとはダッジ・チャージャーとキャディラックを用意すればOKだ!高速道路に爆発する青春!

日本経済新聞 2017/05/13

2001:7./ 300p

978-4-04-161603-1

本体 ¥571+税



**夜と霧 新版**

ヴィクトール・E.フランクル 著

みすず書房

心理学者、強制収容所を体験する。飾りのないこの原題から、永遠のロングセラーは生まれた。原著の改訂版である 1977 年版にもとづき、新たな訳者で新編集。人間の偉大と悲惨をあますところなく描く。

日本経済新聞 2017/05/13

2002:11./ 169p

978-4-622-03970-9

本体 ¥1,500+税



**百年の孤独(Obra de Garcia Marquez)**

G.ガルシア=マルケス 著

新潮社

蜃気楼の村マコンド。その草創、隆盛、衰退、ついには廃墟と化すまでのめぐるめく 100 年を通じて、村の開拓者一族ブエンディア家に受け継がれた孤独の深淵。20 世紀後半の世界文学を力強く牽引した怒涛の人間劇場。

日本経済新聞 2017/05/13

2006:12./ 492p

978-4-10-509011-1

本体 ¥2,800+税



**あ・じゃ・ぱん<上>(角川文庫)**

矢作 俊彦 著

角川書店

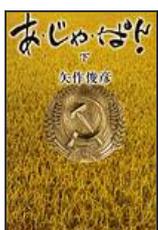
第二次世界大戦末期、北海道へのソ連軍侵攻によって、その後の日本は大菩薩峠を境とする「壁」で東西に遮られた。そんな日本に、父親が日本びいきだったアメリカ黒人の「私」が CNN 特派員としてやって来る。

日本経済新聞 2017/05/13

2009:11./ 485p

978-4-04-161657-4

本体 ¥743+税



**あ・じゃ・ぱん<下>(角川文庫)**

矢作 俊彦 著

角川書店

昭和天皇崩御の式典が行われている京都でテレビカメラが映し出した紋付き袴にソフト帽を被った老人。この老人からインタビューをとることが「私」の任務だった……。

日本経済新聞 2017/05/13

2009:11./ 662p

978-4-04-161658-1

本体 ¥857+税



**不機嫌の時代(講談社学術文庫 721)**山崎正和 著  
講談社

日本の近代文学者を広く襲い、その内面を覆った影のひとつに“不機嫌”という気分があった。近代的な自我形成の歴史の流れのなかで、不機嫌を 20 世紀の人間学のきわめて重要な概念として細密に描きわけた長篇文芸評論。

1986:2./ 282p  
978-4-06-158721-2  
本体 ¥960+税

日本経済新聞 2017/05/13

**身の上話(光文社文庫 さ 11-11)**佐藤 正午 著  
光文社

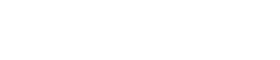
不倫相手と逃避行の後、宝くじが高額当選。巻き込まれ、流され続ける女が出合う災厄と恐怖とは。

2011:11./ 471p  
978-4-334-76320-6  
本体 ¥743+税

日本経済新聞 2017/05/13

**シャウト ザ・ビートルズ**フリリップ・ノーマン 著  
ソニーマガジズ

日本経済新聞 2017/05/13

1982:2./ 518p  
978-4-7897-0007-8**鳩の撃退法<上>**佐藤 正午 著  
小学館

かつての売れっ子作家・津田は、古書店を営んでいた老人の形見の鞆を受け取った。中には、数冊の絵本と古本のピーターパン、そして 3 千万円を超える現金が。しかし思いもよらぬ事実が判明し…。『きらら』連載を単行本化。

2014:11./ 476p  
978-4-09-386388-9  
本体 ¥1,850+税

日本経済新聞 2017/05/13

**鳩の撃退法<下>**佐藤 正午 著  
小学館

津田によいよ決断の機会が訪れる。忽然と姿を消した家族、郵便局員の失踪、裏社会の蠢き、疑惑つきの大金…。たった 1 日の交錯が多くのひとの人生を思わぬ方向へと導いてゆく。『きらら』連載を単行本化。

2014:11./ 477p  
978-4-09-386389-6  
本体 ¥1,850+税

日本経済新聞 2017/05/13

**デヴィッド・ボウイ～変幻するカルト・スター～(ちくま新書 1234)**野中 モモ 著  
筑摩書房

ジギー・スターダストの煌びやかな衝撃、『レッツ・ダンス』の世界制覇、死の直前に発表された『★』……常に変化し、世界を魅了したボウイの創造の旅をたどる。

2017:1./ 254p  
978-4-480-06941-2  
本体 ¥840+税

日本経済新聞 2017/05/13



**湯女図～視線のドラマ～(ちくま学芸文庫 サ 37-1)**

佐藤 康宏 著  
筑摩書房

江戸の風呂屋に抱えられた娼婦たちを描く一枚のミステリアスな絵。失われた半分には何が描かれていたのか。謎に迫り、日本美術の読み解き方を学ぶ。

日本経済新聞 2017/05/13

2017:2./ 199p  
978-4-480-09767-5  
本体 ¥1,100+税



**トルコ現代史～オスマン帝国崩壊からエルドアン時代まで～(中公新書 2415)**

今井 宏平 著  
中央公論新社

1923年に建国したトルコ共和国。革命を主導し、建国の父となったムスタファ・ケマルは、6原則を掲げ国家経営の舵を取った。それから約1世紀。ケマルが掲げた6原則を通して、トルコの百年の足跡を振り返る。

日本経済新聞 2017/05/13

2017:1./ 3p,320p  
978-4-12-102415-2  
本体 ¥900+税



**ボウイ、ボランを手がけた男～トニー・ヴィスコンティ自伝～**

トニー・ヴィスコンティ、前 むつみ 著  
シンコーミュージック

デヴィッド・ボウイ、T.レックスの名プロデューサー、トニー・ヴィスコンティの自伝。アーティストたちの実像、米国人から見た当時の英国文化、各種楽器や録音技術の進化など、1960年代以降のロック史重要証言が満載。

日本経済新聞 2017/05/13

2017:1./ 438p  
978-4-401-64354-7  
本体 ¥2,500+税



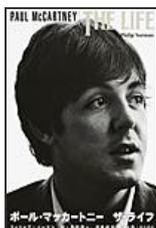
**中東とISの地政学～イスラーム、アメリカ、ロシアから読む21世紀～(朝日選書 956)**

山内 昌之 著  
朝日新聞出版

混乱を極める中東はどこへ向かうのか。IS(イスラーム国)のテロはいつ終わるのか。アメリカ、ロシアはどう動くのか…。多士済々の執筆陣が、地政学の視点から、複雑に変容する国際情勢をあざやかに解き明かす。

日本経済新聞 2017/05/13

2017:2./ 420p,9p  
978-4-02-263056-8  
本体 ¥1,900+税



**ポール・マッカートニー ザ・ライフ**

フィリップ・ノーマン 著  
KADOKAWA

ポール・マッカートニーが初めて認めたバイオグラフィー。幻に終わった来日公演やヘザー・ミルズとの離婚騒動といった陰の面も含め、ビートルズ時代から現在に至るまで、天才の人生を如実に描き出す。

日本経済新聞 2017/05/13

2017:2./ 731p 図版  
32p  
978-4-04-104319-6  
本体 ¥3,800+税



**暴力と社会秩序～制度の歴史学のために～(叢書《制度を考える》)**

ダグラス・C.ノース、ジョン・ジョセフ・ウォリス、バリー・R.ワインガスト、杉之原 真子 著

NTT出版

近代政治経済システムが成り立つ条件とは何か。世界で論争の続く大テーマに長年の研究成果を注ぎ込み、新たな地平を切り開く。

日本経済新聞 2017/05/13

2017:3./ 9p,426p  
978-4-7571-4232-9  
本体 ¥5,000+税





**シリア情勢～終わらない人道危機～(岩波新書 新赤版 1651)**

青山 弘之 著  
岩波書店

「今世紀最悪の人道危機」と言われ、幾多の難民を生み出しているシリア内戦。なぜ、かくも凄惨な事態が生じたのか。混乱発生以降のシリア国内外の動きを具体的に、網羅的に記述し、複雑な中東の地政学を読み解く。

2017:3./ 13p,169p,15p  
978-4-00-431651-0

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2017/05/13



**正しいコピーのすすめ～模倣、創造、著作権と私たち～(岩波ジュニア新書 849)**

宮武 久佳 著  
岩波書店

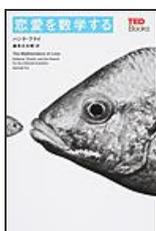
ネットで調べ、ワープロやスマホで文章を書く時代にはルール上、「許されるコピー」と「許されないコピー」がある。コピーやコピーがあふれる社会と著作権について、基本的な部分を平易に説明する。

2017:3./ 14p,186p,3p  
978-4-00-500849-0

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2017/05/13



**恋愛を数学する(TED ブックス)**

ハンナ・フライ 著  
朝日出版社

恋愛を数学で解き明かす! 恋人の見つけ方から、オンラインデートの戦略、結婚の決めどき、離婚を避ける技術まで、人類史上もっともミステリアスな対象=LOVEに、統計学やゲーム理論といった数理モデルを武器にして挑む。

2017:2./ 223p

978-4-255-00985-8

本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2017/05/13



**2025年日本の農業ビジネス(講談社現代新書 2418)**

21世紀政策研究所 編  
講談社

農業輸出大国としての素地を整え、自由貿易の時代にふさわしい制度を作り、最新テクノロジーを駆使して生産性を高める、新しい農業ビジネスモデルを提案する。先進的な農業経営体にスポットをあてたコラムも掲載。

2017:3./ 254p

978-4-06-288418-1

本体 ¥800+税



日本経済新聞 2017/05/13



**セガ vs. 任天堂～ゲームの未来を変えた覇権戦争～<上>**

ブレイク・J.ハリス、仲 達志 著  
早川書房

弱小企業セガは、巨人・任天堂をいかにして打ち破ったのか? 個性あふれる登場人物、熾烈な駆け引き、息をもつかせぬ展開で、隆盛期のゲーム業界に集った人々の栄光と挫折を描く壮大なサーガ。

2017:3./ 398p

978-4-15-209677-7

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2017/05/13



**セガ vs. 任天堂～ゲームの未来を変えた覇権戦争～<下>**

ブレイク・J.ハリス、仲 達志 著  
早川書房

絶対王者・任天堂からシェアをもぎ取ったセガは、なぜ転落していったのか? 個性あふれる登場人物、熾烈な駆け引き、息をもつかせぬ展開で、隆盛期のゲーム業界に集った人々の栄光と挫折を描く壮大なサーガ。

2017:3./ 442p

978-4-15-209678-4

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2017/05/13



### ラップは何を映しているのか～「日本語ラップ」から「トランプ後の世界」まで～

大和田 俊之、磯部 涼、吉田 雅史 著

毎日新聞出版

アメリカ事情に精通する大和田俊之、長年ラップの現場に身を置く磯部涼、批評家とラッパー/ビートメーカーを往復する吉田雅史。3人の識者が、日米のラップの変遷を語りつくす、画期的ラップ・ミュージック概論。

2017:3./ 237p

978-4-620-32441-8

本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2017/05/13



### フランクル『夜と霧』への旅(朝日文庫 か 63-1)

河原 理子 著

朝日新聞出版

一心理学者の強制収容所体験の記録「夜と霧」は、日本でどのように読み継がれてきたのか。フランクルの数々の著作が東日本大震災後、さらに広く読まれているのは何故か。生きる意味を訴える思想の深奥を追うノンフィクション。

2017:4./ 303p,22p

978-4-02-261898-6

本体 ¥800+税



日本経済新聞 2017/05/13



### ヒーローズ～ベルリン時代のデヴィッド・ボウイ～(eleking books)

トビアス・ルター、沼崎 敦子 著

Pヴァイン

LA ハリウッド地獄から生還したデヴィッド・ボウイはなぜベルリンに向かったのか。謎に包まれたドイツ時代を描き、名曲「ヒーローズ」が生まれた背景を詳述する。

2017:3./ 303p

978-4-907276-76-8

本体 ¥3,500+税



日本経済新聞 2017/05/13



### 舞台をまわす、舞台がまわる～山崎正和オールラウンドストーリー～

山崎 正和、牧原 出 編

山崎 正和 著

中央公論新社

満洲における終戦体験、多彩な劇作・評論活動の展開、そして政治との関わり。ロングインタビューの記録によって、日本を代表する知識人・山崎正和の歩んだ道と戦後史の一断面を明らかにする。

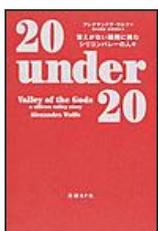
2017:3./ 363p

978-4-12-004883-8

本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2017/05/13



### 20 under 20～答えがない難問に挑むシリコンバレーの人々～

アレクサンドラ・ウルフ、滑川 海彦、高橋 信夫 著

日経BP社

シリコンバレーのカリスマ、ピーター・ティールの超難関の起業家養成プログラム「20 under 20」。参加した20歳未満の天才起業家たちは、いかに世界を変えるのか。彼らの栄光と挫折の日々を描くノンフィクション。

2017:4./ 321p

978-4-8222-5512-1

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2017/05/13



### 月の満ち欠け

佐藤 正午 著

岩波書店

自分が命を落とすようなことがあったら、もういちど生まれ変わる。この娘が、いまは亡き我が子？ いまは亡き妻？ いまは亡き恋人？ そうでないなら、はたしてこの子は何者なのか。さまよえる魂と数奇なる愛の物語。

2017:4./ 322p

978-4-00-001408-3

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/05/13、産経新聞 2017/05/20、東京・中日新聞 2017/05/21



### 財政と民主主義～ポピュリズムは債務危機への道か～

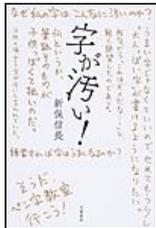
加藤 創太、小林 慶一郎 著  
日本経済新聞出版社

日本はもとより、いま、多くの先進民主主義国が財政赤字問題に苦しんでいる。国内外の研究成果や歴史的経験を踏まえつつ、執筆者それぞれが政策実務の現場で得た知見を生かして分析を行い、具体的な対応策を提示する。

2017:3./ 311p  
978-4-532-35693-4  
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2017/05/13、朝日新聞 2017/05/14



### 字が汚い!

新保 信長 著  
文藝春秋

自分の字の汚さに愕然とした著者が、ペン字練習帳に挑戦し、作家の書き文字を検証。悪戦苦闘の日々が始まった。「汚い字」を徹底研究し、どうすれば字がうまくなるのかを考える。『季刊レポ』連載をもとに単行本化。

2017:4./ 220p  
978-4-16-390631-7  
本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2017/05/13、読売新聞 2017/05/14



### 三内丸山は語る～縄文社会の再検証～

久慈 力 著  
新泉社

衣食住の獲得、男女間の営みが基本となる自治社会、とりわけ、生殖、子育て、台所仕事、食事、農作業、手仕事に価値をおく社会であった三内丸山遺跡。これを自然共生の視点から解説し、縄文文化について明らかにする。

2000:3./ 206p  
978-4-7877-0000-1  
本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2017/05/20



### おいしい野菜作り 80種～無農薬・有機栽培で育てる～

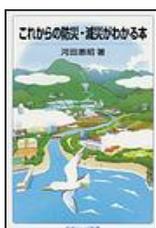
新井 敏夫、主婦の友社 著  
主婦の友社

ここが違う!無農薬&有機野菜、無農薬・有機野菜の基本作業、トマトやイチゴなど、無農薬・有機野菜 80種の育て方を解説。巻末付録の野菜づくり用語集、種苗の入手先リストも充実。

2001:3./ 239p  
978-4-07-228938-9  
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2017/05/20



### これからの防災・減災がわかる本(岩波ジュニア新書)

河田 恵昭 著  
岩波書店

いつどこで災害に遭っても、命と財産を守る「減災」社会に変えていくにはどうしたらよいか?災害のメカニズムを知り、適切な危機管理能力を身につけ、自分で考えて行動できるようになるための本。

2008:8./ 230p  
978-4-00-500603-8  
本体 ¥840+税



日本経済新聞 2017/05/20



### 前川春雄「奴雁」の哲学～世界危機に克った日銀総裁～

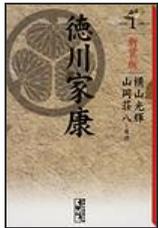
浪川 攻 著  
東洋経済新報社

前川春雄は 1979～84 年の日銀総裁。その人物像をドラマチックに描き出しながら、国際化へ向かって内外の変動に直面した、70～80 年代の日本経済を振り返る。

2008:11./ 226p  
978-4-492-39504-2  
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/05/20



**徳川家康<1> 新装版(講談社漫画文庫)**

横山 光輝、山岡 荘八 著

講談社

忍従と権謀術数に生き抜いた家康、開巻!今川・織田、二つの強国に挟まれた松平・水野両家の命運は?水野家から 14 歳の於大が松平広忠に嫁ぐという政略、又、離別も政略。ただ竹千代の成長のみが.....

日本経済新聞 2017/05/20

2010:1./ 622p

978-4-06-370718-2

本体 ¥1,000+税



\* 9 7 8 4 0 6 3 7 0 7 1 8 2 \*



**小説日本銀行(角川文庫)**

城山 三郎 著

角川書店

日本経済新聞 2017/05/20

1981:1./ 576p

978-4-04-131001-4

本体 ¥667+税



\* 9 7 8 4 0 4 1 3 1 0 0 1 4 \*



**1995年1月・神戸〜「阪神大震災」下の精神科医たち〜**

中井久夫 著

みすず書房

1.17 から 1 ヶ月、被災地では何が起ったのか。精神科医ら 39 人が綴る内側からのドキュメント。

日本経済新聞 2017/05/20

1995:3./ 263p

978-4-622-03797-2

本体 ¥1,500+税



\* 9 7 8 4 6 2 2 0 3 7 9 7 2 \*



**オリーブ・キタリッジの生活(ハヤカワ epi 文庫 70)**

エリザベス・ストラウト 著

早川書房

傍若無人な数学教師オリーブが、一見静かな町に生きる人々の心を、ときには激しく、ときにはひそやかに揺りうごかしていく...。小さな港町の住人がかかえる後悔、苦しみ、喜び、希望。かけがえのない人生を静かな筆致で描く。

日本経済新聞 2017/05/20

2012:10./ 460p

978-4-15-120070-0

本体 ¥940+税



\* 9 7 8 4 1 5 1 2 0 0 7 0 0 \*



**謎の独立国家ソマリランド〜そして海賊国家プントランドと戦国南部ソマリア〜**

高野 秀行 著

本の雑誌社

内戦が続き、無数の武装勢力が跋扈するソマリア。その中に、独自に武装解除した独立国ソマリランドがあった。世界一危険なエリアに飛び込んだ著者が、ソマリランドの真実を伝える。『WEB 本の雑誌』掲載をもとに単行本化。

日本経済新聞 2017/05/20

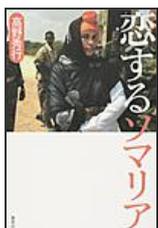
2013:2./ 509p

978-4-86011-238-7

本体 ¥2,200+税



\* 9 7 8 4 8 6 0 1 1 2 3 8 7 \*



**恋するソマリア**

高野 秀行 著

集英社

アフリカ大陸東端に広がるソマリア。残酷な戦場と平和な民主国家が隣り合う不思議な世界に惹かれた著者が、あらゆる現場に飛び込む! 片想いが暴走する境界リアルストーリー。『小説すばる』連載に加筆・修正して単行本化。

日本経済新聞 2017/05/20

2015:1./ 306p

978-4-08-771584-2

本体 ¥1,600+税



\* 9 7 8 4 0 8 7 7 1 5 8 4 2 \*



**2050年の世界～英『エコノミスト』誌は予測する～(文春文庫 エ9-1)**

英『エコノミスト』編集部 著

文藝春秋

世界のグローバルエリートの新常識!バブルは再来するのか、エイズは克服できるのか、SNSの爆発的な発展の行方は.....あの「エコノミスト」誌が人類の未来を大胆予測!

日本経済新聞 2017/05/20

2015:3./ 483p

978-4-16-790310-7

本体 ¥950+税



\* 9 7 8 4 1 6 7 9 0 3 1 0 7 \*



**リーダーの生き方と教師力～思いやりと愛情を形に～**

帆足 文宏、佐久間 裕之 著

悠雲舎

人間の生き方の基礎・基本を自身の体験をもとに綴るほか、各界トップの哲学、教師の力を出す基礎・基本のポイントとなる指導アイデアを紹介。リーダーの生き方と指導の視点を見つけられる、教師のための書。

日本経済新聞 2017/05/20

2015:2./ 183p

978-4-904192-57-3

本体 ¥1,400+税



\* 9 7 8 4 9 0 4 1 9 2 5 7 3 \*



**真説経済・金融の仕組み～最近の政策論議、ここがオカシイ～**

横山 昭雄 著

日本評論社

リフレ政策を支えている通説に対し、GDP やお金とは何か、から丁寧に解説しつつ、「正しい」金融のメカニズムを提示する。

日本経済新聞 2017/05/20

2015:9./ 11p,277p

978-4-535-55839-7

本体 ¥1,800+税



\* 9 7 8 4 5 3 5 5 8 3 9 7 \*



**資本主義、社会主義、民主主義<1>(NIKKEI BP CLASSICS)**

ヨーゼフ・シュンペーター 著

日経BP社

「民主主義とは何か?」という根本問題を提起し、古典的民主主義から現代の民主主義、社会主義との関係を考察した示唆に富む書。1 は、第 1 部「マルクス主義」?第 3 部「社会主義は機能するか」を収録。

日本経済新聞 2017/05/20

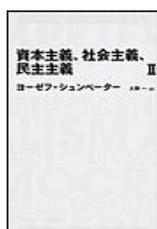
2016:7./ 511p

978-4-8222-5159-8

本体 ¥2,600+税



\* 9 7 8 4 8 2 2 2 5 1 5 9 8 \*



**資本主義、社会主義、民主主義<2>(NIKKEI BP CLASSICS)**

ヨーゼフ・シュンペーター 著

日経BP社

「民主主義とは何か?」という根本問題を提起し、古典的民主主義から現代の民主主義、社会主義との関係を考察した示唆に富む書。2 は、第 4 部「社会主義と民主主義」、第 5 部「社会主義政党の略史」を収録。

日本経済新聞 2017/05/20

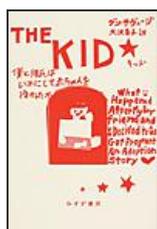
2016:7./ 384p

978-4-8222-5160-4

本体 ¥2,400+税



\* 9 7 8 4 8 2 2 2 5 1 6 0 4 \*



**キッド～僕と彼氏はいかにして赤ちゃんを授かったか～**

ダン・サヴェージ 著

みすず書房

何が人を親にし、人々を家族にするんだろう? ゲイのカップル・ダンとテリーが、養子縁組によって子どもを迎えるまでの一喜一憂の道のりを、機知とユーモアたっぷりに等身大で綴った痛快ノンフィクション。

日本経済新聞 2017/05/20

2016:8./ 398p

978-4-622-08513-3

本体 ¥3,200+税



\* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 5 1 3 3 \*



**沿線格差～首都圏鉄道路線の知られざる通信簿～(SB新書 354)**

首都圏鉄道路線研究会 著  
SBクリエイティブ

ブランドタウン充実路線から、酒盛り列車と呼ばれる路線まで、首都圏の各沿線の個性を徹底分析。主要路線の通信簿、テーマ別沿線ランキング、沿線イメージのウソと真実、同一沿線内の駅力格差などをくわしく解説する。

2016:8./ 237p  
978-4-7973-8865-7  
本体 ¥820+税



日本経済新聞 2017/05/20



**騎士団長殺し<第1部> 顕れるアイデア編**

村上 春樹 著  
新潮社

私は狭い谷間の入り口近くの、山の上に住んでいた。夏には谷の奥の方でひっきりなしに雨が降ったが、谷の外側はだいたい晴れていた。それは孤独で静謐な日々であるはずだった。騎士団長が顕れるまでは...

2017:2./ 507p  
978-4-10-353432-7  
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2017/05/20



**騎士団長殺し<第2部> 遷ろうメタファー編**

村上 春樹 著  
新潮社

騎士団長がもう二週間近く私の前に姿を見せていないことも、とくに気にはしなかった。そしてやがて次の日曜日がやってきた。きれいに晴れ上がった、慌ただしい日曜日が...

2017:2./ 541p  
978-4-10-353433-4  
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2017/05/20



**特攻隊映画の系譜学～敗戦日本の哀悼劇～(戦争の経験を問う)**

中村 秀之 著  
岩波書店

戦中からすでに儀礼的な表象として構築され流通していた特攻隊。特攻隊をめぐる戦後の表象が、戦中の変奏的反復であることを、戦時下の劇映画から「永遠の0」にいたるまでの特攻隊映画の変遷を通して解き明かす。

2017:3./ 9p,306p,6p  
978-4-00-028381-6  
本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2017/05/20



**人間の安全保障と平和構築**

東 大作 著  
日本評論社

紛争の絶えない世界に、平和をどうやってもたらすのか。国際社会に何ができるのか。学界、実務、国際機関の第一人者が論じる。

2017:3./ 15p,284p  
978-4-535-58700-7  
本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2017/05/20



**戦後歌舞伎の精神史**

渡辺 保 著  
講談社

歌舞伎とはなにか? 真の古典劇として成立させた二代目吉右衛門の現代性とは? 「女形不要論」の嵐から、勘三郎、三津五郎、そして海老蔵まで、歌舞伎の真髓を描き、戦後日本文化の「精神史」を問う。

2017:3./ 315p  
978-4-06-220487-3  
本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2017/05/20



### 2050年の技術～英『エコノミスト』誌は予測する～

英『エコノミスト』編集部 著

文藝春秋

人工知能(AI)、バイオ、農業、医療、エネルギー、軍事、仮想現実(VR)、拡張現実など 20 の分野を取り上げ、「2050年のテクノロジー」とそれが経済・社会・人間の幸福に与える変化を予測する。

日本経済新聞 2017/05/20

2017:4./ 380p

978-4-16-390640-9

本体 ¥1,700+税



\* 9 7 8 4 1 6 3 9 0 6 4 0 9 \*



### サボる政治～惰性が日本をダメにする～

坂本 英二 著

日本経済新聞出版社

首相や閣僚を 2 カ月拘束して何も変えない予算審議。憲法を空洞化させる護憲派…。日本には国益を損なう制度が根雪のように残っている。経験豊富な記者が、政治が手をつけられない問題の数々を追及し、解決の糸口を具体的に示す。

日本経済新聞 2017/05/20

2017:3./ 255p

978-4-532-17616-7

本体 ¥1,600+税



\* 9 7 8 4 5 3 2 1 7 6 1 6 7 \*



### 駅格差～首都圏鉄道駅の知られざる通信簿～(SB新書 392)

首都圏鉄道路線研究会 著

SBクリエイティブ

首都圏鉄道駅のテーマ別ランキング、首都圏主要駅のレイヤー別通信簿、住みやすさでみた駅格差…。「駅のコスパ」を徹底分析。三浦展インタビュー「格差社会と「街」、そして「駅」も収録。「沿線格差」の続編。

日本経済新聞 2017/05/20

2017:5./ 253p

978-4-7973-9022-3

本体 ¥820+税



\* 9 7 8 4 7 9 7 3 9 0 2 2 3 \*



### 誓います～結婚できない僕と彼氏が学んだ結婚の意味～

ダン・サヴェージ 著

みすず書房

現代の結婚に意味はない？ 人生の墓場？ 同性カップル・ダンとテリーが、現代に結婚する理由を純粋に考えるノンフィクション。「キッド 僕と彼氏はいかにして赤ちゃんを授かったか」の続編。

日本経済新聞 2017/05/20

2017:4./ 333p

978-4-622-08596-6

本体 ¥3,000+税



\* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 5 9 6 6 \*



### 中国・アジア外交秘話～あるチャイナハンドの回想～

谷野 作太郎 著

東洋経済新報社

日中国交正常化から天皇訪中、河野談話や村山談話の作成まで、アジア外交に深く関わった元駐中大使が語る歴史の舞台裏。

日本経済新聞 2017/05/20

2017:4./ 346p

978-4-492-44442-9

本体 ¥2,400+税



\* 9 7 8 4 4 9 2 4 4 4 4 2 9 \*



### 村上春樹「騎士団長殺し」メッタ斬り!

À 森 望、豊崎 由美 著

河出書房新社

『騎士団長殺し』は、あの章にすべての謎が...? 『1Q84』他、村上春樹のこの 10 年の作品を名物コンビがメッタ斬り!!

日本経済新聞 2017/05/20

2017:4./ 212p

978-4-309-02567-4

本体 ¥740+税



\* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 5 6 7 4 \*



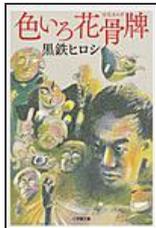
### 北海タイムス物語

増田 俊也 著  
新潮社

歴史ある北海道の新聞社。破格の低賃金、驚異の超過労働、超個性的な同僚。しかし、会社存続の危機に、ヤル気ゼロだった野々村が立ちあがる! 「七帝柔道記」に続く熱血青春小説。『小説新潮』連載を加筆改稿して単行本化。

日本経済新聞 2017/05/20

2017:4./ 429p  
978-4-10-330073-1  
本体 ¥1,700+税



### 色いろ花骨牌(小学館文庫 く12-1)

黒鉄 ヒロシ 著  
小学館

吉行淳之介、阿佐田哲也、柴田錬三郎、そして芦田伸介から尾上辰之助まで、今は亡き懐かしい魅力溢れる人々。「遊び」を通じて知り合った個性的芸術家たちとの交流を生き生きと描いた超面白エッセイ集。

日本経済新聞 2017/05/20

2017:5./ 267p  
978-4-09-406158-1  
本体 ¥600+税



### みみずくは黄昏に飛びたつ~Haruki Murakami A Long,Long Interview~

川上 未映子、村上 春樹 著  
新潮社

「騎士団長殺し」誕生秘話、創作の極意、少年期の記憶、名声と日常、そして死後のこと…。村上春樹が、自身の最深部を鮮烈な言葉で語る。少女時代からの熱心な愛読者・川上未映子が、村上春樹のすべてを訊き尽くした記録。

日本経済新聞 2017/05/20

2017:4./ 345p  
978-4-10-353434-1  
本体 ¥1,500+税



### 台湾北部タイヤル族から見た近現代史~日本植民地時代から国民党政権時代の「白色テロ」へ~

菊池 一隆 著  
集広舎

勇猛な民族として知られる台湾原住民タイヤル族。中でも指導的立場にあり、歴史の荒波に翻弄されながらも自らの尊厳を守る闘いを行ってきた北部タイヤル族に焦点を当て、彼らの視点から見た台湾の近現代史を描く。

日本経済新聞 2017/05/20

2017:3./ 346p,7p  
978-4-904213-46-9  
本体 ¥2,750+税



### 私の名前はルーシー・パートン

エリザベス・ストラウト、小川 高義 著  
早川書房

予想外の長期入院をすることになった 30 代の作家。夫や幼い娘たちと離れ、孤独に苦しむ彼女のもとを、疎遠だった母が訪れる。そして 2 人はぼつぼつと言葉を交わしはじめ…。日常にひそむ様々な感情を繊細に描く。

日本経済新聞 2017/05/20

2017:5./ 198p  
978-4-15-209681-4  
本体 ¥1,800+税



### 定年後~50歳からの生き方、終わり方~(中公新書 2431)

楠木 新 著  
中央公論新社

第二の人生をどう充実させたらよいか。シニア社員、定年退職者、地域で活動する人々への取材を通じ、定年後に待ち受ける「現実」を明らかにし、真に豊かに生きるためのヒントを提示する。

日本経済新聞 2017/05/20、朝日新聞 2017/05/21

2017:4./ 11p,221p  
978-4-12-102431-2  
本体 ¥780+税





**現金の呪い～紙幣をいつ廃止するか?～**

ケネス・S.ロゴフ、村井 章子 著  
日経BP社

脱税・犯罪・地下経済を支える高額紙幣など、先進国の経済が<紙幣離れ>すべき理由を、さまざまな角度から説得力のあるデータとともに解き明かし、「レスキャッシュ(現金の少ない)社会」を提言する。

2017:4./ 448p  
978-4-8222-5507-7  
本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2017/05/20、読売新聞 2017/05/21



**ガープの世界<上巻>(新潮文庫)**

ジョン・アーヴィング 著  
新潮社

巧みなストーリーテリングで、暴力と死に満ちた世界をコミカルに描く、現代アメリカ文学の旗手 J・アーヴィングの自伝的長編。

1988:10./ 446p  
978-4-10-227301-2  
本体 ¥710+税



日本経済新聞 2017/05/27



**ガープの世界<下巻>(新潮文庫)**

ジョン・アーヴィング 著  
新潮社

巧みなストーリーテリングで、暴力と死に満ちた世界をコミカルに描く、現代アメリカ文学の旗手 J・アーヴィングの自伝的長編。

1988:10./ 489p  
978-4-10-227302-9  
本体 ¥750+税



日本経済新聞 2017/05/27



**マーケットデザイン～最先端の実用的な経済学～(ちくま新書 1032)**

坂井 豊貴 著  
筑摩書房

780 億ドルの収益をあげた周波数オークション、腎臓ドナーの交換プログラムによる人命救済、学校選択マッチングによる希望校への進学など、マーケットデザインの実用例をあげ、その理論をやさしく解説する。

2013:9./ 232p  
978-4-480-06734-0  
本体 ¥780+税



日本経済新聞 2017/05/27



**敗者の日本史<9> 長篠合戦と武田勝頼**

平山 優 著  
吉川弘文館

“負”からこそ見える歴史がある! 古代から近代まで、必然だけでは語れない敗者の実像に迫る。9 は、鉄砲と騎馬の対立軸で語られてきた長篠合戦を捉え直し、暗愚の将とされてきた武田勝頼の実像に迫る。

2014:2./ 9p,295p,4p  
978-4-642-06455-2  
本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2017/05/27



**検証長篠合戦(歴史文化ライブラリー 382)**

平山 優 著  
吉川弘文館

今一度の史料批判、鉄砲玉化学分析などの新成果を加味。両軍の鉄砲装備、兵農分離軍隊の実態など、合戦の諸問題を徹底的に検証する。

2014:8./ 5p,247p  
978-4-642-05782-0  
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2017/05/27



**多敵決を疑う～社会的選択理論とは何か～(岩波新書 新赤版 1541)**

坂井 豊貴 著  
岩波書店

選挙制度の欠陥と綻びが露呈する現在の日本。多数決は本当に国民の意思を反映しているのか？ 社会的選択理論の視点から、人びとの意思をよりよく集約できる選び方のルールをさぐる。

2015:4./ 12p,180p  
978-4-00-431541-4

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2017/05/27



**21世紀の「中華」～習近平中国と東アジア～**

川島 真 著  
中央公論新社

尖閣、歴史認識、AIIB、南シナ海情勢…。中国はなぜ脅威なのか。日本はどう対峙すべきか。「問題としての中国」を識るための、中国外交史の第一人者による現代中国時論集。

2016:11./ 350p

978-4-12-004906-4

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2017/05/27



**武田氏滅亡(角川選書 580)**

平山 優 著  
KADOKAWA

戦国の雄・武田氏はなぜ亡国へと追い込まれたのか。武田信玄の後継者・勝頼個人の資質に原因を求める見方は正しいのか。史料博捜と研究から、勝頼の成果と蹉跌を徹底検証する。『歴史読本』や WEB 掲載をもとに単行本化。

2017:2./ 751p

978-4-04-703588-1

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2017/05/27



**不平等を考える～政治理論入門～(ちくま新書 1241)**

齋藤 純一 著  
筑摩書房

格差の拡大が社会に深刻な分断をもたらしている。不平等の問題を克服するため、いかに制度を構想すべきか。いまを考える政治哲学入門。

2017:3./ 284p

978-4-480-06949-8

本体 ¥880+税



日本経済新聞 2017/05/27



**遠縁の女**

青山 文平 著  
文藝春秋

五年の武者修行から国に戻った男が直面した驚愕の現実と、幼馴染の女の仕掛けてきた罠。直木賞受賞作に続く、鮮やかな世界。

2017:4./ 268p

978-4-16-390622-5

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2017/05/27



**中国のフロンティア～揺れ動く境界から考える～(岩波新書 新赤版 1652)**

川島 真 著  
岩波書店

活動をグローバルに拡大させている中国。その存在が浸透する最前線では何が起きているか。アフリカ、東南アジア、金門島などを訪ね歩いた研究者が、現地を目線で「ふくらむ中国」を見つめ直す。『UP』連載等を加筆修正。

2017:3./ 6p,224p

978-4-00-431652-7

本体 ¥820+税



日本経済新聞 2017/05/27



### 英語で読む百人一首(文春文庫 編 4-5)

文藝春秋

日本人なら誰もが親しんできた百人一首の和歌を美しい英語に。英語を知りたい人にも日本の美をもっと知りたい人にも最適の一冊。

日本経済新聞 2017/05/27

2017:4./ 269p

978-4-16-790841-6

本体 ¥740+税



### 国際標準の考え方〜グローバル時代への新しい指針〜

田中 正躬 著

東京大学出版会

ISO9000、ピクトグラム…。私たちの身の回りにあふれる国際標準。世界市場で生き残るための企業戦略とは？ 持続的発展のための国際標準づくりとは？ 元 ISO 会長が、東京大学等での講義をベースに徹底解説する。

日本経済新聞 2017/05/27

2017:3./ 8p,268p,4p

978-4-13-063815-9

本体 ¥2,800+税



### セルフビルドの世界〜家やまちは自分で作る〜(ちくま文庫 い33-2)

筑摩書房

完全に自分で建てたような船の上の家から、低予算で手作り感覚で作られた家まで。貝殻製公園、アウトサイダーアートの「秘密の家」なども。カラー満載。解説 渡邊大志

日本経済新聞 2017/05/27

2017:4./ 282p

978-4-480-43440-1

本体 ¥1,400+税



### 入門オークション〜市場をデザインする経済学〜

ティモシー・P.ハバード、ハリー・J.パーシュ、安田 洋祐、山形 浩生 著

NTT出版

最先端の実用的な経済学と言われる「マーケット・デザイン」を代表する分野「オークション」のコンパクトで明解な入門書。ネットオークションから政府調達まで、現代経済を動かすメカニズムを解説する。用語集も収録。

日本経済新聞 2017/05/27

2017:4./ 5p,280p

978-4-7571-2361-8

本体 ¥2,400+税



### マイクロ経済学入門の入門(岩波新書 新赤版 1657)

坂井 豊貴 著

岩波書店

無差別曲線や限界費用などの基本から、標準的な均衡理論、IT サービスの理解に欠かせないネットワーク外部性まで、マイクロ経済を数式でなく、コンパクトな図でわかりやすく解説する。関連テーマの読書案内も収録。

日本経済新聞 2017/05/27

2017:4./ 10p,149p,3p

978-4-00-431657-2

本体 ¥740+税



### 我らがパラダイス

林 真理子 著

毎日新聞出版

毎日新聞連載時から大反響。『下流の宴』から 7 年、林真理子が「介護」という国民の大問題に挑む唯一無二の長編小説、堂々刊行!

日本経済新聞 2017/05/27

2017:3./ 455p

978-4-620-10826-1

本体 ¥1,800+税





**最強のシンプル思考～最高の結果を出すためのたった一つのルール～**

ケン・シーガル 著

日経BP社

「シンプル」はビジネスにとって最強の武器になる! ファッション、自動車、エンターテインメント、テクノロジーの各分野からシンプル化に関する洞察を紹介。組織から複雑さを退けるビジネス戦略が学べる。

2017:3./ 412p

978-4-8222-5505-3

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2017/05/27



**キッチンハイク!～突撃!世界の晩ごはん～**

山本 雅也 著

集英社

見知らぬお宅を訪ね、ごはんを食べる世界一周の旅。「キッチンのヒッチハイク」から見たものは?家庭料理を作る人と食べる人をつなぐ Web サービス「KitchenHike」代表が見つづる、世界食卓探訪交遊録。

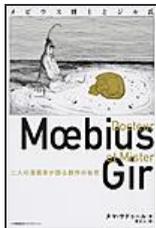
2017:4./ 237p

978-4-08-781626-6

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2017/05/27



**メビウス博士とジル氏～二人の漫画家が語る創作の秘密～(ShoPro Books)**

メビウス、ヌマ・サドゥール、原 正人 著

小学館集英社プロダクション

フランスの伝説的漫画家メビウスことジャン・ジローのインタビュー集。作風によりふたつの名前を使い分けてきたメビウス/ジルが、自身の半生と創作の裏側を語る。メビウスゆかりの著名人による寄稿文・インタビューも収録。

2017:3./ 509p

978-4-7968-7660-5

本体 ¥4,000+税



日本経済新聞 2017/05/27



**お笑い芸人の言語学～テレビから読み解く「ことば」の空間～**

吉村 誠 著

ナカニシヤ出版

たけしやさんま、紳助らが引き起こした言語革命の詳細と「漫オブーム」の真相に、「M-1 グランプリ」創設プロデューサーが迫る。

2017:4./ 10p,232p

978-4-7795-1171-4

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2017/05/27



**ジャズの証言(新潮新書 718)**

山下 洋輔、相倉 久人 著

新潮社

名コンビによる、幻の「超ジャズ論」! 時代、青春、人生、音楽——演奏家と批評家として、終生無二の友として、日本のジャズ界を牽引してきた二人による、白熱の未公開トーク・セッション!!

2017:5./ 218p

978-4-10-610718-4

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2017/05/27



**ウメサオタダオが語る、梅棹忠夫～アーカイブズの山を登る～(叢書・知を究める 11)**

小長谷 有紀 著

ミネルヴァ書房

資料が語る知的巨星の実相、先覚的な業績と驚くべき発想の原点とは何か。「ウメサオタダオ展」の実行委員長を務めた著者が、梅棹忠夫が残した膨大な資料を探索し、その人生をたどる。梅棹忠夫年譜も収録。『究』連載に加筆。

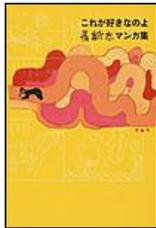
2017:4./ 4p,271p,7p

978-4-623-08008-3

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2017/05/27



**これが好きなのよ 長新太マンガ集**

長 新太 著  
叢書

唯一無二のナンセンス絵本作家・長新太のアナザーワーク、“マンガ家”としての魅力をギュッとつめこんだ作品集。『話の特集』連載から単行本未収録作品までを厳選して掲載する。

2016:11./ 335p  
978-4-7505-1488-8  
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/05/06



**誰かが見ている**

宮西 真冬 著  
講談社

ブログに虚偽の「幸せな育児生活」を書く主婦、年下の夫とのセックスレスに悩むアパレル店店主、ストレスで過食に走る保育士、円満な家庭を築いているように見える主婦…。女性4人が繰り広げる極限のサスペンス。

2017:4./ 270p  
978-4-06-220470-5  
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/05/06



**BUTTER**

柚木 麻子 著  
新潮社

結婚詐欺の末、男性3人を殺害したとされる容疑者・梶井真奈子。30代の女性記者・里佳は梶井への取材を重ねるうち、欲望と快楽に忠実な彼女の言動に翻弄されるようになっていく…。『小説新潮』連載を加筆・修正。

2017:4./ 460p  
978-4-10-335532-8  
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/05/06



**うわさのズッコケ株式会社(ポプラ社文庫)**

那須 正幹、前川 かずお 著  
ポプラ社

毎日新聞 2017/05/07

1994:10./ 222p  
978-4-591-02875-9  
本体 ¥600+税



**ファウスト<1> 改版(新潮文庫)**

ゲーテ 著  
新潮社

男は悪魔と魂の契約を結んだ。誰より人間らしく生きるために。24歳で起稿、82歳で完成。世界に激震を走らせた名作。

毎日新聞 2017/05/07

2010:2./ 381p  
978-4-10-201503-2  
本体 ¥552+税



**闇の歴史～サバトの解説～**

カルロ・ギンズブルグ 著  
せりか書房

毎日新聞 2017/05/07

1992:11./ 513p  
978-4-7967-0172-3  
本体 ¥4,300+税



**魔女狩りの社会史～ヨーロッパの内なる悪霊～(岩波モダンクラシックス)**

ノーマン・コーン 著

岩波書店

反社会的で嫌悪すべき習慣にふけっている秘められた社会が存在する。この最初の妄想が、ヨーロッパで大規模な魔女狩りへとつながっていく。魔女狩りの歴史を追跡し、異端分子の捏造と排除の社会力学を描く。83年刊の再刊。

1999:9./ 428p

978-4-00-026410-5

本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2017/05/07

**魔女と聖女～中近世ヨーロッパの光と影～ 増補(ちくま学芸文庫 イ23-3)**

池上 俊一 著

筑摩書房

魔女狩りの嵐が吹き荒れた中世、美德と超自然的力により崇められる聖女も同時に急増する。両極の女性像が噴出した西洋中世とは何なのか?謎に迫る。

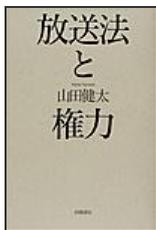
2015:6./ 280p

978-4-480-09680-7

本体 ¥1,100+税



毎日新聞 2017/05/07

**放送法と権力**

山田 健太 著

田畑書店

巧妙にそして着実に「放送の自由」が?ぎ取られつつあるいま、放送局が果たすべき社会的使命とは何か。メディア論の第一人者が、瀬戸際の言論の自由を守り、より強靱なジャーナリズム活動を実践するための覚悟について語る。

2016:10./ 343p,4p

978-4-8038-0338-9

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2017/05/07

**日本のジャーナリズムはどう生きているか(「石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」記念講座 2016)**

八巻 和彦 著

成文堂

安保法制、沖縄、広島、ひきこもり、新国立競技場…。日本の現在を映し出す視点を論じる。「石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」受賞者らによる講義録および学生との質疑応答を収録。

2016:12./ 6p,270p

978-4-7923-3357-7

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/05/07

**トリノの奇跡～「縮小都市」の産業構造転換と再生～**

脱工業化都市研究会 著

藤原書店

自動車産業依存を脱し、スローフード振興、スモールビジネスの促進など、新たな産業都市への転換を果たした、イタリア第4の都市、トリノ。人口減少下の都市の未来像を提起する学際的論集。

2017:2./ 264p

978-4-86578-114-4

本体 ¥3,300+税



毎日新聞 2017/05/07

**ナスカイ**

梅 佳代 著

亜紀書房

福島第一原発事故の影響等から2017年3月に閉校する全寮制の中高一貫男子校、那須高原海城中学校・高等学校。「会う度に印象が変わる」10代、移りゆく季節を駆け抜ける少年達の姿を収める。キャンパスノート仕様の装丁。

2017:3./ 1冊(ページ付なし)

978-4-7505-1504-5

本体 ¥1,996+税



毎日新聞 2017/05/07



**セルバンテス全集<第2巻> ドン・キホーテ[前篇]**

ミゲル・デ・セルバンテス 著  
水声社

スペイン黄金世紀文学の巨人セルバンテスの全集。第2巻は、騎士道物語に魅せられ、<狂人>となった初老の男の<荒唐無稽な>冒険を描く「ドン・キホーテ」前篇を収録。詳細な注釈、解説付き。

2017:2./ 810p  
978-4-8010-0172-5  
本体 ¥10,000+税



毎日新聞 2017/05/07



**帝国日本の外交 1894-1922～なぜ版図は拡大したのか～**

佐々木 雄一 著  
東京大学出版会

日清戦争から第一次世界大戦後にかけて、なぜ日本の版図は拡大したのか。いかなる個人や集団が拡大を主導し、どのような動機づけが存在したのか。帝国の拡大を促進、あるいは部分的に押しとどめた諸条件を明らかにする。

2017:3./ 13p,406p,28p  
978-4-13-036260-3  
本体 ¥7,500+税



毎日新聞 2017/05/07



**アジアの思想史脈～空間思想学の試み～(近現代アジアをめぐる思想連鎖)**

山室 信一 著  
人文書院

日清・日露から、韓国併合、満洲国まで、日本を結節点として、アジアは相互に規定しあいながら近代化をすすめた。戦争の世紀に抗して芽生えた平和思想の史脈とは? アジアの思想と空間を問い直し、思想のつながりを描く。

2017:4./ 374p  
978-4-409-52065-9  
本体 ¥3,400+税



毎日新聞 2017/05/07



**アジアびとの風姿～環地方学の試み～(近現代アジアをめぐる思想連鎖)**

山室 信一 著  
人文書院

司馬遼太郎、関妃殺害事件、新聞発行、日本語教育...。日清・日露から、台湾統治、韓国併合、満洲国建国まで、深く歴史にかかわりながらも歴史の陰に埋もれた「アジアびと」の姿を描き出す。

2017:4./ 390p  
978-4-409-52066-6  
本体 ¥3,400+税



毎日新聞 2017/05/07



**セルバンテス全集<第3巻> ドン・キホーテ[後篇]**

ミゲル・デ・セルバンテス 著  
水声社

スペイン黄金世紀文学の巨人セルバンテスの全集。第3巻は、出版された「ドン・キホーテ」前篇を登場人物たちが読み、主従を周到に愚弄する、前代未聞のメタ・フィクション「ドン・キホーテ」後篇を収録。詳細な注釈付き。

2017:3./ 829p  
978-4-8010-0173-2  
本体 ¥10,000+税



毎日新聞 2017/05/07



**歌舞伎メモランダム～同時代の演劇批評～**

大矢 芳弘 著  
森話社

歌舞伎座の建て替えとともに、歌舞伎役者の世代交代が進んだ激動の時代。舞台上で脚光を浴びる彼らの活躍を通して、時に癒され、時に励まされた、平成16年から26年までの演劇の魅力と感動を記録した劇評集。

2017:4./ 491p  
978-4-86405-115-6  
本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2017/05/07



### 百年の散歩

多和田 葉子 著  
新潮社

わたしは今日もあの人を待っている、ベルリンの街を歩きながら。「カント通り」「カール・マルクス通り」など、歴史と世界が交差する都市ベルリンに実在する10の通りからなる連作長編。『新潮』掲載を書籍化。

2017:3./ 246p  
978-4-10-436105-2  
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2017/05/07、日本経済新聞 2017/05/13、読売新聞 2017/05/14



### 暗い時代の人々

森 まゆみ 著  
叢書書房

戦間期ファシズム下における戦時抵抗者たちの評伝。山本宣治や山川菊栄、竹久夢二など、自らの信念を曲げずに希望の光を灯した9人を描き出す。

2017:4./ 294p  
978-4-7505-1499-4  
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2017/05/07、日本経済新聞 2017/05/20



### データ分析の力 因果関係に迫る思考法(光文社新書 878)

伊藤 公一朗 著  
光文社

因果関係を見極めることがビジネスや政策の成功の鍵を握る理由を、様々な実例を使いながら解説。さらに、因果関係に迫る最先端のデータ分析手法について、数式を使わず、具体例とビジュアルな描写を用いて詳説する。

2017:4./ 284p  
978-4-334-03986-8  
本体 ¥780+税



毎日新聞 2017/05/07、日本経済新聞 2017/05/27



### 苦海浄土～わが水俣病～ 新装版(講談社文庫)

石牟礼 道子 著  
講談社

工場廃水の水銀が引き起こした文明の病・水俣病。この地に育った著者は、患者とその家族の苦しみを自らのものとして、壮絶かつ清冽(せいれつ)な記録を綴った。末永く読み継がれるべき「いのちの文学」の新装版。

2004:7./ 416p  
978-4-06-274815-5  
本体 ¥690+税



毎日新聞 2017/05/14



### 明け方のホルン～西部戦線と英国詩人～(大人の本棚)

草光 俊雄 著  
みすず書房

世紀末に青春期を過ごし、第一次大戦に出征したマイナー・ポエツたち。夭逝、長生を問わず、戦地で傷つき、詩行にあらわれた故郷への想い、彼らの内なる叫びを、繊細な筆致で伝える。

2006:2./ 222p  
978-4-622-08067-1  
本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2017/05/14



### イザベラ・バードの日本紀行<上>(講談社学術文庫)

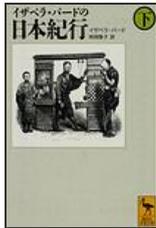
イザベラ・バード 著  
講談社

大旅行家の冷徹な目が捉えた維新直後の日本明治 11 年に行われた欧米人初の東京ー北海道間内陸踏破の記録で、随所に日本の文化・自然等への鋭い観察眼が光る。新訳により原典初版本を完訳。挿画も全点掲載。

2008:4./ 493p  
978-4-06-159871-3  
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2017/05/14



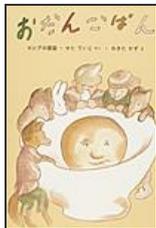
**イザベラ・バードの日本紀行<下>(講談社学術文庫)**

イザベラ・バード 著  
講談社

大旅行家の冷徹な目が捉えた維新直後の日本 北海道内を巡行しアイヌ文化にも触れたバードは、東京に戻ったのち再び海路関西へと向かい、神戸に上陸。京都、伊勢、大津等を巡り、各地で鋭い観察の目を向ける。

毎日新聞 2017/05/14

2008:6./ 416p  
978-4-06-159872-0  
本体 ¥1,280+税



**おだんごぱん~ロシアの昔話~(日本傑作絵本シリーズ)**

福音館書店

おばあさんは粉箱をごしごしひっかいて集めた粉で、おだんごぱんを焼きました。窓のところで冷やされたおだんごぱんは、ころんと転がると、いすからゆかへ、ゆかから戸口を出て、おもての通りへ逃げ出しました。ロシアの民話の絵本。

毎日新聞 2017/05/14

2008:6./ 23p  
978-4-8340-0057-3  
本体 ¥1,200+税



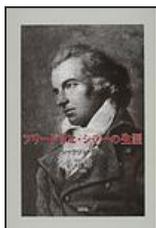
**児童文学論~瀬田貞二子どもの本評論集~<上・下>(福音館の単行本)**

瀬田貞二 著  
福音館書店

『落穂ひろい』『絵本論』につづく著者の評論集第三弾。子どもの本の「今」と「これから」を考える上で必読の書です。

毎日新聞 2017/05/14

2009:5./ 2冊  
978-4-8340-3940-5  
本体 ¥10,000+税



**フリードリヒ・シラーの生涯**

ジークリト・ダム 著  
同学社

浪費家で、借金の返済と仕事の期限に追われたシラー。息子自慢の父母の人生、愛憎半ばするゲーテとの関係、生涯続いた病気の詳細など、シラーの仕事の日々、彼の歩んだ道筋をたどり、彼の過ごした歳月の風景を明らかにする。

毎日新聞 2017/05/14

2009:12./ 560p  
978-4-8102-0219-9  
本体 ¥3,600+税



**人形の家(岩波文庫 赤 750-1)**

イプセン 著  
岩波書店

「あたしは、何よりもまず人間よ」ノーラは夫にそう言いおいて家を出る。ノルウェーの戯曲家イプセンは、この愛と結婚についての物語のなかで、自分自身が何者なのかをまず確かめるのが人間の務めではないか、と問いかける。

毎日新聞 2017/05/14

1996:5./ 198p  
978-4-00-327501-6  
本体 ¥560+税



**あおい目のこねこ(世界傑作童話シリーズ)**

エゴン・マチャーセン 著  
福音館書店

青い目の元気なこねこは、ねずみのくにをみつけにでかけます。途中、さまざまな困難にあっても、前向きに進んでいくこねこは、同じく、ねずみのくにを探す黄色い目の5匹のねこたちに出会い.....

毎日新聞 2017/05/14

1965:4./ 112p  
978-4-8340-0040-5  
本体 ¥1,200+税





**よあけ(世界傑作絵本シリーズ)**

ユリー・シュルヴァイツ 著

福音館書店

夜中から薄明、そして朝へ……。刻々と変わっていく夜明けのうつろいゆく風景を、やわらかな色調で描きだします。絵本をながめる人に静かな高揚感をもたらしてくれる1冊。

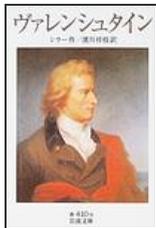
1977:6./ 32p

978-4-8340-0548-6

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2017/05/14



**ヴァレンシュタイン(岩波文庫 赤 410-9)**

シラー 著

岩波書店

30年戦争の英雄ヴァレンシュタインを主人公に、運命劇としてのギリシャ悲劇と性格劇としてのシェイクスピア劇の手法を融合せんと企てた、雄大なスケールをほころ歴史悲劇である。疾風怒濤期を脱したシラーの最大かつ最高傑作。

2003:5./ 533p

978-4-00-324109-7

本体 ¥900+税



毎日新聞 2017/05/14



**たくみと恋(岩波文庫 赤 410-0)**

シラー 著

岩波書店

若きシラーはこの戯曲の中に、奸悪な陰謀と清純な恋、我欲の醜い奴隷たる権力者と良心の勇敢な使徒である無力者—というきわどい対立をきわめて鮮やかに浮き彫りにしてみせている。

1934:6./ 180p

978-4-00-324100-4

本体 ¥500+税



毎日新聞 2017/05/14



**指輪物語<1> 新版 旅の仲間 上(1)(評論社文庫)**

J.R.R.トールキン 著

評論社

毎日新聞 2017/05/14

1992:7./ 252p

978-4-566-02362-8

本体 ¥700+税



**群盗(岩波文庫 赤 410-1)**

シラー 著

岩波書店

失われた自由を求める余り盗賊隊長となって社会に抵抗する青年カアルの心情は現代人の強い共感を呼ぶであろう。原作の精神を深く理解し最も適切な日本語に移した名訳を贈る。

1958:5./ 221p

978-4-00-324101-1

本体 ¥620+税



毎日新聞 2017/05/14



**絵本論～瀬田貞二子どもの本評論集～**

瀬田貞二 著

福音館書店

子どもたちにとって、あるべき絵本を、物語を求めつづけた著者の長年にわたる論を集大成。今、再び絵本とは何かを考える時、確かな手応えをここに見出すでしょう。子どもに関わる全ての人の必読書。

1985:11./ 570p

978-4-8340-0411-3

本体 ¥4,500+税



毎日新聞 2017/05/14

**落穂ひろい～日本の子どもの文化をめぐる人びと～<上・下>**瀬田貞二 著  
福音館書店

小さい人たちのために心を砕いた人びとの姿を、日本の歴史の薄明の中から、どこまで掘り起こすことができるか?著者がその後半生をかけて取り組んだライフワーク。

1985:3./ 2冊  
978-4-8340-3019-8  
本体 ¥17,000+税

毎日新聞 2017/05/14

**げんきなマドレーヌ(世界傑作絵本シリーズ)**ルドウィッヒ・ペーメルマンズ 著  
福音館書店

パリの寄宿学校に 12 人の女の子が暮らしていました。中でいちばんおちびさんで、いちばん元気なのがマドレーヌ。ある晩、マドレーヌがわーわー泣いています。マドレーヌは盲腸炎で入院し手術することになったのです…。

1972:11./ 46p  
978-4-8340-0362-8  
本体 ¥1,300+税

毎日新聞 2017/05/14

**ポルコさまちえばなし～スペインのたのしいお話～(岩波おはなしの本)**ロバート・デイヴィス 著  
岩波書店

昔からブタの飼育が盛んだったスペインでは、ブタがたいへん尊重されています。これは、「ポルコさま」という、けものたちの信望を集めている知恵のあるブタを主人公とした、珍しいお話。

1964:7./ 154p  
978-4-00-110308-3  
本体 ¥1,800+税

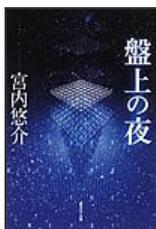
毎日新聞 2017/05/14

**フィエスコの叛乱(岩波文庫 赤 410-13)**シラー 著  
岩波書店

イタリアの独立都市ゼノアにおける共和政治の危機をめぐって、政治の陰謀と叛乱、旧い勢力と新しい勢力とのたたかいを、多彩な人物群とめまぐるしい情景のうちにみごとに華やかに描き出したもの。

1953:6./ 227p  
978-4-00-374011-8  
本体 ¥560+税

毎日新聞 2017/05/14

**盤上の夜(創元 SF 文庫 SF み 2-1)**宮内 悠介 著  
東京創元社

囲碁、チェッカー、麻雀、古代チェス、将棋…。対局の果てに、現出するものとは。ひとりのジャーナリストが物語る、盤上遊戯・卓上遊戯をめぐる 6 つの奇蹟。清新な SF 連作集。

2014:4./ 333p  
978-4-488-74701-5  
本体 ¥820+税

毎日新聞 2017/05/14

**ヨハネスブルグの天使たち(ハヤカワ文庫 JA 1200)**宮内 悠介 著  
早川書房

日本製の玩具人形を媒介に、人間の業と本質に迫り、国家・民族・宗教・戦争・言語の意味を問う連作短篇集。泥沼の内戦が続くアフリカの果てで、生き延びる道を模索する少年少女の行く末を描いた表題作など全 5 篇を収録する。

2015:8./ 287p  
978-4-15-031200-8  
本体 ¥740+税

毎日新聞 2017/05/14



### 歴史の工房～英国で学んだこと～

草光 俊雄 著  
みすず書房

「明け方のホルン」で文名を馳せたイギリス社会経済史・文化史家、草光俊雄の文集。人文主義者ピーター・バークから御木本隆三まで、歴史と人間に向かう闊達な精神の軌跡を一冊にまとめる。

2016:12./ 281p  
978-4-622-07985-9  
本体 ¥4,500+税



毎日新聞 2017/05/14



### カブールの園

宮内 悠介 著  
文藝春秋

サンフランシスコで暮らす移民三世のレイは、旅の途中にかつて日系人収容所であった博物館を訪れる。日本と世界のリアルがここに!

2017:1./ 206p  
978-4-16-390593-8  
本体 ¥1,350+税



毎日新聞 2017/05/14



### 子どもの本のよあけ～瀬田貞二伝～

荒木田 隆子 著  
福音館書店

名翻訳者・瀬田貞二は、戦後の焼け跡が残る日本で、どのように子どもの本に関わっていったのか。1970年代を振り返りながら、彼の軌跡をたどる。東京子ども図書館主催の講座をもとに書籍化。

2017:1./ 477p,24p  
978-4-8340-8315-6  
本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2017/05/14



### みどりの町をつくらう～災害をのりこえて未来をめざす～

アラン ドラモンド 著  
福音館書店

巨大な竜巻が、アメリカ・カンザス州の小さな町、グリーンズバーグを壊してしまいました。しかし、町の人々は希望を失うことなく、未来をめざし…。実話を元に描かれた、みどりの町の物語。見返しに絵あり。

2017:2./ 36p  
978-4-8340-8296-8  
本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2017/05/14



### ヴィルヘルム・テル(岩波文庫 赤 410-3)

シラー 著  
岩波書店

封建領主の圧制に堪えかねたスイスの民衆は、盟約を結んで立ち、スイスの独立を図ろうと企てた。ヴィルヘルム・テルこそは彼らの行動の中心であり、民衆の尊敬すべき英雄であった。

1957:9./ 218p  
978-4-00-324103-5  
本体 ¥660+税



毎日新聞 2017/05/14



### 無冠の男～松方弘樹伝～

松方 弘樹、伊藤 彰彦 著  
講談社

独自の役者道を駆け抜けた唯一無二の俳優、松方弘樹。病に倒れる2カ月前に行われたロングインタビューを収録し、その熱すぎる人生をたどる。出演・関連映画作品全リストも掲載。

2017:2./ 313p  
978-4-06-220544-3  
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2017/05/14



**軍が警察に勝った日～昭和八年ゴー・ストップ事件～**

山田 邦紀 著  
現代書館

大阪の交差点での信号機無視をめぐる兵士と警官の口論は、なぜ戦争へのターニングポイントになったのか？ 軍部独裁のきっかけとなった「ゴー・ストップ事件」の経過をたどり、その歴史的意味を考える。

2017:5./ 228p  
978-4-7684-5801-3  
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2017/05/14



**評伝石牟礼道子～渚に立つひと～**

米本 浩二 著  
新潮社

いかにして「苦海浄土」は書かれ得たか？ 作者・石牟礼道子の誕生から文学的彷徨、闘争の日々、創造の源泉と90年の豊饒を描き切る、初の本格的評伝。『毎日新聞』掲載に加筆し単行本化。

2017:3./ 357p,4p  
978-4-10-350821-2  
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2017/05/14



**中国政治からみた日中関係(岩波現代全書 101)**

国分 良成 著  
岩波書店

「反日」の源流は？ 日中関係はどうなる？ その決め手は中国国内政治にあり！ 日中国交正常化から現在まで、中国政治体制のありようを踏まえたうえで、対日政策との関連を、さまざまな事案と資料に基づいて明らかにする。

2017:4./ 14p,271p  
978-4-00-029201-6  
本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2017/05/14



**あとには野となれ大和撫子**

宮内 悠介 著  
KADOKAWA

かつて中央アジアに存在した海。塩の沙漠となったそこは今、アラルスタンという国だ。だが大統領が暗殺され残ったのはうら若き後宮の女子のみ。生きる場所を守るため、ナツキたちは自分たちで臨時政府を立ち上げ!?

2017:4./ 381p  
978-4-04-103379-1  
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/05/14



**春画で学ぶ江戸かな入門**

車 浮代、吉田 豊 著  
幻冬舎

書入れがわかれば春画鑑賞の楽しみ倍増！ 北斎、歌麿、國芳らの美しいカラー春画でくずし字を学べる書。しおり型の八文字呪文つき。書き込みページあり。本体は背表紙なし糸綴じ。

2017:3./ 191p  
978-4-344-03086-2  
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/05/14



**我々みんなが科学の専門家なのか?(叢書・ユニベルシタス 1055)**

ハリー・コリンズ 著  
法政大学出版局

専門家が安全と言っても不安で、リスクを説明されても納得できないのはなぜか。科学論の第一人者が、原発、気候変動、ワクチン接種など、特に日常生活に関わる論争での事例とともに、「専門知」の適切な捉え方を提言する。

2017:4./ 6p,217p,7p  
978-4-588-01055-2  
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2017/05/14



**人の心は読めるか?~本音と誤解の心理学~(ハヤカワ文庫 NF 496)**

ニコラス・エプリー 著

早川書房

相手の心を理解していると思うのは、実は大いなる勘違いかも。誤解を防いでより良い人間関係を築くための8つのステップを紹介

毎日新聞 2017/05/14

2017:5./ 342p

978-4-15-050496-0

本体 ¥860+税



**いま知っておきたい天皇と皇室~気になる動向と素朴な疑問に答える本~**

山下 晋司 著

河出書房新社

陛下の「お気持ち表明」を機に、激しい論戦が行なわれている。そもそも皇室とは何か?議論の論点は?知りたい核心にズバリ答える!

毎日新聞 2017/05/14、産経新聞 2017/05/21

2017:4./ 199p

978-4-309-02566-7

本体 ¥1,400+税



**さがしています**

アーサー・ビナード 著

童心社

ピカドンを体験した声なき「もの」たちが、さがしています。たいせつな人びとを、未来につづく道を…。広島平和記念資料館に収蔵されている 14 の「もの」がカタリべとなり、1945年8月6日に何が起こったのかを伝えます。

毎日新聞 2017/05/21

2012:7./ 32p

978-4-494-00750-9

本体 ¥1,300+税



**鳥類学者無謀にも恐竜を語る(生物ミステリー)**

川上 和人 著

技術評論社

恐竜は鳥も同然である。鳥類学者が、鳥類と恐竜の緊密な類縁関係を拠り所とし、鳥類の進化を再解釈し、恐竜の生態を復元する。鳥類学者の目から見た恐竜の姿とは?

毎日新聞 2017/05/21

2013:4./ 268p

978-4-7741-5565-4

本体 ¥1,880+税



**恐竜学入門~かたち・生態・絶滅~**

FASTOVSKY、WEISHAMPEL、真鍋 真、藤原 慎一、松本 涼子 著

東京化学同人

大昔に絶滅した鳥類を除く恐竜の素晴らしい世界を伝える入門書。恐竜の研究分野に必要な基礎的知識を紹介し、恐竜類の主要な分類群を、系統や進化、行動生態、生活様式などの観点から解説。古生物学の生物学的側面にも触れる。

毎日新聞 2017/05/21

2015:1./ 18p,396p

978-4-8079-0856-1

本体 ¥6,800+税



**アルジャーノンに花束を 新版(ハヤカワ文庫 NV 1333)**

ダニエル・ケイス 著

早川書房

幼児なみの知能しかない 32歳のチャーリーに、知能向上の手術の話が舞いこみ、白ネズミのアルジャーノンを競争相手に検査を受ける。やがて手術により天才に変貌したチャーリーだが…。著者追悼の訳者あとがきを付した新版。

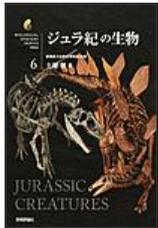
毎日新聞 2017/05/21

2015:3./ 462p

978-4-15-041333-0

本体 ¥860+税





**ジュラ紀の生物(生物ミステリーPRO 6)**

土屋 健 著  
技術評論社

魅惑的な古生物たちの世界を案内。今から約 2 億 100 万年前に始まり、約 5600 万年続いたジュラ紀を取り上げ、大型の脊椎動物を中心に、この時代の生物について、多数の写真とイラストを交えて解説する。

2015:7./ 167p  
978-4-7741-7406-8  
本体 ¥2,680+税



毎日新聞 2017/05/21



**三畳紀の生物(生物ミステリーPRO 5)**

土屋 健 著  
技術評論社

魅惑的な古生物たちの世界を案内。ペルム紀末に発生した空前絶後の大量絶滅事件をこえて、恐竜が誕生する「三畳紀」をテーマに、この時代の生物について、多数の写真とイラストを交えて解説する。

2015:6./ 155p  
978-4-7741-7405-1  
本体 ¥2,680+税



毎日新聞 2017/05/21



**白亜紀の生物<上巻>(生物ミステリーPRO 7)**

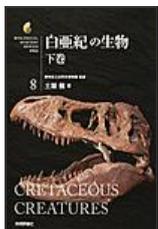
土屋 健 著  
技術評論社

魅惑的な古生物たちの世界を案内。白亜紀を取り上げ、羽毛恐竜のマイクロプトル・グイや両生類のエリオプスといったこの時代の生物について、多数の写真とイラストを交えて解説する。

2015:8./ 175p  
978-4-7741-7540-9  
本体 ¥2,680+税



毎日新聞 2017/05/21



**白亜紀の生物<下巻>(生物ミステリーPRO 8)**

土屋 健 著  
技術評論社

魅惑的な古生物たちの世界を案内。白亜紀を取り上げ、最も賢い恐竜とされるトロオドンや最強種と言われるティランノサウルスといったこの時代の生物について、多数の写真とイラストを交えて解説する。

2015:8./ 175p  
978-4-7741-7541-6  
本体 ¥2,680+税



毎日新聞 2017/05/21



**LGBTを讀みとく〜キア・スタディーズ入門〜(ちくま新書 1242)**

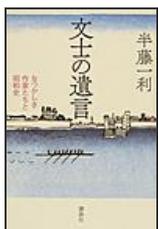
森山 至貴 著  
筑摩書房

LGBT という概念だけでは、多様な性は取りこぼされ、マイノリティに対する差別もなくなる。正確な知識を得るための教科書。

2017:3./ 237p  
978-4-480-06943-6  
本体 ¥800+税



毎日新聞 2017/05/21



**文士の遺言〜なつかしき作家たちと昭和史〜**

半藤 一利 著  
講談社

戦後を代表する作家たちは、「昭和」という時代をいかに見つめ、生き抜いたのか。彼らと接してきた著者が、大作家たちの素顔を生き生きと描きながら、その秘められた「遺言」を今に伝える、作家論・作品論的エッセイ集。

2017:3./ 250p  
978-4-06-220520-7  
本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2017/05/21



**地球はなぜ「水の惑星」なのか～水の「起源・分布・循環」から読み解く地球史～  
(ブルーボックス B-2008)**

唐戸 俊一郎 著

講談社

水はいつ、どこから地球に来たのか? 水は地球をどう循環しているのか? 水がこの惑星にどんな影響を与えてきたかという謎に、地球誕生からプレートテクトニクスまで、さまざまな角度で迫る。

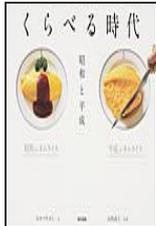
毎日新聞 2017/05/21

2017:3./ 270p  
978-4-06-502008-1

本体 ¥1,000+税



\* 9 7 8 4 0 6 5 0 2 0 0 8 1 \*



**くらべる時代～昭和と平成～**

東京書籍

「寿司」「日傘」から「ポスト」「トンネル」まで、34の昭和と平成の「変化」を取った! くらべれば時代の変化が一目瞭然! 「昭和・平成」あるあるの決定版!

毎日新聞 2017/05/21

2017:3./ 175p

978-4-487-81057-4

本体 ¥1,300+税



\* 9 7 8 4 4 8 7 8 1 0 5 7 4 \*



**内面からの報告書**

ポール・オースター、柴田 元幸 著

新潮社

初めて書いた詩。心揺さぶられた映画。父の?。元妻リディア・デイヴィスへの熱い手紙。記憶をたぐり寄せ、心の地層を掘り起こして記す、「冬の日誌」と対を成す、精神をめぐる回想録。

毎日新聞 2017/05/21

2017:3./ 307p

978-4-10-521719-8

本体 ¥2,200+税



\* 9 7 8 4 1 0 5 2 1 7 1 9 8 \*



**知らなかった、ぼくらの戦争**

アーサー・ビナード 著

小学館

「敵性語」を習い、「毒ガス島」で働き…。もと「敵国」の詩人が耳をすまし、つかみとった「生きつづける体験」。文化放送「アーサー・ビナード「探しています」」のうち、23名の戦争体験談を採録し、加筆・修正して再構成。

毎日新聞 2017/05/21

2017:3./ 255p

978-4-09-388508-9

本体 ¥1,500+税



\* 9 7 8 4 0 9 3 8 8 5 0 8 9 \*



**鶴丸メソッドメディカルファッション**

鶴丸 礼子 著

講談社エディトリアル

体の前後 46 カ所を測って原型を作図し、一人一人の障がいに合わせて丁寧に衣服を作り上げていく服飾デザイナー・鶴丸礼子。彼女が製作した服をまとった、障がいがある人たちをモデルにした写真集&作品集。

毎日新聞 2017/05/21

2017:4./ 95p

978-4-907514-81-5

本体 ¥2,400+税



\* 9 7 8 4 9 0 7 5 1 4 8 1 5 \*



**人間の経済(新潮新書 713)**

宇沢 弘文 著

新潮社

経済思想の巨人、未来へのラスト・メッセージ。富を求めるのは、道を聞くため—それが、経済学者として終生変わらない姿勢だった。人間社会の営みに不可欠な「社会的共通資本」をめぐり、縦横に語った全8話。

毎日新聞 2017/05/21

2017:4./ 189p

978-4-10-610713-9

本体 ¥720+税



\* 9 7 8 4 1 0 6 1 0 7 1 3 9 \*



**冬の日記**

ポール・オースター 著  
新潮社

幼時の大けが。性の目覚め。パリでの貧乏暮らし。暮してきた家々。妻との出会い。母の死。「人生の冬」を迎えた作家の、肉体と感覚をめぐる回想録。

毎日新聞 2017/05/21、東京・中日新聞 2017/05/28

2017:2./ 216p  
978-4-10-521718-1  
本体 ¥1,900+税



**心を操る寄生生物～感情から文化・社会まで～**

キャスリン・マコーリフ 著  
合同出版

あなたの心を微生物たちはいかに操っているのか。個人の心に大きな影響を与えるのならば、集団・社会にも少なからず作用しているのではないか。神経寄生生物学の先端科学者たちに取材、複雑精緻なからくりを迫る。

毎日新聞 2017/05/21、読売新聞 2017/05/28

2017:4./ 323p  
978-4-7726-9555-8  
本体 ¥2,300+税



**正岡子規人生のことば(岩波新書 新赤版 1660)**

復本 一郎 著  
岩波書店

病と闘いながら、短い一生で文学革新をなした正岡子規。その著作・書簡を読み解きながら、彼の人的魅力を紹介し、今を生きるヒントを見いだす。『神奈川大学評論』連載に加筆し書籍化。

毎日新聞 2017/05/22

2017:4./ 12p,197p,7p  
978-4-00-431660-2  
本体 ¥820+税



**夏の花**

河津 聖恵 著  
思潮社

世界が静かにめくれていく 何者かに?ぎ取られるのではない おのずからめぐり上がり裏返るのだ それは焼亡というより 深淵の夏の開花(「夏の花」より) 原発事故後に書き継いだ、花をモチーフとする17篇を収めた詩集。

毎日新聞 2017/05/22

2017:5./ 109p  
978-4-7837-3567-0  
本体 ¥2,300+税



**小林秀雄全作品<23> 考えるヒント(上)**

小林 秀雄 著  
新潮社

小林秀雄の全作品を網羅し、計約 730 篇を発表年月順に配列した第 6 次小林秀雄全集。本文はすべて新字体・新かなづかい。全作品に、人名・書名・難語等を解説する脚注付き。第 23 巻は、昭和 34～36 年の作品を収録。

毎日新聞 2017/05/28

2004:8./ 268p  
978-4-10-643563-8  
本体 ¥1,700+税



**小林秀雄全作品<24> 考えるヒント(下)**

小林 秀雄 著  
新潮社

小林秀雄の全作品を網羅し、計約 730 篇を発表年月順に配列した第 6 次小林秀雄全集。本文はすべて新字体・新かなづかい。全作品に、人名・書名・難語等を解説する脚注付き。第 24 巻は、昭和 36～38 年の作品を収録。

毎日新聞 2017/05/28

2004:9./ 310p  
978-4-10-643564-5  
本体 ¥2,000+税





**アメリカの鱒釣り(新潮文庫)**  
 リチャード・ブローティガン 著  
 新潮社  
 毎日新聞 2017/05/28

2005:7./ 268p  
 978-4-10-214702-3  
 本体 ¥550+税



**利己的な遺伝子 増補新装版**  
 リチャード・ドーキンス 著  
 紀伊國屋書店  
 動物や人間社会でみられる親子の対立と保護、雌雄の争い、攻撃やなわばり行動などが、なぜ進化したかを解き明かす。生物観を根底から揺るがす衝撃の書。初刷 30 年目を記念し、著者自身による序文などを追加した版の全訳。

2006:4./ 576p  
 978-4-314-01003-0  
 本体 ¥2,800+税

毎日新聞 2017/05/28



**生命とは何か〜物理的にみた生細胞〜(岩波文庫 青 946-1)**  
 シュレーディンガー 著  
 岩波書店  
 生物現象ことに遺伝のしくみと染色体行動における物質の構造と法則を物理学と化学で説明し、生物における意義を究明する。負のエントロピー論や終章の哲学観など今も議論を呼ぶ科学の古典。

2008:5./ 215p  
 978-4-00-339461-8  
 本体 ¥660+税

毎日新聞 2017/05/28



**還らざる日々<上>(講談社文庫)**  
 ロバート・ゴダード 著  
 講談社  
 毎日新聞 2017/05/28

2008:7./ 311p  
 978-4-06-276116-1  
 本体 ¥876+税



**還らざる日々<下>(講談社文庫)**  
 ロバート・ゴダード 著  
 講談社  
 毎日新聞 2017/05/28

2008:7./ 307p  
 978-4-06-276117-8  
 本体 ¥876+税



**寒い国から帰ってきたスパイ(ハヤカワ文庫 NV 174)**  
 ジョン・ル・カレ 著  
 早川書房  
 作者自身情報部員ではないかと疑われたほどのリアルな描写と、結末の見事などんでん返しとによってグレアム・グリーンに絶賛され、英国推理作家協会賞、アメリカ探偵作家クラブ賞両賞を獲得したスパイ小説の金字塔!

1978:5./ 382p  
 978-4-15-040174-0  
 本体 ¥900+税

毎日新聞 2017/05/28



**美しい星 改版(新潮文庫)**  
 三島 由紀夫 著  
 新潮社  
 毎日新聞 2017/05/28

2003:9./ 370p  
 978-4-10-105013-3  
 本体 ¥630+税



**小林秀雄全集<第 13 巻> 新訂 本居宣長**

小林秀雄 著  
新潮社  
毎日新聞 2017/05/28

1979:5./ 481p  
978-4-10-643513-3  
本体 ¥2,524+税  
  
\* 9 7 8 4 1 0 6 4 3 5 1 3 3 \*



**リオノーラの肖像(文春文庫)**

ロバート・ゴダード 著  
文芸春秋  
毎日新聞 2017/05/28

1993:1./ 609p  
978-4-16-721809-6  
本体 ¥790+税  
  
\* 9 7 8 4 1 6 7 2 1 8 0 9 6 \*

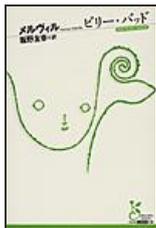


**ティンカー、テイラー、ソルジャー、スパイ 新訳版(ハヤカワ文庫 NV 1253)**

ジョン・ル・カレ 著  
早川書房  
英国情報部「サーカス」の中核に潜むソ連の二重スパイを探せという任務を託された元情報部員スマイリー。二重スパイは、かつての仇敵カーラが操っているという。裏切者の正体は?映画「裏切りのサーカス」の原作。

2012:3./ 549p  
978-4-15-041253-1  
本体 ¥1,100+税  
  
\* 9 7 8 4 1 5 0 4 1 2 5 3 1 \*

毎日新聞 2017/05/28



**ピリー・バッド(光文社古典新訳文庫 KA メ1-1)**

メルヴィル 著  
光文社  
18 世紀末、商船から英国軍艦ベリポテント号に強制徴用された若きピリー・バッド。新米水兵ながら誰からも愛される存在だった彼を待ち受けていたのは、邪悪な謀略のような運命の罠だった…。アメリカの作家メルヴィルの遺作。

2012:12./ 215p  
978-4-334-75263-7  
本体 ¥876+税  
  
\* 9 7 8 4 3 3 4 7 5 2 6 3 7 \*

毎日新聞 2017/05/28



**隠し絵の囚人<上>(講談社文庫 こ 51-18)**

ロバート・ゴダード 著  
講談社  
1976 年春。ステイーヴンは亡くなったはずの伯父が生きていたことを知る。36 年間アイルランドの監獄に収監されていたらしい。その理由を口にしない伯父のもとに、ロンドンの弁護士から奇妙な依頼が届き…。

2013:3./ 324p  
978-4-06-277412-3  
本体 ¥943+税  
  
\* 9 7 8 4 0 6 2 7 7 4 1 2 3 \*

毎日新聞 2017/05/28



**隠し絵の囚人<下>(講談社文庫 こ 51-19)**

ロバート・ゴダード 著  
講談社  
勢力を増すナチスがベルギーに侵攻しようとしていた 1940 年夏。アントワープからロンドンにピカソ・コレクションを届けた伯父は、アイルランドをめぐる英仏独の政治的駆け引きに否応なく巻き込まれていき…。

2013:3./ 318p  
978-4-06-277413-0  
本体 ¥943+税  
  
\* 9 7 8 4 0 6 2 7 7 4 1 3 0 \*

毎日新聞 2017/05/28



**原文万葉集<上>(岩波文庫 黄 5-6)**

岩波書店

岩波文庫版「万葉集」全 5 冊の訓読に対応する原文編。西本願寺本を底本とし、諸本により校訂して校異の注を示す。訓読と合せ見ることによって、「万葉集」への理解を深めることができる。上には、巻一から巻十までを収める。

毎日新聞 2017/05/28

2015:9./ 484p

978-4-00-351013-1

本体 ¥1,140+税



\* 9 7 8 4 0 0 3 5 1 0 1 3 1 \*



**量子力学で生命の謎を解く**

ジム・アル=カーリー、ジョンジョー・マクファデン 著

SBクリエイティブ

これが、21 世紀の生命科学だ!

毎日新聞 2017/05/28

2015:9./ 9p,396p

978-4-7973-8436-9

本体 ¥2,400+税



\* 9 7 8 4 7 9 7 3 8 4 3 6 9 \*



**原文万葉集<下>(岩波文庫 30-005-7)**

岩波書店

岩波文庫版「万葉集」全 5 冊の訓読に対応する原文編。西本願寺本を底本とし、諸本により校訂して校異の注を示す。訓読と合せ見ることによって、「万葉集」への理解を深めることができる。下には、巻十一?巻二十を収める。

毎日新聞 2017/05/28

2016:2./ 468p

978-4-00-351014-8

本体 ¥1,140+税



\* 9 7 8 4 0 0 3 5 1 0 1 4 8 \*



**謀略の都<下>(講談社文庫 こ 51-25)**

ロバート・ゴダード 著

講談社

不審死を遂げた父が遺した謎のメモ。マックスは父の知人らの協力を得て解明を進めるが、ドイツのスパイ網指揮者の存在が浮上してほどなく、命の危険に晒されてしまう。

毎日新聞 2017/05/28

2017:1./ 376p

978-4-06-293574-6

本体 ¥1,060+税



\* 9 7 8 4 0 6 2 9 3 5 7 4 6 \*



**謀略の都<上>(講談社文庫 こ 51-24)**

ロバート・ゴダード 著

講談社

1919 年春。第一次世界大戦後の講和条約締結のため主要国の代表団がパリで協議を進めるなか、英国のベテラン外交官が謎の死を遂げた。彼の息子マックスは、父の密やかな計略を知り、国際諜報戦の渦中に身を投じる。

毎日新聞 2017/05/28

2017:1./ 376p

978-4-06-293573-9

本体 ¥1,060+税



\* 9 7 8 4 0 6 2 9 3 5 7 3 9 \*



**日本の近代とは何であったか～問題史的考察～(岩波新書 新赤版 1650)**

三谷 太一郎 著

岩波書店

政党政治、資本主義、植民地帝国、そして天皇制。これらの成り立ちから浮かび上がる、日本近代の特質とは。バジヨットが提示したヨーロッパの「近代」概念に照らしながら、日本近代のありようについて問題史的に考察する。

毎日新聞 2017/05/28

2017:3./ 4p,276p,4p

978-4-00-431650-3

本体 ¥880+税



\* 9 7 8 4 0 0 4 3 1 6 5 0 3 \*



**灰色の密命<上>(講談社文庫 こ51-26)**

ロバート・ゴダード 著  
講談社

1919年、スコットランド。ドイツスパイ網指揮者レンマーを陥れるべく敢えてドイツのスパイとなったマックスは、ドイツ軍艦から極秘ファイルの回収を命じられる。レンマー打倒のファイルを携えマックスはロンドンを目指す。

2017:3./ 372p  
978-4-06-293621-7  
本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2017/05/28



**灰色の密命<下>(講談社文庫 こ51-27)**

ロバート・ゴダード 著  
講談社

極秘ファイルの解読を試みるマックスらに立ちはだかる意外な刺客。レンマーのスパイ網は身内にも張り巡らされていた。一方、日本代表団の新たな代表となった戸村伯爵とその息子が、マックスらの行く手を阻み…。

2017:3./ 359p  
978-4-06-293622-4  
本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2017/05/28



**貧困と地域～あいりん地区から見る高齢化と孤立死～(中公新書 2422)**

白波瀬 達也 著  
中央公論新社

劣悪な住環境、生活保護受給者の増加、社会的孤立の広がり、身寄りのない最期…。日雇労働者の町と呼ばれ、現在は福祉の町として知られる大阪のあいりん地区を通じて、「貧困の地域集中」とそれによって生じた問題を論じる。

2017:2./ 5p,222p  
978-4-12-102422-0  
本体 ¥800+税



毎日新聞 2017/05/28



**地下道の鳩～ジョン・ル・カレ回想録～**

ジョン・ル・カレ、加賀山 卓朗 著  
早川書房

謎に満ちた作家、ジョン・ル・カレが、その波瀾に満ちた人生と創作の秘密を語る。イギリスの二大諜報機関 MI5 と MI6 に所属していた事実、詐欺師だった父親の驚くべき実像など、貴重な秘話が満載。

2017:3./ 362p  
978-4-15-209674-6  
本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2017/05/28



**小林秀雄と河上徹太郎**

坂本 忠雄 著  
慶應義塾大学出版会

近代日本文学に創造的文芸批評を確立した小林秀雄と河上徹太郎。『新潮』編集長時代を含めて、2人の最晩年まで身近にいた著者が、2人の作品と生涯の友情に迫る。『三田文学』連載を単行本化。

2017:4./ 253p  
978-4-7664-2422-5  
本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2017/05/28



**在日華僑華人の現代社会学～越境者たちのライフ・ヒストリー～**

鍾 家新 著  
ミネルヴァ書房

在日華僑華人は日本と中国を生きる移民集団である。参与観察と聴き取り調査から、異国日本での生活の再建、二世の教育、親と自身の老い・死の受容等を中心に、急激な社会変動が、越境する個人や家族に与えた影響を究明する。

2017:4./ 5p,270p,14p  
978-4-623-07954-4  
本体 ¥6,000+税



毎日新聞 2017/05/28



**キリスト教は役に立つか(新潮選書)**

来住 英俊 著  
新潮社

信仰とは無縁だった東大卒の企業人は、いかにして 30 歳でカトリック司祭への転身を決意したのか。旧約聖書から新約聖書、寅さん、エヴァンゲリオンまでのエピソードを引きながら、日本人にも役立つ「救いの構造」を解説する。

2017:4./ 237p  
978-4-10-603800-6  
本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2017/05/28



**万葉集から古代を読みとく(ちくま新書 1254)**

上野 誠 著  
筑摩書房

万葉集全体を歴史学・民俗学・考古学の視点も駆使しながら解剖し、最古の歌集が伝える古代史、文化史をさぐっていく野心的な入門書。

2017:5./ 229p  
978-4-480-06962-7  
本体 ¥800+税



毎日新聞 2017/05/28



**モダン京都〜<遊楽>の空間文化誌〜**

加藤 政洋 編  
ナカニシヤ出版

漱石や谷崎らが訪れた宿、花街や盛り場の景観。文学作品や地図、写真などをもとにモダン京都における遊楽の風景を再構成する。

2017:4./ 5p,240p  
978-4-7795-1166-0  
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2017/05/28



**宿命の地<下>(講談社文庫 こ 51-29)**

ロバート・ゴダード 著  
講談社

1919 年春、パリではじまった国際諜報戦は、夏の日本へ。英・米・独・露のスパイに運命を翻弄されたマックスは、東京で亡き父の真意を知り、謎に包まれた京都の古城に潜入、囚われ人の救出を試みる。傑作スパイ小説完結篇。

2017:5./ 333p  
978-4-06-293663-7  
本体 ¥980+税



毎日新聞 2017/05/28



**宿命の地<上>(講談社文庫 こ 51-28)**

ロバート・ゴダード 著  
講談社

亡き父ヘンリーは、なぜ危ない橋を渡り情報を売ろうとしたのか。そして、自らの生誕をめぐる隠された真実とは。その答えを求めて、マックスはチームを組織して日本へと乗り込む。傑作スパイ小説完結篇。

2017:5./ 333p  
978-4-06-293662-0  
本体 ¥980+税



毎日新聞 2017/05/28



**ブローティガン東京日記(平凡社ライブラリー 854)**

リチャード・ブローティガン 著  
平凡社

1976 年 5~6 月、ブローティガンは 1 ヶ月半日本に滞在し、日記のように日々の思いや観察を詩に著した。最後の詩集、待望の再刊。

2017:4./ 203p  
978-4-582-76854-1  
本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2017/05/28、朝日新聞 2017/05/30